

令和3年度

年 報



令和4年10月

九州大学大学院医学研究院保健学部門

目 次

| | | |
|----------------------|-----------|-----|
| 1. 保健学部門の活動 | • • • • • | 1 |
| 2. 各分野の活動 | | |
| 2-1. 分野の活動：看護学分野 | • • • • • | 3 |
| 2-2. 分野の活動：医用量子線科学分野 | • • • • • | 6 |
| 2-3. 分野の活動：検査技術科学分野 | • • • • • | 9 |
| 3. 教員の活動 | | |
| 3-1. 教員の活動：看護学分野 | • • • • • | 11 |
| 3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野 | • • • • • | 51 |
| 3-3. 教員の活動：検査技術科学分野 | • • • • • | 81 |
| 4. 教員組織および委員会一覧 | | |
| 4-1. 教員人員及び教員配置表 | • • • • • | 107 |
| 4-2. 部内委員一覧 | • • • • • | 108 |
| 4-3. 病院地区委員会 | • • • • • | 110 |
| 4-4. 全学委員会 | • • • • • | 112 |

1. 保健学部門の活動

❖ 保健学部門の活動

1. 沿革に関わる事項

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|--------|----------|--|----|
| 令和4年2月 | 次期部門長の選出 | 保健学部門長として藪内英剛が決定した。 任期は令和4年4月1日～令和6年3月31日 | |

2. 教育活動

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|---|-----------------------------|--|---------------------|
| 令和3年4月5日 | 学部入学式 | 新入生138名（看護：71、放射：34、検査：33）が入 学した。 | 学生係資料 |
| 令和3年4月5日 | 大学院入学式 | 修士32名（看護：1、助産学：7、医用量子：13、検査 技術：11）、博士5名（看護：2、医療技術：3）が入 学した。 | 学生係資料 |
| 令和3年4月5日 | 学部在学生ガイダ ンス | 新型コロナウイルス感染症拡大のため専攻毎で開催し た。 | 学生係資料 |
| 令和3年4月6日 | 大学院新入生ガイ ダンス | 新型コロナウイルス感染症拡大のため専攻毎で開催し た。 | 学生係資料 |
| 令和3年4月7日 | 学部新入生ガイダ ンス | 新入生138名（看護：71、放射：34、検査：33）が入 学した。 | 学生係資料 |
| 令和3年6月7日 | 国立大学保健医療 学系代表者協議会 | 新型コロナウイルス感染症拡大のためメール会議で開 催された。（幹事校：鳥取大学） | 協議会議事録 |
| 令和3年8月16日 | 修士課程入学試験 | 47名（看護：6名、助産学：20名、医用量子：13名、 検査技術：8名）が志願した。 | 学生係資料 |
| 令和3年9月9日 | 博士後期課程入学 試験 | 9名（看護：7名、医療技術：2名）が志願した。 | 学生係資料 |
| 令和3年9月22日 | 保健学部門FD | 会場：オンライン（Zoom）テーマ：「With/Postコロ ナ時代の保健学実習・講義のあり方」 内容：自治医 科大学医学教育センター 松山 泰 先生より、「コロ ナ時代の実習・講義のあり方」について講演を頂い た。その後教員間で「遠隔授業の良い点と悪い点、今 後の利用法」というテーマでグループ討議を行った。 | 保健学部門 FD報告書 |
| 令和3年9月24日 | 秋期学位記授与式 | 修士2名（医用量子線） 博士0名 | 保健学専攻 学年暦 |
| 令和3年9月27日 令和3年9月28日 令和3年9月29日 令和4年3月23日 | 就職セミナー（看 護） | 参加：3年生 感染防止の観点から遠隔で、講師から就職活動に重要 なマナーを中心とした研修会を開催した。 | 学生委員会 議事録 |
| 令和3年10月1日 | 秋期入学式 | 修士 アジア保健学コース 2名（医用量子線） 博士 保健学国際コース 1名 | 保健学専攻 学年暦 |
| 令和3年10月20日 令和3年10月27日 令和3年11月10日 令和3年11月24日 令和3年12月1日 | 就職セミナー（放 射・検査） | 参加：3年生 感染防止の観点から遠隔で、講師から就職活動に重要 なマナーを中心とした研修会を開催した。 | 学生委員会 議事録 |
| 令和4年1月15～16日 | 大学入学共通テス ト | | 保健学科 学年暦 |
| 令和4年1月22日 | 入学者選抜：総合 型選抜Ⅱ〔第2次選 抜〕 | 54名（看護：31名、放射：14名、検査：9名）が志願し た。 | 学生係資料 |
| 令和4年1月31日、2月 2～4日 | 修士論文発表会 | 修士2年31名（看護：8名、医用量子：11名、検査：12 名）が発表を行った。 | 保健学専攻 学年暦 |
| 令和4年2月25～26日 | 入学者選抜：個別 学力検査（前期日 程） | 255名（看護：106名、放射：90名、検査：59名）が志願 した。 | 学生係資料 |
| 令和4年3月23日 | 卒業式・学位記授 与式 | 学士140名（看護：70名、放射：33名、検査：37名） 修士 31名（看護：1名、助産：7名、医用量子：11 名、検査：13名） 博士 4名（看護：1名、医療技術：3名） | 保健学科学年暦 保健学専攻学年暦 |

3. 国際交流

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|------------------------|----------------------|---|------------|
| 令和3年4月1日～ 令和4年3月31日 | SGU（スーパーグローバル大学創成支援） | (1)学部：国際医療人育成に向けた看護教育オンラインプログラム基盤構築（看護） 予算 625,000円 (2)学府：COILを活用した国際的保健学教育研究プログラムの開発（医用量子線） 予算 400,000円 | |
| 令和3年11月19日 | 第16回九州大学保健学国際フォーラム開催 | 第1部 特別講演 九州大学国際戦略企画室 特任教授 高城元生 先生「International Cooperation in Practice: Some examples of JICA's operation in health sector」 第2部 Student Meeting 各分野にて海外講師より遠隔講演、各国の学生と九州大学の学生間で英語での発表と討論を行った。 | 国際フォーラム報告書 |

4. 社会連携

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|--------|-------------|--|-------------------------|
| 令和3年6月 | 大学院入試説明会 | 保健学専攻大学院受験希望者を対象に大学院の概要についての説明会をHP上で開催した。 但し、対面での開催なし。 http://www.shs.med.kyushu-u.ac.jp/news/4/detail | 保健学部門会議事録 入試実施委員会議事録 |
| 令和3年8月 | オープンキャンパス | 感染防止の観点から、オンラインにて、保健学科の受験を考えている高校生ならびに一般の方を対象としたオープンキャンパスを開催した。 | 学生委員会議事録 |
| 令和3年9月 | 第19回保健学公開講座 | 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止とした。これに伴い、参加予定者への開催中止案内状とあわせて、「コロナ感染予防に関する啓蒙資料」「学科案内パンフレット」を送付した。 | 広報委員会資料 |

5. 主な人事異動

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|----------|------------------|-------|----|
| 令和3年4月1日 | 寺岡 佐和 (看護・教授) | 昇任 | |

6. 大型設備・機器の整備

| 年月日 | 分野 | 物品・事項 | 資料 |
|-----|----|-------|----|
| | | | |

7. その他

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----|----|-------|----|
| | | | |

2. 各分野の活動

❖ 看護学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|--|---------|----------------------------------|---------|
| 令和3年4月27日 令和3年5月31日 令和3年6月29日 令和3年7月27日 令和3年9月28日 令和3年10月26日 令和3年11月22日 令和3年12月21日 令和4年1月25日 令和4年2月21日 令和4年3月23日 | 看護学分野会議 | 分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。 | 分野会議議事録 |

2. 教育活動 1) 学生・教員

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----------|--------------|---|-----------------|
| 令和3年4月5日 | 学部生(第19期)の入学 | 担任:後藤健一教授、丸山マサ美講師、末次美子講師、相星香助教 | 分野会議議事録 |
| 令和4年2月17日 | 看護学分野FD | 「With/After コロナにおける国際交流の在り方」のテーマで、橋口暢子教授の講演およびグループワークを行った(統合基礎看護学講座 I 領域担当) | 令和3年度看護学分野FD報告書 |

2. 教育活動 2) 実習関係

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|---|-----------------------|---|-----------------|
| 令和3年4月26日 令和3年5月24日 令和3年6月21日 令和3年7月26日 令和3年8月23日 令和3年9月27日 令和3年10月25日 令和3年11月29日 令和3年12月20日 令和4年1月24日 令和4年2月21日 令和4年3月14日 | 実習委員会 | 各看護領域の実習科目責任教員による、臨地実習の運営等に関する討論会を開催した。 | 実習委員会議事録 |
| 令和3年5月14日 令和3年7月9日 令和3年9月10日 令和4年1月14日 令和4年3月11日 | 看護キャリアセンター会議 | 九州大学病院で行われる看護学実習に関して、九州大学病院看護部と看護学分野の連携を中心に検討した。実習に関する教育、研究に関する検討を行った。 | 看護キャリアセンター会議議事録 |
| 令和3年度 通年 | 臨地実習に関する説明(九大病院以外) | 老年、小児、在宅、地域、助産領域の臨地実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。 老年看護学実習は、前年度の2月また当該年度4.5.8.9月に実習施設と打ち合わせを行った。 小児看護学実習 I は、4月21日に1箇所の実習施設と打ち合わせを行ったが、その直後で外部施設の実習中止が決定された。 在宅看護論実習は、4～8月と12月～3月に、11ヶ所の実習施設と打ち合わせを行った。 公衆衛生看護学実習は、4月～5月にかけて3ヶ所の自治体を訪問し、打ち合わせを行った。 助産学実習は、9～10月に3ヶ所、1～2月に2ヶ所の実習施設を訪問し、打ち合わせを行った。 | 実習要項 |
| 令和3年2月3日 (オンライン) | 3校合同九州大学病院臨地実習打ち合わせ会議 | 九州大学病院で実習予定の他校(福岡女学院、福岡看護大学)と九州大学病院看護部とで、令和2年以降の実習予定について相互に確認、検討を行った。 | 3校合同会議議事録 |

| | | | |
|--|-------------------|--|--------------------------|
| 令和3年度 4月～7月 | 総合実習に関する 実習説明会 | 看護学専攻4年生の総合実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。 | 実習要項 |
| 令和3年8月4日 令和3年9月16日 令和3年12月6日 令和4年3月7日 | 福岡県公衆衛生看護学実習連絡協議会 | 公衆衛生看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、保健師課程を置く県内大学等が加盟する協議会に出席した。各大学の次年度各自自治体実習配置と、宿泊を伴う遠隔地実習配置について協議した。 | 福岡県公衆衛生看護学 実習連絡協議会議事録 |
| 令和3年12月1日 | 在宅看護実習指導者連絡会議 | 看護学専攻3年生～4年生の在宅看護論実習に関して、実習施設（訪問看護ステーション）の実習指導者に説明を行った。 | 実習指導者連絡会議 資料 |

2. 教育活動 3) 選抜試験

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----------|-----------|---|---------|
| 令和4年2月18日 | 保健師課程選抜試験 | 看護学専攻2年生の保健師選択課程志願者について、筆記試験（小論文）と面接試験を行った。 | 分野会議議事録 |

2. 教育活動 4) 研究発表会

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----------------------|---------------------|-----------------------------------|---------|
| 令和3年9月21日 | 博士後期課程 特別研究の中間発表 | 博士後期課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。 | 分野会議議事録 |
| 令和3年9月～11月 (オンライン) | 講座卒業研究中間発表会 | 看護学専攻4年生が各講座において、卒業研究の中間発表会を行った。 | 講座会議議事録 |
| 令和3年11月24日 | 卒業研究発表会 | 医学部保健学科看護学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。 | 卒業研究抄録集 |
| 令和4年1月31日 | 修士課程 看護学特別研究の最終試験 | 修士課程大学院生の研究の最終試験を行った。 | 分野会議議事録 |
| 令和4年2月2日 | 修士課程 看護学特別研究の中間発表会 | 修士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。 | 分野会議議事録 |

2. 教育活動 5) 国家試験

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-------------------------------------|--|--|---------|
| 令和3年度 通年 | 国家試験学内模擬試験 (看護師、保健師) | 4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。看護師国家試験模試計6回、保健師国家試験模試計2回 | 分野会議議事録 |
| 令和4年2月10日 令和4年2月11日 令和4年2月13日 | 第105回助産師国家試験 第108回保健師国家試験 第111回看護師国家試験 | 3日間にわたって国家試験が行われた。看護師国家試験100%、保健師国家試験100%、助産師国家試験100%の合格率であった。 | 分野会議議事録 |

3. 国際交流

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|------------|---------------|--|-----------------------------|
| 令和3年11月19日 | 保健学国際フォーラム | コロナ禍により九大教員・学生は5番講義室、他大学者はオンラインによるハイブリッド制で開催した。本学国際戦略企画室の高城先生と台北医科大学の Fu-Chih Lai先生による特別講義、および本学学生とマヒドン大学学生による学生発表が行われた。 | 第16回九州大学保健学国際フォーラム報告書, 2021 |
| 令和4年3月16日 | オウル大学との国際セミナー | オウル大学Gero Nursing Centerと九州大学看護学分野でオンライン国際セミナーを開催した。オウル大学からは2題の招待講演、本学からは3題の演題発表を行った。本学からは46名の教員および学生が参加した。 | 講演資料 |

4. 社会連携 1) 人材育成

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|------------------------------------|------------------------|--|------------------------------|
| 令和3年4月～ 令和4年3月 | 九州大学病院の看護研究コース指導 | 看護教員が大学病院看護職員の研究指導を実施 講義講師：鳩野洋子教授、松尾和枝講師 研究指導：相星香助教、松本美晴助教、山口優助教、酒井久美子助教、藤田香奈恵助教、道面千恵子助教、藤田紋佳助教、佐藤洋子助教、藤田貴子助教、木村一絵助教 | 看護研究コース資料 |
| 令和3年7月7日 令和3年8月20日 令和3年9月15日 | 九州大学病院臨地実習指導者研修（新規） | 九州大学病院看護部の新たな臨地実習指導者52名を対象に実施 研修講師：藤田君支教授、橋口暢子教授、青本さとみ講師 | 九州大学病院資料（令和3年度看護キャリアセンター報告書） |
| 令和3年9月2日 | 九州大学病院臨地実習指導者研修（アドバンス） | 九州大学病院看護部の臨地実習指導者29名を対象に実施 研究講師：橋口暢子教授 | 九州大学病院資料（令和3年度看護キャリアセンター報告書） |

4. 社会連携 2) 看護教育協議会など

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-------------------------|----------------------------------|---|-----------------------------|
| 平成29年6月18日 | 全国助産師教育協議会定時社員総会（書面会議） | 公益社団法人全国助産師教育協議会社員総会が開催された。 | 全国助産師教育協議会定時社員総会資料 |
| 平成29年7月1日 | 国立大学助産師教育専任教員会議（Web開催） | 国立大学助産師教育加盟校により、国立大学助産師教育について協議および意見交換を行った。 | 国立大学助産師教育専任教員会議資料 |
| 平成29年8月6日 | 九州・沖縄地区助産師教育協議会（Web開催） | 九州、沖縄地区の加盟校により全国助産師教育の検討課題および教育、実習の情報交換について協議・意見交換を行った。 | 九州・沖縄地区助産師教育協議会資料 |
| 令和3年8月24日 令和3年11月30日 | 全国保健師教育機関協議会九州ブロック定例会・研修会（Web開催） | 感染症対策や公衆衛生看護技術の明確化について加盟校間で意見交換を行った。 | 全国保健師教育機関協議会九州ブロック定例会・研修会資料 |

4. 社会連携 3) 公開講座 開催なし

5. その他

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----|----|-------|----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----|----|-------|----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |

❖ 医用量子線科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|------------|-------------------|--------------------------------------|---------|
| 令和3年4月19日 | 医用量子線科学分野 分野会議 | 分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する 検討会を開催した。 | 分野会議議事録 |
| 令和3年5月14日 | | | |
| 令和3年6月4日 | | | |
| 令和3年7月12日 | | | |
| 令和3年9月6日 | | | |
| 令和3年10月7日 | | | |
| 令和3年11月12日 | | | |
| 令和3年12月3日 | | | |
| 令和4年1月6日 | | | |
| 令和4年2月7日 | | | |
| 令和4年3月4日 | | | |

2. 教育活動

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|---|--|--|---|
| 令和3年4月7日 | 学部生(第19期)の入学 | 主担任:佐々木(智) 准教授 副担任:藪内教授 オリエンテーション4月7日実施 | 分野会議議事録 学生便覧 |
| 令和3年4月6日 | 大学院生(第15期)の入学 | オリエンテーション実施 | 分野会議議事録 |
| 令和3年4月8日 令和3年6月7日 令和3年7月21日 令和3年9月14日 令和3年11月17日 令和4年1月11日 令和4年2月2日 | 国家試験学内模試 国家試験学内模試 国家試験外部模試 国家試験学内模試 国家試験外部模試 国家試験外部模試 国家試験学内模試 | 医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生を対象に 国家試験の学内模擬試験を行った。 | |
| 令和3年6月14日, 21日 | 修士および博士課程 中間発表会 | | |
| 令和3年6月25日, 7月9日 | 先端技術セミナーの 開催 | 医学部保健学科放射線技術科学専攻学生、医学系学 府保健学専攻修士課程大学院生を対象に、最新医療 機器の先端技術に関する紹介を行った。 | 分野会議議事録 先端技術セミナー プログラム |
| 令和3年9月25日 | 2021年度医学物理士 認定試験 | 大学院生7名中3名合格 | http://www.jbnp.org/certification/passers/ |
| 令和3年12月2, 3日 | 卒業研究発表会 | 医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生33名が卒 業研究の成果発表を行った。 | 分野会議議事録 卒業研究発表会プ ログラム |
| 令和3年12月3日 | 卒業研究セミナー | 医学部保健学科放射線技術科学専攻3年生を対象に 卒業研究紹介のオープンラボを開催した。 | 分野会議議事録 |
| 令和3年12月11, 12日 | 第16回九州放射線医 療技術学術大会 | 学部4年生が参加して講演を聴講した。教員2名、大 大学院生2名、学部生19名が筆頭発表者として学術研 究発表を行った。 | 第16回九州放射 線医療技術学術大 会プログラム |
| 令和4年2月3, 4日 | 修士研究発表会 | 医学系学府保健学専攻医用量子線科学分野修士2年 生11名が修士研究の成果発表を行った。 | 分野会議議事録 修士研究発表会プ ログラム |
| 令和4年2月18日 | 第74回診療放射線技 師国家試験 | 41名が受験し36名が合格した(既卒者8名含む)。 新卒合格者は100%(33/33名), 既卒合格者は37.5%(3/8名) | 厚生労働省 |

3. 国際交流

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|------------|------------------------|---|--|
| 令和3年9月13日 | オンライン国際シンポジウム | "Symposium on Intelligent Data Science for Radiological Imaging (iDSRI) between Universiti Malaya and Kyushu University" 参加者：合計71名（九大院生約26、マラヤ学生約28名、九大教員11名、マラヤ教員6名） マラヤ大学の教員3名によるfaculty lectures (Prof Chong Kin Liam, Dr. Wai Yee Chan, Assoc. Prof. Dr. Mohammad Nazri) や、 九大教員3名の講演 (Prof. Hidetake Yabuuchi, Prof. Toshioh Fujibuchi, Prof. Hidetaka Arimura) 、及びマラヤ大学学生3名、九大学生3名が研究成果発表を行い、お互いの研究成果について情報交換を行い、学術的な国際交流を推進した。 | 2021（令和3）年度スーパーグローバル大学創成支援（SHARE-Q）報告書 |
| 令和3年11月19日 | オンライン保健学科国際フォーラム | Prof. Kwan Hoong Ng 氏 (Department of Biomedical Imaging, Faculty of Medicine, University of Malaya, Kuala Lumpur, Malaysia) を講師に迎え講演会を開催。 講演会後のstudent meetingでは、Malaysiaからオンライン参加の学生1名がマラヤ大学での研究について、Chinaからオンライン参加の研究生2名は日本と中国について、当分野の大学院5名はタイ、台湾への留学レポートを報告し、学生間の国際交流を推進した。 | 2020（令和2）年度スーパーグローバル大学創成支援（SHARE-Q）報告書 |
| 令和3年12月13日 | オンラインHands-on Workshop | 修士課程の科目の「量子線治療科学論」においてマラヤ大学のDr. Saw Shier Neeによる英語講義Hands-on Workshop 2021年12月13日参加者：合計19名（九大院生16名、マラヤ大学生0名、九大教員1名、マラヤ大教員2名） マラヤ大学教員によるオンライン英語講義によって外国語による授業科目（量子線治療科学論）を増やすことができた。 | 2021（令和3）年度スーパーグローバル大学創成支援（SHARE-Q）報告書 |
| 令和3年12月20日 | オンラインHands-on Workshop | 修士課程の科目の「量子線治療科学論」においてマラヤ大学のDr. Saw Shier Neeによる英語講義Hands-on Workshop 2021年12月20日参加者：合計29名（九大院生17名、マラヤ大学生7名、九大教員3名、マラヤ大教員2名） マラヤ大学教員によるオンライン英語講義によって外国語による授業科目（量子線治療科学論）を増やすことができた。 | 2021（令和3）年度スーパーグローバル大学創成支援（SHARE-Q）報告書 |
| 令和4年1月14日 | 特別講義COIL | マラヤ大学 Dr. Jeannie Wong 特別講義COIL（マレーシア） 参加者：合計19名（九大院生11名、マラヤ大学生5名、九大教員1名、マラヤ大教員2名） 海外の大学の教員による特別英語講義を実施し、両大学の学生が聴講し、ディスカッションを行う国際交流の機会を増加させた。 | 2021（令和3）年度スーパーグローバル大学創成支援（SHARE-Q）報告書 |
| 令和4年1月21日 | 特別講義COIL | ハゼテペ大学特別講義COIL（トルコ）（2022年1月21日） 参加者：合計42名（九大院生19名、ハゼテペ大学生17名、九大教員3名、ハゼテペ大教員3名） 海外の大学の教員による特別英語講義を実施し、両大学の学生が聴講し、ディスカッションを行う国際交流の機会を増加させた。 | 2021（令和3）年度スーパーグローバル大学創成支援（SHARE-Q）報告書 |
| 令和4年1月25日 | 特別講義COIL | ディポネグロ大学 Dr. Anamの特別講義COIL（インドネシア）（2022年1月25日） 参加者：9名（九大院生7名、ディポネグロ院生0名、九大教員1名、ディポネグロ大教員1名） 海外の大学の教員による特別英語講義を実施し、外国語講義を増加させた。 | 2021（令和3）年度スーパーグローバル大学創成支援（SHARE-Q）報告書 |
| 令和4年3月16日 | オンライン国際シンポジウム | マラヤ大学との国際研究ミーティングiDSR（マレーシア）（2022年3月16日） 参加者：合計20名（九大院生5名、マラヤ大学生10名、九大教員2名、マラヤ教員3名） マラヤ大学の教員3名(Prof Kwan Hoong Ng, Dr Shier Nee Saw, Dr Jeannie Wong)、九大教員2名 (Prof Hidetaka Arimura, Prof Toshioh Fujibuchi) の研究成果発表を行い、お互いの研究成果について情報交換を行い、学生も参加し、学術的な国際交流を推進した。 | 2021（令和3）年度スーパーグローバル大学創成支援（SHARE-Q）報告書 |

4. 社会連携

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----------|------------------------|---|------------------|
| 令和3年6月8日 | 第22回国立大学診療放射線技師教育施設協議会 | Webにて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等について協議した。(有村秀孝教授、佐々木智成准教授) | 分野会議議事録 会議報告書 |
| 令和3年6月11日 | 第66回全国診療放射線技師教育施設協議会 | Webにて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等について協議した。(有村秀孝教授) | 開催プログラム |

5. その他

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|---------------|--|--|---|
| 令和3年8月18, 19日 | 放射線取扱主任者試験第1種国家試験 | 合格者 学部3年生26名、学部4年生2名、大学院生4名 | 官報 |
| 令和3年11月27日 | 2021年度第1回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会 (Zoom) | 臨床現場で物理的かつ技術的な面で指導的役割を果たし、様々ながん治療を対象とした臨床研究を推進する先端医用量子線技術科学の医療人養成を目的とした講演会をオンライン開催した。 本講演会は、九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定済。卒業教育として学外からの参加も受入れ、認定証を発行した。 早稲田大学・医療レギュラトリーサイエンス研究所 松浦由佳 先生 「がん診療におけるレギュラトリーサイエンス」 滋賀大学・データサイエンス学部 村松千左子 先生 「データサイエンスとAIによるがんの画像診断の発展」 QST 深堀麻衣 先生 「重粒子線がん治療における生物学的線量評価と国内外での医学物理士としての活動」 ・参加者158名 | http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/ |
| 令和4年2月19日 | 2021年度第2回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会 (Zoom) | 臨床現場で物理的かつ技術的な面で指導的役割を果たし、様々ながん治療を対象とした臨床研究を推進する先端医用量子線技術科学の医療人養成を目的とした講演会をオンライン開催した。 本講演会は、九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定済。卒業教育として学外からの参加も受入れ、認定証を発行した。 広島大学病院診療支援部 西丸英治先生 「CTの最新技術はがん診療を変えられるか？」 大阪大学医学部附属病院 橋渡貴司先生 「Radiomicsを活用したMR画像診断と予測分析」 帝京大学福岡医療技術学部 亀澤秀美先生 「Radiomicsに基づく放射線治療支援」 参加者167名 | http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/ |

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----|----|-------|----|
| | | | |

❖ 検査技術科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|------------|------------------|--------------------------------------|---------|
| 令和3年4月28日 | 検査技術科学分野 分野会議 | 分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する 検討会を開催した。 | 分野会議議事録 |
| 令和3年5月26日 | | | |
| 令和3年6月30日 | | | |
| 令和3年8月25日 | | | |
| 令和3年9月29日 | | | |
| 令和3年10月27日 | | | |
| 令和3年11月24日 | | | |
| 令和3年12月22日 | | | |
| 令和4年1月26日 | | | |
| 令和4年2月16日 | | | |
| 令和4年3月30日 | | | |

2. 教育活動

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|---|-----------------------|--|---------|
| 令和3年4月7日 | 新入生研修 | 新入生に対し入学時ガイダンスおよび研修を実施した。 | 分野会議議事録 |
| 令和3年9月21日 | 九大病院検査部との 臨地実習反省会 | 九州大学病院検査部部長、技師長、副技師長、臨地 実習担当の臨床検査技師の部署責任者と、保健学部 門検査技術科学分野教員間で、令和3年度臨地実習 の実施状況報告と令和4年度の実施計画について討 議した。 | 分野会議議事録 |
| 令和3年9月24日, 28日 | 大学院博士課程・ 修士課程中間発表会 | 修士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間 発表を行った。 | 分野会議議事録 |
| 令和3年12月22日 | 卒業研究発表会 | 医学部保健学科検査技術科学専攻4年生が卒業研究 の成果発表を行った。 | 分野会議議事録 |
| 令和3年4月30日 令和3年7月31日 令和3年9月11日 令和3年11月13日 令和4年1月4日 | 国家試験模擬試験 | 検査技術科学専攻4年生の臨床検査技師国家試験対 策として、2回の校内模試と3回の国試業者模試を 実施した。 | 分野会議議事録 |
| 令和3年2月2日, 4日 | 修士課程論文審査会 | 修士課程大学院生の修士論文審査会が行われた。 | 分野会議議事録 |

3. 国際交流

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|------------|---|--|---------------------|
| 令和3年11月19日 | The 16th International Forum of Health Sciences, Student Meeting | Harvard Medical School(The United States)より 松原鉄平先生(Research fellow)を招聘してSpecial Lecture “My experience with studying abroad in the field of Biomedical Engineering” のオンラ イン講演を依頼した。 また、当分野大学院生6名の研究に関するオンライ ンでの討論を行った。 | 地域国際連携・FD 委員会議事録 |

4. 社会連携

| 年月日 | 事項 | 活動の概要 | 資料 |
|-----|----|-------|----|
| | | | |

3-1. 教員の活動：看護学分野

看護学分野

《統合基礎看護学》

| | |
|----|---------|
| 教授 | 後藤 健一 |
| 教授 | 橋口 暢子 |
| 教授 | 藤田 君支 |
| 教授 | 寺岡 佐和 |
| 講師 | 丸山 マサ美 |
| 講師 | 松尾 和枝 |
| 講師 | 松永 由理子 |
| 講師 | 能登 裕子 |
| 講師 | 青本 さとみ |
| 助教 | 中島 紀江 |
| 助教 | 山口 優 |
| 助教 | 木原 深雪 |
| 助教 | 松本 美晴 |
| 助教 | 田中 さとみ |
| 助教 | 相星 香 |
| 助教 | 藤田 香奈恵 |
| 助教 | 薬師寺 佳菜子 |
| 助教 | 道面 千恵子 |
| 助教 | 酒井 久美子 |

1. 教育活動

1. 大学院講義

| | | |
|-------------------|-------|-----|
| 国際社会とチーム医療(分担) | 後藤 | 前期 |
| ヘルスサイエンス論(分担) | 後藤 | 前期 |
| 健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担) | 後藤 | 前期 |
| 臨床看護学特論Ⅰ(分担) | 後藤 | 通年 |
| 臨床看護学特論Ⅱ(分担) | 後藤 | 通年 |
| 国際プレゼンテーション(後藤教授) | 後藤 | 通年 |
| 看護教育方法開発学Ⅰ | 橋口 | 前期 |
| 看護教育論(分担) | 橋口 | 前期 |
| 基礎看護学特論Ⅰ(分担) | 橋口 | 前期 |
| 看護研究方法論Ⅱ(分担) | 橋口 | 夏学期 |
| 看護研究方法論Ⅰ(分担) | 橋口 | 春学期 |
| 看護組織・マネジメント論(分担) | 橋口 | 後期 |
| 基礎看護学特論Ⅱ(分担) | 橋口 | 後期 |
| 看護教育方法開発学Ⅱ | 橋口 | 後期 |
| 国際プレゼンテーション(橋口教授) | 橋口 | 通年 |
| 保健学研究論(分担) | 藤田(君) | 前期 |

| | | |
|------------------------------|-------|-----|
| Health Science Research (分担) | 藤田(君) | 前期 |
| 健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担) | 藤田(君) | 前期 |
| 健康支援ケアシステム論Ⅱ(分担) | 藤田(君) | 後期 |
| 臨床看護学特論Ⅰ(分担) | 藤田(君) | 通年 |
| 臨床看護学特論Ⅱ(分担) | 藤田(君) | 通年 |
| 国際プレゼンテーション(藤田教授) | 藤田(君) | 通年 |
| ヘルスサイエンス論(分担) | 寺岡 | 前期 |
| 看護学研究方法論Ⅰ(分担) | 寺岡 | 春学期 |
| 生命倫理学 | 丸山 | 春学期 |
| 医療と生命倫理 | 丸山 | 後期 |
| 看護教育論(分担) | 松尾 | 前期 |
| 看護組織・マネジメント論(分担) | 松尾 | 後期 |
| 医療と生命倫理(分担) | 松尾 | 後期 |
| 臨床看護学特論Ⅰ(分担) | 松永 | 通年 |
| 臨床看護学特論Ⅱ(分担) | 松永 | 通年 |
| 看護研究方法論Ⅱ(分担) | 松永 | 夏学期 |
| 看護教育論(分担) | 能登 | 前期 |
| 看護研究方法論Ⅱ(分担) | 能登 | 夏学期 |
| 看護組織・マネジメント論(分担) | 能登 | 後期 |

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

| | | |
|---------|-------|----|
| 保健学特別研究 | 橋口 | 通年 |
| 保健学特別研究 | 藤田(君) | 通年 |
| 看護学特別研究 | 藤田(君) | 通年 |

4. 大学院修士課程修了者 なし

5. 大学院博士課程修了者

| | |
|-------|--|
| 永瀨 美樹 | Tailored notification encouraging examinees with abnormal glucose levels in health checkups to seek medical care |
|-------|--|

6. 学部講義

| | | |
|--------------------|----|-----|
| 人体の構造と機能Ⅰ(分担) | 後藤 | 前期 |
| 公衆衛生学 | 後藤 | 春学期 |
| 国際保健と医療(分担) | 後藤 | 後期 |
| 終末期医療・ターミナルケア論(分担) | 後藤 | 後期 |
| 臨床病態学(分担) | 後藤 | 後期 |
| 医学総論(分担) | 後藤 | 冬学期 |
| 看護学概論(分担) | 橋口 | 春学期 |
| 看護研究Ⅱ(分担) | 橋口 | 夏学期 |
| 看護理論(分担) | 橋口 | 夏学期 |
| 臨床倫理(分担) | 橋口 | 後期 |

| | | |
|---------------------|-------|-----|
| 国際保健と医療(分担) | 橋口 | 後期 |
| 看護過程論 (分担) | 橋口 | 後期 |
| 看護教育論 | 橋口 | 秋学期 |
| 成人慢性期看護論Ⅱ(分担) | 藤田(君) | 前期 |
| 成人慢性期看護論Ⅰ(分担) | 藤田(君) | 春学期 |
| がん看護論(分担) | 藤田(君) | 夏学期 |
| 医療倫理・看護倫理(分担) | 藤田(君) | 夏学期 |
| 成人看護学概論(分担) | 藤田(君) | 秋学期 |
| 在宅看護論各論(分担) | 寺岡 | 前期 |
| 老年看護論各論Ⅱ(分担) | 寺岡 | 前期 |
| 公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担) | 寺岡 | 前期 |
| 看護研究Ⅰ(分担) | 寺岡 | 春学期 |
| 医療倫理・看護倫理(分担) | 寺岡 | 夏学期 |
| 老年看護学概論(分担) | 寺岡 | 夏学期 |
| 公衆衛生看護学概論(分担) | 寺岡 | 後期 |
| 終末期医療・ターミナルケア論 (分担) | 寺岡 | 秋学期 |
| 老年保健・疾病論(分担) | 寺岡 | 秋学期 |
| 公衆衛生看護管理論(分担) | 寺岡 | 秋学期 |
| 老年看護論各論Ⅰ(分担) | 寺岡 | 冬学期 |
| 薬害 | 丸山 | 前期 |
| インフォームドコンセント(分担) | 丸山 | 前期 |
| バイオエシックス入門(集中講義) | 丸山 | 春学期 |
| バイオエシックス入門 | 丸山 | 夏学期 |
| 基幹教育セミナー | 丸山 | 夏学期 |
| 課題例示科目 | 丸山 | 秋学期 |
| 医療倫理学Ⅰ | 丸山 | 秋学期 |
| 医療倫理学Ⅱ | 丸山 | 冬学期 |
| コミュニケーション論 | 丸山 | 冬学期 |
| 看護学概論(分担) | 松尾 | 春学期 |
| 看護管理(分担) | 松尾 | 後期 |
| 看護過程論(分担) | 松尾 | 後期 |
| 成人急性期看護論Ⅱ(分担) | 松永 | 前期 |
| 成人急性期看護論Ⅰ(分担) | 松永 | 春学期 |
| 成人看護学概論(分担) | 松永 | 秋学期 |
| 看護研究Ⅰ(分担) | 能登 | 春学期 |
| 看護理論(分担) | 能登 | 春学期 |
| 看護過程論(分担) | 能登 | 後期 |
| 看護研究Ⅰ(分担) | 青本 | 前期 |
| 医療倫理・看護倫理 | 青本 | 前期 |
| 精神看護学各論 | 青本 | 前期 |
| 精神保健・疾病論 | 青本 | 夏学期 |
| 精神看護学概論 | 青本 | 冬学期 |
| 精神看護学各論(分担) | 中島 | 前期 |
| 精神保健・疾病論(分担) | 中島 | 夏学期 |
| 成人急性期看護論Ⅱ(分担) | 山口 | 前期 |

| | | |
|---------------|----|-----|
| 成人急性期看護論Ⅰ(分担) | 山口 | 春学期 |
| クリティカルケア論(分担) | 山口 | 秋学期 |
| 精神保健・疾病論 | 木原 | 前期 |
| 看護研究Ⅰ(分担) | 松本 | 春学期 |
| 看護理論(分担) | 松本 | 夏学期 |
| 看護管理(分担) | 松本 | 秋学期 |
| 看護過程論(分担) | 松本 | 後期 |
| 成人慢性期看護論Ⅱ(分担) | 田中 | 前期 |
| 成人慢性期看護論Ⅰ(分担) | 田中 | 春学期 |
| がん看護論(分担) | 田中 | 夏学期 |
| 成人看護学概論(分担) | 田中 | 秋学期 |
| 成人慢性期看護論Ⅱ(分担) | 相星 | 前期 |
| 成人慢性期看護論Ⅰ(分担) | 相星 | 春学期 |
| 看護学概論(分担) | 道面 | 春学期 |
| 看護研究Ⅰ(分担) | 道面 | 春学期 |
| 看護過程論(分担) | 道面 | 夏学期 |
| 看護理論(分担) | 道面 | 夏学期 |
| 老年看護学各論Ⅱ(分担) | 酒井 | 前期 |
| 老年看護学概論(分担) | 酒井 | 夏学期 |
| 老年保健・疾病論(分担) | 酒井 | 秋学期 |
| 老年看護学各論Ⅰ(分担) | 酒井 | 冬学期 |

7. 学部の実験・実習・演習

| | | |
|-------------------|-------|-----|
| 総合実習 | 橋口 | 前期 |
| 基礎看護技術学Ⅰ(分担) | 橋口 | 前期 |
| 基礎看護学実習Ⅰ(分担) | 橋口 | 前期 |
| 基礎看護技術学Ⅱ(分担) | 橋口 | 後期 |
| 基礎看護学実習Ⅱ(分担) | 橋口 | 後期 |
| 総合実習(分担) | 藤田(君) | 前期 |
| 老年看護学実習(分担) | 藤田(君) | 前期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅰ(分担) | 藤田(君) | 後期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅱ(分担) | 藤田(君) | 後期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 藤田(君) | 通年 |
| 看護研究Ⅳ アドバンス | 藤田(君) | 通年 |
| 老年看護学実習 | 寺岡 | 前期 |
| 総合実習 | 寺岡 | 前期 |
| 在宅看護論実習 | 寺岡 | 通年 |
| インフォームド・コンセント(分担) | 丸山 | 前期 |
| 基幹教育セミナー | 丸山 | 前期 |
| バイオエシックス入門(集中講義) | 丸山 | 春学期 |
| バイオエシックス入門 | 丸山 | 夏学期 |
| 課題例示科目 | 丸山 | 後期 |
| 医療倫理学Ⅰ | 丸山 | 秋学期 |
| 医療倫理学Ⅱ | 丸山 | 冬学期 |
| コミュニケーション論 | 丸山 | 冬学期 |

| | | |
|-----------------|-------|-----|
| 基礎看護技術学Ⅰ(分担) | 松尾 | 前期 |
| 基礎看護学実習Ⅰ(分担) | 松尾 | 前期 |
| 総合実習(分担) | 松尾 | 前期 |
| 基礎看護技術学Ⅱ(分担) | 松尾 | 後期 |
| 基礎看護学実習Ⅱ(分担) | 松尾 | 後期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 松尾 | 通年 |
| 成人急性期看護論Ⅱ(分担) | 松永 | 前期 |
| 総合実習(分担) | 松永 | 前期 |
| 老年看護学実習(分担) | 松永 | 前期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅰ(分担) | 松永 | 後期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅱ(分担) | 松永 | 後期 |
| 看護研究Ⅲ | 松永 | 通年 |
| 総合実習(分担) | 能登 | 前期 |
| 基礎看護学実習Ⅰ(分担) | 能登 | 前期 |
| 基礎看護技術学Ⅱ(分担) | 能登 | 後期 |
| 基礎看護学実習Ⅱ(分担) | 能登 | 後期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 能登 | 通年 |
| 精神看護学実習 | 青本 | 後期 |
| 総合実習(分担) | 中島 | 前期 |
| 精神看護学実習(分担) | 中島 | 後期 |
| 成人急性期看護論Ⅱ(分担) | 山口 | 前期 |
| 老年看護学実習(分担) | 山口 | 前期 |
| 総合実習(分担) | 山口 | 前期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅰ(分担) | 山口 | 後期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅱ(分担) | 山口 | 後期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 山口 | 通年 |
| 精神看護学実習 | 木原 | 後期 |
| 基礎看護学実習Ⅰ(分担) | 松本 | 前期 |
| 基礎看護技術学Ⅰ(分担) | 松本 | 前期 |
| 総合実習(分担) | 松本 | 前期 |
| 基礎看護学実習Ⅱ(分担) | 松本 | 後期 |
| 基礎看護技術学Ⅱ(分担) | 松本 | 後期 |
| 総合実習(分担) | 田中 | 前期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅱ(分担) | 田中 | 前期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅰ(分担) | 田中 | 後期 |
| 老年看護学実習(分担) | 田中 | 後期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 田中 | 通年 |
| 老年看護学実習(分担) | 相星 | 前期 |
| 総合実習(分担) | 相星 | 前期 |
| 看護研究Ⅱ(分担) | 相星 | 夏学期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅰ(分担) | 相星 | 後期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅱ(分担) | 相星 | 後期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 相星 | 通年 |
| 基礎看護学実習Ⅰ(分担) | 藤田(香) | 前期 |
| 基礎看護技術学Ⅰ(分担) | 藤田(香) | 前期 |

| | | |
|-----------------|-------|----|
| 基礎看護学実習Ⅱ(分担) | 藤田(香) | 後期 |
| 基礎看護技術学Ⅱ(分担) | 藤田(香) | 後期 |
| 成人老年看護学実習Ⅰ(分担) | 薬師寺 | 後期 |
| 成人老年看護学実習Ⅱ(分担) | 薬師寺 | 後期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 薬師寺 | 通年 |
| 基礎看護学実習Ⅰ(分担) | 道面 | 前期 |
| 基礎看護技術学Ⅰ(分担) | 道面 | 前期 |
| 総合実習(分担) | 道面 | 前期 |
| 基礎看護学実習Ⅱ(分担) | 道面 | 後期 |
| 基礎看護技術学Ⅱ(分担) | 道面 | 後期 |
| 総合実習(分担) | 酒井 | 前期 |
| 老年看護学実習(分担) | 酒井 | 前期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅰ(分担) | 酒井 | 後期 |
| 成人・老年看護学実習Ⅱ(分担) | 酒井 | 後期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 酒井 | 通年 |

8. 卒業論文作成者

| | |
|--------|---|
| 下田 菜央 | 女性生殖器の悪性腫瘍による術後患者が抱える不安に関する文献研究 |
| 横山 瑞希 | 妊娠した高校生への養護教諭の支援の現状に関する文献検討 |
| 橋本 望美 | 脳卒中後うつ病に関係する因子とその介入に関する検討 |
| 山下 陽香 | 衣服が血圧測定値に与える影響に関する文献研究 |
| 田邊 麻衣 | 集中治療室におけるせん妄・不穏発症の要因に関する文献検討 |
| 兼島 洋人 | 臨地実習における看護学生の抱くコミュニケーションに関する困難感と対応策 |
| 諫山 彩 | 食事療法を行う患者に関する文献研究－患者の自己効力感に焦点を当てた看護の一考察－ |
| 藤野 香菜 | 高齢患者の尊厳に焦点を当てた看護研究 |
| 正木 友梨 | 終末期がん患者に関する文献研究-患者の QOL に焦点を当てた看護の一考察- |
| 橋本 栄一 | 終末期患者の看護場面におけるコミュニケーションに関する文献研究 |
| 森崎 那々 | 僻地医療における訪問看護に関する文献研究 |
| 川村 詩音 | 視覚障害者の日常生活における体験についての文献検討 |
| 梶山 みよ | DMAT 看護師が行う看護実践についての研究 |
| 中村 はな子 | 災害ボランティアに参加した看護学生の経験についての文献研究 |
| 牛尾 彩音 | 病棟看護師が在宅療養を目指してがん患者及び家族へ行う退院支援・調整に関する文献研究 |
| 島袋 玲 | 地域在住高齢者の余暇活動が QOL に及ぼす影響についての文献検討 |
| 横尾 日菜子 | 術後乳がん患者の QOL に関する文献検討 |
| 山口 真子 | 地域の中で生活する統合失調症患者の親が抱く思いと支援 |
| 米丸 千暁 | 外来がん化学療法を受ける患者の治療継続に関連する困難と支えについての文献検討 |
| 本田 羽那 | 自立した地域在住高齢者の転倒恐怖感と転倒との関連 |
| 新里 莉子 | 認知症高齢者を介護する家族の肯定感向上に関する文献の検討 |
| 有菌 早希 | 新人看護師の就業後 1 年間のストレスの推移と精神的支援の検討 |
| 松尾 侑紀 | 新人看護師を対象としたレジリエンスに関する研究の動向 |
| 鈴山 綾音 | 自閉症スペクトラム障害(ASD)を持つ人のきょうだいが同胞を受容するプロセス |
| 山岡 優依 | 精神科病棟における患者から他者への暴力に対する効果的な介入 |

| | |
|-------|--|
| 玉城 由真 | 救急医療領域の看護師による終末期患者の家族援助に関する困難感と対策 |
| 嶺井 香帆 | 救急看護師の離職につながるストレスの要因と就業継続に関わる要因についての文献研究 |
| 江口 美波 | 看護学生の実習満足度に影響・関連する要因についての文献検討 |
| 鹿田 眞子 | 衛生的手洗いの遵守状況の評価指標に関する文献検討 |
| 大茂 優希 | 術後疼痛に関する非薬物療法の効果に関する文献検討 |
| 馬場 千尋 | 新型コロナウイルス感染症拡大禍における看護師の倫理的問題に関する文献検討 |
| 肴場 聖 | 人工股関節置換術を受ける患者に対する患者教育方法と効果に関する文献検討 |
| 三村 夢果 | 2型糖尿病患者における家族支援の現状と性差 |
| 小井 瑠南 | 被虐待児をもつ保護者への看護介入の可能性 |
| 大山 夢生 | 消化器がん術後患者の退院後日常生活で抱える不安・困難感 |
| 篠原 椋太 | 看護師と一般人の男性看護師に対する役割期待 |
| 穴井 結花 | PNS 導入による看護実践能力への影響に関する文献検討 |
| 松本 恋佳 | 高齢者の口腔機能と栄養状態の関連についての文献検討 |
| 渡部 李子 | 精神疾患を抱える親をもつ子どもの思いと支援に関する文献検討 |
| 松原 史音 | 外来化学療法を受けるがん患者と家族に対する就労支援についての文献検討 |

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

道面 顧問 バスケットボール(保健学科)

3. 研究活動

1. 主要研究事項

| | | |
|----|--|-------|
| 1 | 家庭血圧と臓器障害に関する研究 | 後藤 |
| 2 | 心血管疾患発症予防につながる危険因子・防御因子の同定に関する研究 | 後藤 |
| 3 | 高血圧と血管内皮機能障害 | 後藤 |
| 4 | 医療従事者における個人防護衣着用と熱ストレス | 橋口 |
| 5 | 医薬品添付文書の活用における実態とその要因 | 橋口 |
| 6 | 女性の下肢疲労、むくみ発生に関する研究 | 橋口 |
| 7 | ソーシャルマーケティングによる受診勧奨の検討 | 藤田(君) |
| 8 | 低強度身体活動の尺度開発 | 藤田(君) |
| 9 | 認知症家族介護のエンパワメント | 藤田(君) |
| 10 | 住民ボランティアの認知症予防と認知症者理解に関する研究 | 寺岡 |
| 11 | コミュニケーション研究－看護のためのマイクロカウンセリング－ | 丸山 |
| 12 | 古医書・貴重書の書誌的研究－史料を活用した倫理教育・研究－九州大学医学部における史料研究:新しい「医の倫理」教育方法論の構築 | 丸山 |
| 13 | 死生観の国際比較研究(日本・韓国・米国) | 丸山 |
| 14 | 生殖補助医療における生命倫理研究 | 丸山 |
| 15 | 緑内障患者の視線動向に関する研究 | 松尾 |
| 16 | 看護職のキャリアディベロップメントに向けた支援の検討 | 松尾 |
| 17 | 認知症と視覚情報との関連についての研究 | 松尾 |

| | | |
|----|--|-----|
| 18 | 緑内障患者の点眼アドヒアランス向上に関する研究 | 松尾 |
| 19 | 人工股関節再置換術患者の身体活動量とQOLに関する研究 | 松永 |
| 20 | 日常生活におけるノンエクササイズアクティビティを測定する尺度の開発と検証 | 松永 |
| 21 | Based Ergonomics によるセンサーデバイスを用いた看護場面の測定・検証・評価 | 能登 |
| 22 | 高齢者の転倒予防に向けた運動感覚・日常生活動作モニターによる運動機能評価 | 能登 |
| 23 | 成人女性における下肢のむくみと月経周期の関連 | 中島 |
| 24 | 救急/クリティカルケア領域における高度実践看護師の能力と関連要因の検討 | 山口 |
| 25 | 依存症中間施設通所者の回復促進方法の検討 | 木原 |
| 26 | アルコール依存症者の感情体験 | 木原 |
| 27 | アルコール依存症者の感情活用能力育成プログラム開発の検討 | 木原 |
| 28 | 末梢静脈カテーテル留置における効果的な静脈怒張を促すための研究 | 松本 |
| 29 | 新型コロナウイルス流行禍における臓器移植後患者の感染予防と抑うつに関する研究 | 田中 |
| 30 | 肝移植患者の身体活動量とQOLに関する研究 | 田中 |
| 31 | 家族看護学全般に関する研究 難治性疾患患者・家族の支援 臨床看護師の教育・研究活動に関する研究 | 相星 |
| 32 | 日本語版 15D 尺度の信頼性・妥当性の検証 | 薬師寺 |
| 33 | 人工関節全置換術患者におけるデジタルヘルスを活用した看護支援モデルの構築 | 薬師寺 |
| 34 | 日本における国民皆保険制度における人工股関節全置換術の費用対効果 | 薬師寺 |
| 35 | 人工関節患者における術前の期待とその到達度、QOLに関する調査 | 薬師寺 |
| 36 | 看護師と保健師の健康教育ビリーフ | 道面 |
| 37 | 寝たきり非経口高齢者の口腔ケア | 酒井 |

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

後藤 健一

- 「基盤研究(C)」多職種連携による高血圧発症予防に関する研究，後藤(代表)。
- 「基盤研究(B)」心房細動患者の至適降圧レベルを検討する無作為化比較試験，後藤(分担)。
- 「基盤研究(C)」若年高血圧に関連する口腔内・腸内細菌を探索し予防と治療につなげる研究，後藤(分担)。

橋口 暢子

- 「挑戦的研究(萌芽)」人間工学的アプローチによる看護師の情報取得向上を目指した医薬品情報のデザイン展開，橋口(代表)。
- 「基盤研究(B)」高齢者の入浴事故防止に向けた生活指導ガイドラインの作成，橋口(代表)。

藤田 君支

- 「基盤研究(C)」人工関節術後高齢者における身体不活動ライフスタイル予防の包括的看護モデルの開発，藤田(君)(代表)。
- 「基盤研究(C)」肝移植後の低活動ライフスタイルを変容する看護介入プログラムの開発，藤田(君)(分担)。
- 「基盤研究(C)」高齢糖尿病患者における座位行動改善への介入方法の開発と検証，藤田(君)(分担)。

- 「基盤研究(C)」C 型肝炎ウイルス排除後患者のセデンタリーライフスタイルと肝がん発症との関連, 藤田(君)(分担).
- 「基盤研究(C)」在宅高齢者のヘルスリテラシーと口腔に関連した健康関連 QOL の関連性の解明, 藤田(分担).
- 「基盤研究(C)」認知症ワーキングケアラーのエンパワメントを高める教育支援プログラムの開発と検証, 藤田(分担).

寺岡 佐和

- 「基盤研究(C)」住民ボランティアの認知症予防と認知症者理解を目的とした園芸活動プログラムの開発, 寺岡(代表).

松尾 和枝

- 「若手研究」原発開放隅角緑内障患者の主観的・客観的視覚を基盤とした治療支援プログラムの開発, 松尾(代表).

松永 由理子

- 「基盤研究(C)」日常生活におけるノンエクササイズアクティビティを測定する尺度の開発と検証, 松永(代表).
- 「基盤研究(C)」在宅の要介護高齢者と家族介護者への補完代替療法として有効な看護介入モデルの開発, 松永(分担).
- 「基盤研究(C)」自己教示法・問題解決法を応用した呼吸困難を改善する新たな生活指導プログラムの開発, 松永(分担).
- 「基盤研究(B)」COPD プロアクティブリサーチシステム構築のための横断的、および縦断的探索, 松永(分担).
- 「基盤研究(C)」慢性閉塞性肺疾患管理に特化した自己効力感尺度の開発とその臨床応用可能性の検討, 松永(分担).

能登 裕子

- 「基盤研究(C)」リスクゼロ段階からの転倒予防介入指針の開発-身体感覚と運動機能のズレによる層別化, 能登(代表).

山口 優

- 「若手研究」救急看護コンピテンシーの評価尺度の開発と検証, 山口(代表).

木原 深雪

- 「基盤研究(C)」アルコール依存症者の感情活用能力育成プログラム開発の検討, 木原(代表).

松本 美晴

- 「若手研究」PIVC における穿刺静脈の血管怒張を促すために有効な温罨法の加温条件の検討, 松本(代表).

田中 さとみ

- 「研究活動スタート支援」新型コロナウイルス流行禍における臓器移植後患者の感染予防と抑うつに関する研究, 田中(代表).
- 「基盤研究(C)」肝移植後の低活動ライフスタイルを変容する看護介入プログラムの開発, 田中(分担).

薬師寺 佳菜子

- 「研究活動スタート支援」人工膝/股関節全置換術患者におけるデジタルヘルスを活用した看護支援モデルの構築, 薬師寺(代表).

酒井 久美子

- 「基盤研究(C)」虚弱高齢者に対する口腔ケアシステムの作成, 酒井(代表).

3. 学内研究経費の受入れ

- 「平成 31 年度教育の質の支援向上プログラム Neep」保健学における国際教育研究におけるジェミニプロジェクトの推進, 藤田(代表).

4. 奨学寄付金の受入れ なし

5. その他の外部研究資金の受入れ なし

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

○ 学会誌・学術専門誌

- 上野 友莉、鳩野 洋子、寺岡 佐和：自宅退院後の認知症患者との生活を継続している高齢介護者の介護の受け止め, *インターナショナル Nursing Care Research*, 20, 4, 49 - 58, 2021 年 11 月.
- Hiroyuki Sawatari, Anita Rahmawati, Nobuko Moriyama, Kanae Fujita, Tomoko Ohkusa, Tomoko Nao, Nobuko Hashiguchi, Mari Nishizaka, Shin-ichi Ando, Akiko Chishaki: Characteristics of sleep-disordered breathing in children with down syndrome - A comparison with typically developing children, *Sleep Medicine*, 4, 2021 年 11 月.
- 東 八千代、能登 裕子、立石 礼望、黒川 雄平、松本 美晴、松尾 和枝、橋口 暢子：看護学実習における長時間立位活動に伴う下肢のむくみの発生状況とその要因, *人間と生活環境*, 28, 1, 1 - 8, 2021 年 06 月.
- Sakanashi S, Fujita K, Konno R.: Components of Empowerment Among Family Caregivers of Community-Dwelling People With Dementia in Japan: A Qualitative Research Study, *The journal of nursing research*, 29, 3, e155 - , 2021 年 06 月.
- 立石 礼望、東 八千代、黒川 雄平、松尾 和枝、能登 裕子、松本 美晴、橋口 暢子：抗悪性腫瘍剤使用部署看護師における医薬品添付文書の情報活用とその影響要因, *日本臨床看護マネジメント学会誌*, 3 巻, 63-71, 2021 年 06 月.

- 山下智美、大池美也子、能登裕子、橋口暢子：看護専門学校における看護教員の臨床経験の意味，日本看護学教育学会誌 31(1)，2021年07月。
- Shojiro Egoshi, Jun Horie, Akinori Nakagawa, Yuriko Matsunaga, Shinichiro Hayashi: Walking distance in incremental shuttle walking test as a predictor of physical activity in patients diagnosed with low-risk chronic obstructive pulmonary disease, SAGE Open Med, 2021年12月。
- 江越 正次朗、堀江 淳、中川 明仁、松永 由理子、林 真一郎：Group Aに属する慢性閉塞性肺疾患患者の1年後の骨格筋機能変化，理学療法科学，36, 2, 259 - 264，2021年04月。
- 能登裕子、梶原弘平、山中真：加齢に伴う身体感覚の変化・運動機能と転倒経験，インターナショナル Nursing Care Research，20, 3, 19 - 28，2021年10月。
- Kajiwara K, Noto H, Mantani A, Iwasaki Y, Nutaba S, Kako J, Miyashita M: Association Between Subjective Caregiver Burden and Heart Rate Identified Using Wearable Sensors Among Informal Caregivers of People with Dementia, Japanese journal of international nursing care research, 20, 2, 51 - 60, 2021年05月。
- Miki Nagafuchi, Hirokazu Takahashi, Keizo Anzai, Miki Hidaka, Tsuyoshi Matsushita, Kimie Fujita: Tailored notification encouraging examinees with abnormal glucose levels in health checkups to seek medical care. Diabetology International. 2021, 26;13(1):262-271.
- Rumi Tanaka, Kimie Fujita, Satoko Maeno, Kanako Yakushiji, Satomi Tanaka, Keizo Ohnaka, Kenji Ashida, Shohei Sakamoto, Masatoshi Nomura: The effect of real-time monitoring of physical activity intensity in diabetic patients, Japan Journal of Nursing Science, e12445, 2021年08月。
- 薬師寺佳菜子：看護職が受けたメンタリングへの影響要因，看護教育研究学会誌，13, 1, 13 - 22，2021年06月。
- 酒井久美子：寝たきり非経口摂取高齢者における日中の口腔湿潤度と口腔内細菌数を調査した1例，日本口腔ケア学会，2021年12月。

○ 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Akemi Abe, Yoko Hatono, Sawa Teraoka: Development of a scale for public health nurses to support resident organization activities for community building in Japan, 6th International Conference Global Network of Public Health Nursing, 2022年01月，Japan.
- Kenichi Goto: Prevention and Management of Hypertension in Japan in the time of COVID-19, International Conference "Challenges in NCDs management to achieve the SDGs in the COVID-19 era and beyond", 2022年01月，Thailand.
- Kenichi Goto: Endothelium-dependent hyperpolarization (EDH) and endothelial dysfunction in hypertension: The role of endothelial ion channels, Joint Meeting of The European Society for Clinical Hemorheology and Microcirculation, The International Society for Clinical Hemorheology, The International Society of Biorheology (ESCHM-IISCH-ISB 2021), 2021年07月，Japan.

- Hiroko Noto, Nobuko Hashiguchi, Kageyu Noro: Sensor-Based Ergonomics- Developing a system to measure the transition during repositioning, JES System Conference 2022, 2022年03月, Japan.
 - Satomi Tanaka: Improvement of Physical Activity and Health-related Quality of Life during the first 12 months after living-donor liver transplantation, The 24th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2021), 2021年04月, Philippines (online)
 - Tanaka R, Maeno S, Yakushiji K, Tanaka S, Fujita K: Effect of monitoring physical activity intensity using a display device on self-management in patients with diabetes, East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) 2021, 2021年04月, Philippines (online)
- **大学・研究機関などの刊行誌** なし
- **調査研究報告**
- 松尾和枝: Information-Motivation-Behavioral モデルを基盤とした看護介入モデルの構築- 緑内障患者の点眼アドヒアランスに焦点をあてて -, Phenomena in Nursing, 2021年06月.
- **国内学会での講演, 発表**
- 大和いくみ、坂田智子、富田祐亮、茨木愛、川本夕希、井上美奈子、大田祐子、有馬久富、後藤健一、北園孝成: 日本人職域集団における高血圧サブタイプごとの特性、3年後の血圧管理・治療状況について, 第43回日本高血圧学会総会, 2021年10月, 沖縄.
 - 大石絵美、坂田智子、秦淳、平川洋一郎、後藤健一、北園孝成、二宮利治: 日本人地域住民における高血圧管理状況の時代的推移:久山町研究, 第43回日本高血圧学会総会, 2021年10月, 沖縄.
 - 後藤健一: 心血管予防を目指した高血圧治療 -肥満に伴う高血圧の病態と治療-, 九州医療センター 地域医師のための生涯研修セミナー, 2021年09月.
 - 大石年訓、大和いくみ、富田祐亮、坂田智子、後藤健一、北園孝成: 生体腎移植後に総腸骨動脈狭窄で難治性の高血圧を来した1症例, 第9回日本高血圧学会臨床高血圧フォーラム, 2021年05月, 千里ライフサイエンスセンター.
 - 前田ひとみ、橋口暢子、他編集委員会委員 : 臨床における看護研究の種に花を咲かせよう! ~臨床看護師の気づきを論文にするために~, 日本看護技術学会第19回学術集会, 2021年10月.
 - 松本美晴、橋口暢子、小林宏光: 末梢静脈穿刺時の静脈拡張を促すための温罨法の加温条件とその効果に関する文献検討, 日本看護研究学会第26回九州・沖縄地方学術集会, 2022年01月29日
 - 中島紀江、松本美晴、松尾和枝、橋口暢子: 女子大学生の日常生活における下肢のむくみと発生状況およびその発生と月経周期との関連, 日本看護研究学会第26回九州・沖縄地方学術集会, 2022年01月,福岡(オンライン)
 - 西田彩子、松尾和枝、濱田正美、平岩ひろみ、岩谷友子、橋口暢子: 中堅看護師の看護実践能力と経験年数および個人背景要因との関係, 第16回 医療の質・安全学会学術集会, 2021年11月, オンライン開催.

- 橋口暢子：次世代に求められる看護研究者の育成-異分野融合研究から得た経験をもとに、看護薬理学カンファレンス，2021年11月。
- 藤田君支、松永由理子、田渕康子、牧本清子：人工関節全置換術を受けた高齢者の運動実施状況の変化と術後満足度，第41回日本看護科学学会学術集会，2021年12月，WEB開催。
- 坂梨左織、藤田君支：働き盛り世代の「認知症介護における学習課題」に関する実態調査，第41回日本看護科学学会学術集会，2021年12月，WEB開催。
- 徳重あつ子、能登裕子、伊部亜紀、野呂影勇：教育講演「気軽に実験しませんか Part II」，第3回看護人間工学会学術集会，2021年09月，埼玉（オンライン開催）。
- 能登裕子、橋口暢子、藤田香苗、中島紀江、道面千恵子、松本美晴、松尾和枝、野呂影勇：体位変換によって生じる接触圧推移の簡便な測定の試みと活用，日本人間工学会九州沖縄支部大会，2021年11月，沖縄。
- 池田智子、山口綾萌、青本さとみ、大橋綾子：敗血症により集中治療を受けた患者の不安抑うつ～PICS予備群の特徴とは～，第33回日本総合病院精神医学会総会，2021年06月，オンライン。
- 中尾久子、金岡麻希、木下由美子、潮みゆき、青本さとみ、酒井久美子：病院看護師の道徳的感受性、倫理的行動の基礎調査 一手術室看護師の特性一，第33回日本生命倫理学会年次大会，2021年12月，オンライン。
- 安部遼太、山口優、堀智恵：ICDSCによるせん妄評価と計画外抜去に関連する要因，第49回日本集中治療医学会学術集会，2022年03月，オンライン開催。
- 田中さとみ、藤田君支：肝移植後患者の新型コロナウイルス感染症に対する認識と感染予防行動の実態，日本看護科学学会 第41回日本看護科学学会学術集会，2021年12月，名古屋（オンライン）。
- 井上智恵、伊波早苗、小田和美、恩幣宏美、河口てる子、安酸史子、小林貴子、岡美智代、小平京子、太田美帆、滝口成美、伊藤ひろみ、横山悦子、近藤ふさえ、東めぐみ、道面千恵子、大澤栄実、長谷川直人：患者と医療者で病状理解をわかち合おう～看護の教育的かかわりモデルの「病態・病状のわかち合いと合点化」～，第26回日本糖尿病教育・看護学会，2021年09月，WEB開催（川崎市コンベンションホール）。
- 酒井久美子、姫野稔子：寝たきり非経口摂取高齢者に対する口腔ケア効果の一例，第41回日本看護科学学会学術集会，2021年12月，名古屋，（オンライン）
- 丸山マサ美、木村利人、鈴木美香、川勝和哉：中・高・大連携におけるバイオエシックス教育ー第2弾ー，ワークショップ，第33回日本生命倫理学会、慶應義塾大学，2021年11月

○ 学会以外での講演，発表 なし

著作

1. 単行本

- 寺岡 佐和：（共著）2022年版 保健師国家試験問題集，2021年04月，医学書院。
- 丸山マサ美（総監修）、木村利人、佐々木秀美、平尾真智子、金井一薫：（監修）アニメでわかる看護の歴史・医療の歴史(DVD)2巻，2021年11月，丸善出版。

2. 総説

- Kenichi Goto and Takanari Kitazono: The transient receptor potential vanilloid 4 channel and cardiovascular disease risk factors., *Frontiers in Physiology*, 2021年09月.
- 後藤健一: 心血管予防を目指した高血圧治療 ―肥満に伴う高血圧の病態と治療―, *臨床と研究*, 2021年09月.
- 栃原裕、橋口暢子: 日本における冬季高齢者の入浴死について, *人間と生活環境*, 2021年11月.

3. 解説, 書評など

- 阿曾洋子、徳重あつ子、能登裕子、伊部亜紀、野呂影勇: 第3回 看護人間工学会学術集会 教育講演 気軽に実験しませんか Part II, *看護人間工学会誌*, Vol.3, 11-20, 2022年03月.
- 監修: 船木淳、畑中あかね執筆: 山口優: 3STEPで学ぶ 疾患 Basic Study くも膜下出血, *Clinical Study*, 2021年05月.

受賞

- 橋口, 「清拭における乾拭の有無が及ぼす生理的・主観的反応とその性差」, *日本生理人類学会2020年度論文奨励賞受賞*, 日本生理人類学会, 2021年06月.

報道

- 丸山, 西日本新聞, 「ワクチン余ったら誰に?の問いに対する医療倫理学の観点からコメントを行った。「医療倫理学では一番弱い人から守るという原則がある。本来なら政府やWHOが詳細なガイドラインを作るべきだった」と指摘。自治体任せの現状では「住民への告知など透明性の確保も大切、できるだけ不平等のないように気を付ける必要がある」と注文している。6月6日第1面」, 2021年06月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究 なし
2. 受託研究 なし
3. 取得特許 なし
4. 兼業 なし
5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 丸山, 韓国延世大学(2021年秋)(ZOOM:Korea), 大学・研究所訪問, 2021年09月~2022年03月.

2. 外国人研究者の受入れ

- 訪問教授・研究員 なし
- 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 橋口, 大学院基幹教育実施会議構成員.
- 橋口, 基幹 CHC 倫理専門委員会.
- 橋口, 研究活動基礎支援専門委員.
- 山口, 災害医療小委員会委員.
- 酒井, 実習指導者会議委員.

2. 部局委員

- 橋口, 模擬患者養成専門部会委員.
- 橋口, 看護キャリアセンター会議 委員.
- 藤田(君), 卒業研究委員会オブザーバー.
- 藤田(君), 実習委員会オブザーバー.
- 藤田(君), 人事交流教員担当.
- 藤田(君), 看護キャリアセンター会議副委員長.
- 丸山, 医療系統合教育研究センター委員会委員.
- 丸山, 九州大学未来創成科学者育成プロジェクト(Bio&Life コース)教員
- 木原, 安全衛生推進委員.

3. 部門・コース内委員

- 後藤, 統合基礎看護学講座講座長.
- 後藤, 看護学分野国際 WG・委員長.
- 後藤, 保健学部門学生委員会委員長.

- 後藤, 保健学部門地域・国際連携委員会・副委員長.
- 後藤, 保健学部門財務委員会委員.
- 後藤, 保健学部門 FD 実行委員会委員.
- 後藤, 保健学部門学生支援会運営委員.
- 後藤, クラス担任.
- 橋口, 財務委員会 委員.
- 橋口, 看護学分野国際 WG 委員.
- 橋口, 大学院委員会 委員長.
- 橋口, 実習委員会委員長.
- 橋口, クラス担任.
- 橋口, 人事委員会・教員活動評価委員会.
- 橋口, 副分野長.
- 藤田(君), クラス担任.
- 藤田(君), 保健学部門学生支援会運営委員会委員.
- 藤田(君), 入試実施委員会委員.
- 藤田(君), 財務委員会委員.
- 藤田(君), 人事委員会・教員活動評価委員会委員.
- 藤田(君), 将来計画, 点検・評価・年報委員会委員.
- 藤田(君), 総務委員会委員.
- 藤田(君), 副部門長.
- 藤田(君), 看護分野長.
- 寺岡, 大学院委員会副委員長.
- 寺岡, 教務委員会委員.
- 寺岡, 実習委員会委員.
- 松永, 看護研究委員会委員.
- 松永, 実習委員会委員.
- 能登, 将来計画、点検・評価・年報委員.
- 松尾, 令和4年度カリキュラム改正 WG 委員.
- 松尾, 教務委員会委員.
- 木原, 図書委員会委員.
- 木原, 実習委員会委員.
- 松本, 地域国際連携・FD 実行委員.
- 松本, クラス担任.
- 田中, 広報委員会委員.
- 相星, 地域・国際連携推進・FD 実行委員.
- 相星, クラス担任.
- 丸山, クラス担任.
- 道面, 看護研究委員会委員.
- 道面, 実習委員会委員.
- 道面, クラス担任

- 酒井, 実習委員会委員.
- 藤田(香), クラス担任

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 橋口, 放送大学, 客員教員.
- 橋口, 放送大学, 面接授業講師.
- 藤田(君), 京都大学大学院, 非常勤講師
- 藤田(君), メンタルヘルスケア・スペシャリスト養成講座. 非常勤講師
- 丸山, 聖マリア学院大学大学院 修士課程, 非常勤講師. 集中講義.
- 丸山, 純真学園大学保健医療学部, 非常勤講師.
- 松尾, 放送大学, 面接授業講師.
- 能登, 福岡県看護協会新人看護職員教育担当者研修, 集中講義.
- 能登, 福岡県看護協会認定看護管理者教育課程ファーストレベル, 集中講義.
- 青本, 福岡県実習指導者講習会, 非常勤講師.
- 青本, 福岡看護高等専修学校, 非常勤講師.

2. 学協会

- 後藤, 日本高血圧学会, その他(診療・保険委員会委員) .
- 後藤, 日本高血圧学会, 評議員 .
- 橋口, 人間-生活環境系学会, 理事, 国内.
- 橋口, 日本看護科学学会, その他(代議員), 国内.
- 橋口, 日本看護技術学会, 編集委員, 国内.
- 橋口, 人間-生活環境系学会, 編集委員 (Journal of the Human-Environment System 英文誌編集委員), 海外.
- 橋口, 日本循環器看護学会, 査読委員, 国内.
- 橋口, 福岡県看護協会 WOC 入試委員副委員長
- 藤田(君), Japan Journal of Nursing Science, その他(編集委員), 海外.
- 藤田(君), 日本看護科学学会, その他(表彰委員, 代議員), 国内.
- 藤田(君), 日本看護研究学会, 評議員, 国内.
- 藤田(君), 日本糖尿病教育・看護学会, その他(編集委員, 代議員), 国内.
- 藤田(君), 日本老年看護学会, 評議員, 国内.
- 藤田(君), 日本慢性看護学会, 評議員, 国内.
- 寺岡, 一般社団法人日本認知症ケア学会, 運営委員 (一般社団法人日本認知症ケア学会 九州1地域部会 副部会長), 国内.
- 丸山, 日本生命倫理学会, 評議員, 国内.
- 丸山, 日本看護歴史学会理事長, その他(渉外委員会・研究活動推進委員会)
- 丸山, 六史学会(日本看護歴史学会, 日本医史学会, 日本獣医史学会, 日本歯科医史学会, 洋学学会, 日本薬史学会)理事会メンバー, 国内.

- 丸山, 日本医学哲学倫理学会, その他(国内学術交流委員会委員・国際学術交流委員会委員・企画委員会), 国内.
- 丸山, 日本看護研究学会, その他(査読委員), 国内
- 松尾, 福岡県看護協会, 運営委員(認定看護管理者教育運営委員会), 国内.
- 能登, バイオメディカルファジイシステム学会, その他(監事), 国内.
- 能登, 日本人間工学会, 評議員, 国内.
- 能登, 日本人間工学会九州・沖縄支部, 理事, 国内.
- 山口, 日本救急看護学会, 評議員, 国内.
- 丸山, 日本看護歴史学会, 編集委員, 査読委員, 国内.
- 丸山, Journal of Philosophy and Ethics in Health Care and Medicine, 国際誌編集委員・査読委員, 国際.
- 丸山, 日本医史学会, 査読委員, 国内.
- 能登, 日本人間工学学会誌, 査読委員, 国内.
- 山口, 日本救急看護学会雑誌, 査読委員, 国内.
- 道面, 日本糖尿病教育・看護学会, 査読委員, 国内.
- 相星, 日本家族看護学会第29回学術集会, 企画委員, 国内.

3. 官界

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 松尾, 「九州大学病院看護部看護教育研究推進ワーキング委員」
- 寺岡, 「すびか☆くるめ運営委員会委員長」, 福岡県看護協会.
- 丸山, 「NPO ヒトの教育の会」, 常任代議員.

5. 公開講座・公開講演会

- 後藤, 「コロナ禍での健康管理」, 西日本鉄道株式会社, 講演会・公開討論.
- 橋口, 「実践漢方看護セミナー 日時:2021.11.27(土)」, 共催 九州大学病院 臨床教育研究センター きらめきプロジェクト/株式会社ツムラ 後援 九州大学病院看護部, TKP ガーデンシティ博多より Web 配信, セミナー・研修会.
- 橋口, 「室内の温熱環境と健康障害」 放送大学 Step up セミナー
- 青本, 「福岡県実習指導者講習会」, 福岡県看護協会, 福岡県看護協会, セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献

- 丸山, バイオエシックス 総論・各論, 博多青松高等学校, 2021年07月03日.
- 丸山, 令和3年度福岡高校生知の創造塾, ファッションリテーター, 福岡県教育庁教育振興部教育課, プレセミナー講座, 07月10日, メイン講座: バイオエシックスの視点から捉える生死, 08月17日, 08月18日, 08月19日.
- 丸山, やまぐちで学ぶ! 高校教育魅力向上事業におけるニューフロンティアセミナー, 山口県高校生対象 オンライン講座: バイオエシックス入門(総論), 山口県教育庁高校教育課. 2021年09月18日.

- 丸山, 令和3年度科学倫理教育研修会 兵庫県立姫路東高等学校スーパーサイエンスハイスクール推進事業, (テーマ)いのちは誰のものー総論・各論ー, 兵庫県立姫路東高等学校.
- 丸山, 令和3年度兵庫県立姫路東高等学校スーパーサイエンスハイスクール第1回運営指導委員会 2021年07月20日, 第2回運営指導委員会 2022年01月20日.

看護学分野

《広域生涯看護学》

| | |
|-----|--------|
| 教授 | 諸隈 誠一 |
| 教授 | 鳩野 洋子 |
| 准教授 | 前野 有佳里 |
| 准教授 | 植木 慎悟 |
| 講師 | 宮田 潤子 |
| 講師 | 岩木 三保 |
| 講師 | 末次 美子 |
| 講師 | 菊地 君与 |
| 助教 | 佐藤 洋子 |
| 助教 | 木村 一絵 |
| 助教 | 松藤 尋幹 |
| 助教 | 森口 晴美 |
| 助教 | 藤井 紗也 |
| 助教 | 藤田 紋佳 |
| 助教 | 藤田 貴子 |

1. 教育活動

1. 大学院講義

| | | |
|---------------------------|----|-----|
| 先端医療論(分担) | 諸隈 | 前期 |
| 周産期の薬理学(分担) | 諸隈 | 夏学期 |
| リプロサイエンスⅠ(分担) | 諸隈 | 前期 |
| 発達看護学特論Ⅱ(分担) | 諸隈 | 後期 |
| リプロサイエンスⅡ(分担) | 諸隈 | 後期 |
| 生命倫理・遺伝相談カウンセリング論(分担) | 諸隈 | 冬学期 |
| 地域国際母子保健論Ⅰ(分担) | 鳩野 | 秋学期 |
| 看護研究方法論Ⅰ(分担) | 鳩野 | 春学期 |
| 地域看護学特論Ⅰ | 前野 | 前期 |
| 母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担) | 植木 | 前期 |
| 発達看護学特論Ⅰ(分担) | 植木 | 前期 |
| 看護研究方法論Ⅰ(分担) | 植木 | 春学期 |
| 発達看護学特論Ⅱ(分担) | 植木 | 後期 |
| 母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担) | 宮田 | 前期 |
| 発達看護学特論Ⅰ(分担) | 宮田 | 前期 |
| リプロサイエンスⅠ(分担) | 宮田 | 前期 |
| 周産期の薬理学(分担) | 宮田 | 夏学期 |
| 先端医療論(分担) | 宮田 | 前期 |
| 周産期の薬理学(分担) | 末次 | 夏学期 |
| Women's Health 補完代替医療(分担) | 末次 | 春学期 |
| 基礎助産学 | 末次 | 前期 |

| | | |
|---------------------------|-------|-----|
| 助産マネジメント論Ⅰ(分担) | 末次 | 後期 |
| 地域国際母子保健論Ⅰ(分担) | 菊地 | 秋学期 |
| 看護研究方法論Ⅱ(分担) | 菊地 | 夏学期 |
| 地域国際母子保健論Ⅰ(分担) | 佐藤 | 秋学期 |
| Women's Health 補完代替医療(分担) | 佐藤 | 春学期 |
| 生命倫理・遺伝相談カウンセリング論(分担) | 松藤 | 冬学期 |
| 発達看護学特論Ⅰ(分担) | 森口 | 前期 |
| 看護研究方法論Ⅱ(分担) | 藤田(紋) | 前期 |
| 発達看護学特論Ⅱ(分担) | 藤田(紋) | 後期 |
| 発達看護学特論Ⅰ(分担) | 藤田(紋) | 前期 |

2. 大学院実験・実習

| | | |
|--------------|----|----|
| 助産学実習Ⅰ(分担) | 諸隈 | 後期 |
| 助産学実習Ⅱ(分担) | 諸隈 | 後期 |
| 助産学実習Ⅰ(分担) | 末次 | 後期 |
| 助産学総合実習Ⅰ(分担) | 末次 | 前期 |
| 助産学実習Ⅱ(分担) | 末次 | 後期 |
| 助産学実習Ⅰ(分担) | 佐藤 | 後期 |
| 助産学実習Ⅱ(分担) | 佐藤 | 後期 |
| 助産学総合実習Ⅰ(分担) | 佐藤 | 前期 |
| 助産学実習Ⅰ(分担) | 松藤 | 後期 |
| 助産学実習Ⅱ(分担) | 松藤 | 前期 |
| 助産学総合実習Ⅰ(分担) | 松藤 | 後期 |
| 助産学総合実習Ⅰ(分担) | 藤井 | 後期 |
| 助産学実習Ⅰ(分担) | 藤井 | 後期 |
| 助産学実習Ⅱ(分担) | 藤井 | 後期 |

3. 大学院演習

| | | |
|--------------------|----|-----|
| 国際プレゼンテーション(諸隈教授) | 諸隈 | 通年 |
| 保健学特別研究(諸隈教授) | 諸隈 | 通年 |
| 母子発達ケアシステム論Ⅱ(分担) | 諸隈 | 後期 |
| 病態情報解析学Ⅱ(分担) | 諸隈 | 後期 |
| 保健学特別研究 | 鳩野 | 通年 |
| 国際プレゼンテーション(鳩野教授) | 鳩野 | 通年 |
| 看護学特別研究(末次講師) | 末次 | 通年 |
| 助産診断・技術学Ⅰ(分担) | 末次 | 前期 |
| 助産診断・技術学Ⅱ(分担) | 末次 | 夏学期 |
| 助産診断・技術学Ⅲ(分担) | 末次 | 後期 |
| 高次助産診断技術学演習(分担) | 末次 | 後期 |
| Women's Health(分担) | 末次 | 前期 |
| 看護学特別研究(菊地講師) | 菊地 | 通年 |
| 助産診断・技術学Ⅰ(分担) | 佐藤 | 前期 |
| 助産診断・技術学Ⅱ(分担) | 佐藤 | 前期 |
| 助産診断・技術学Ⅲ(分担) | 佐藤 | 前期 |
| Women's Health(分担) | 佐藤 | 前期 |

| | | |
|---------------------|----|----|
| 高次助産診断・技術学演習(分担) | 佐藤 | 前期 |
| 助産診断・技術学Ⅰ(分担) | 松藤 | 前期 |
| 助産診断・技術学Ⅱ(分担) | 松藤 | 前期 |
| 助産診断・技術学Ⅲ(分担) | 松藤 | 前期 |
| 高次助産診断・技術学演習(分担) | 松藤 | 前期 |
| Women's Health(分担) | 松藤 | 前期 |
| 助産診断・技術学Ⅱ(分担) | 藤井 | 前期 |
| 助産診断・技術学Ⅲ(分担) | 藤井 | 前期 |
| 高次助産診断・技術学演習(分担) | 藤井 | 後期 |
| Women's Health (分担) | 藤井 | 前期 |

4. 大学院修士課程修了者

| | |
|--------|---|
| 蔵富 明日香 | 妊婦のボディイメージとメディアとの関連に関する研究 |
| 赤島 しおり | 妊娠中・後期における妊婦睡眠の主観的評価と客観的評価との関連 |
| 鶴田 華恋 | COVID-19 感染拡大下における保健所保健師のメンタルヘルスと影響要因の検討 |
| 古山 夏葵 | 周産期うつ病スクリーニングの実施状況と実施する看護職者の看護実践能力に関連する要因 |
| 田川 芽久 | 看護職によるケアと出産満足度との関連 |
| 福島 詩織 | 第2子出産後の経産婦からみた夫婦関係についての質的研究 |
| 宮崎 夏帆 | 肥満妊婦における体重自己管理の関連要因 |
| 小原 美幸 | 妊婦の体重増加の関連要因および体重増加が新生児に及ぼす影響 |

5. 大学院博士課程修了者

6. 学部講義

| | | |
|----------------|----|-----|
| 人体の構造と機能Ⅱ(分担) | 諸隈 | 前期 |
| 母性疾病論 | 諸隈 | 春学期 |
| 臨床医学論Ⅰ(分担) | 諸隈 | 後期 |
| 臨床病態学(分担) | 諸隈 | 後期 |
| 公衆衛生看護活動展開論Ⅰ | 鳩野 | 夏学期 |
| 公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担) | 鳩野 | 前期 |
| 保健医療福祉行政論Ⅱ(分担) | 鳩野 | 春学期 |
| 公衆衛生看護支援論Ⅲ(分担) | 鳩野 | 前期 |
| 疫学(分担) | 鳩野 | 秋学期 |
| 公衆衛生看護管理論(分担) | 鳩野 | 秋学期 |
| 公衆衛生看護学概論(分担) | 鳩野 | 後期 |
| 国際保健と医療(分担) | 鳩野 | 後期 |
| 在宅看護論各論(分担) | 鳩野 | 前期 |
| 公衆衛生看護管理 | 前野 | 秋学期 |
| 保健医療福祉行政論Ⅱ | 前野 | 前期 |
| 公衆衛生看護活動展開論Ⅱ | 前野 | 前期 |
| 公衆衛生看護活動展開論Ⅲ | 前野 | 前期 |
| 看護研究Ⅰ | 前野 | 春学期 |
| 看護研究Ⅲ | 前野 | 春学期 |
| 保健医療福祉行政論Ⅰ | 前野 | 春学期 |

| | | |
|--------------------|-------|-----|
| 公衆衛生看護支援論Ⅰ | 前野 | 春学期 |
| 公衆衛生看護支援論Ⅱ | 前野 | 春学期 |
| 小児看護学各論Ⅱ | 植木 | 前期 |
| 医療倫理・看護倫理(分担) | 植木 | 夏学期 |
| 小児看護学概論 | 植木 | 秋学期 |
| 終末期医療・ターミナルケア論(分担) | 植木 | 秋学期 |
| 小児看護学各論Ⅰ | 植木 | 冬学期 |
| 漢方医薬学 | 宮田 | 春学期 |
| 看護研究Ⅱ | 宮田 | 夏学期 |
| 小児疾病論 | 宮田 | 前期 |
| 人体の構造と機能Ⅱ(分担) | 宮田 | 前期 |
| 終末期医療・ターミナルケア論(分担) | 宮田 | 秋学期 |
| 臨床病態学(分担) | 宮田 | 後期 |
| 臨床医学論Ⅱ | 宮田 | 後期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 宮田 | 通年 |
| 在宅看護論概論 | 岩木 | 後期 |
| 終末期医療・ターミナルケア論(分担) | 岩木 | 後期 |
| 公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担) | 岩木 | 前期 |
| 看護研究Ⅱ(分担) | 末次 | 夏学期 |
| 母性看護学概論 | 末次 | 後期 |
| 母性看護学各論Ⅰ | 末次 | 後期 |
| 保健統計学 | 菊地 | 冬学期 |
| 看護研究Ⅱ(分担) | 菊地 | 夏学期 |
| 国際保健と医療(分担) | 菊池 | 後期 |
| 疫学(分担) | 木村 | 秋学期 |
| 小児看護学各論Ⅱ(分担) | 森口 | 前期 |
| 母性看護学各論Ⅱ(分担) | 藤井 | 前期 |
| 小児看護学概論(分担) | 藤田(紋) | 後期 |
| 小児看護学各論Ⅰ(分担) | 藤田(紋) | 後期 |
| 小児看護学各論Ⅱ(分担) | 藤田(紋) | 前期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 藤田(紋) | 通年 |
| 看護研究Ⅰ(分担) | 藤田(貴) | 春学期 |
| 公衆衛生看護学概論(分担) | 藤田(貴) | 後期 |
| 公衆衛生看護支援論Ⅰ(分担) | 藤田(貴) | 春学期 |
| 公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担) | 藤田(貴) | 前期 |
| 公衆衛生看護活動展開論Ⅱ(分担) | 藤田(貴) | 前期 |
| 公衆衛生看護活動展開論Ⅲ(分担) | 藤田(貴) | 前期 |
| 保健医療福祉行政論Ⅱ(分担) | 藤田(貴) | 前期 |

7. 学部の実験・実習・演習

| | | |
|----------------|----|----|
| 母性看護学実習(分担) | 諸隈 | 後期 |
| 公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担) | 鳩野 | 前期 |
| 公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担) | 鳩野 | 前期 |
| 総合実習(分担) | 鳩野 | 通年 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 鳩野 | 通年 |

| | | |
|----------------|-------|-----|
| 公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担) | 前野 | 前期 |
| 公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担) | 前野 | 前期 |
| 総合実習(分担) | 前野 | 前期 |
| 小児看護学実習Ⅰ(分担) | 植木 | 前期 |
| 小児看護学実習Ⅱ(分担) | 植木 | 後期 |
| 漢方診断学演習(分担) | 宮田 | 後期 |
| 小児看護学実習Ⅰ(分担) | 宮田 | 前期 |
| 小児看護学実習Ⅱ(分担) | 宮田 | 後期 |
| 在宅看護論実習(分担) | 岩木 | 後期 |
| 総合実習(在宅看護論) | 岩木 | 後期 |
| 母性看護学概論(分担) | 末次 | 後期 |
| 母性看護学各論Ⅰ(分担) | 末次 | 後期 |
| 母性看護学実習(分担) | 末次 | 後期 |
| 総合実習(分担) | 末次 | 前期 |
| 母性看護学実習(分担) | 佐藤 | 後期 |
| 母性看護学各論Ⅱ(分担) | 佐藤 | 春学期 |
| 総合実習(分担) | 佐藤 | 前期 |
| 在宅看護論各論(分担) | 木村 | 前期 |
| 総合実習(分担) | 木村 | 前期 |
| 在宅看護論実習(分担) | 木村 | 通年 |
| 公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担) | 木村 | 前期 |
| 母性看護学実習(分担) | 松藤 | 後期 |
| 母性看護学各論Ⅱ(分担) | 松藤 | 春学期 |
| 総合実習(分担) | 松藤 | 前期 |
| 小児看護学実習Ⅰ(分担) | 森口 | 前期 |
| 母性看護学実習(分担) | 藤井 | 後期 |
| 母性看護学各論Ⅱ(分担) | 藤井 | 前期 |
| 総合実習(分担) | 藤井 | 前期 |
| 小児看護学実習Ⅱ(分担) | 藤田(紋) | 後期 |
| 小児看護学実習Ⅰ(分担) | 藤田(紋) | 前期 |
| 看護研究Ⅲ(分担) | 藤田(紋) | 通年 |
| 総合実習(分担) | 藤田(貴) | 前期 |
| 在宅看護論実習(分担) | 藤田(貴) | 前期 |
| 公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担) | 藤田(貴) | 前期 |
| 公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担) | 藤田(貴) | 前期 |

8. 卒業論文作成者

| | |
|--------|--|
| 中間 朱里 | 高齢者の認知症予防に向けた非薬物的介入に関する文献研究 |
| 藪内 春菜 | 成人への生活習慣病の本指導に必要な保健師の支援技術と組織に必要とされる条件の検討 |
| 大塚 望海 | 母親の睡眠時間と睡眠満足度に関する文献検討 |
| 林田 彩希 | 若年者のコンタクトレンズの使用実態と保健指導の必要性についての文献検討 |
| 横山 由里香 | 乳がん患者の乳房再建術における認識とその要因に関する文献検討－乳房再建術の意思決定から再建後までの認識－ |
| 猪野 凌太 | 被災児の心のケアの現状に関する文献研究 |

| | |
|--------|---|
| 梶屋 瞳風 | 腹膜透析を行う患児の復学に向けての支援 |
| 竹内 美祝 | 低出生体重児の母親の授乳に関する心理的特徴 |
| 古野 真優子 | 出産から産後6か月までの母親の育児不安へ関連する要因 |
| 高田 乃愛 | 妊娠期・産褥期の女性の抑うつ傾向に影響する要因 |
| 山下 遥 | 不妊治療を経験した女性の妊娠期から育児期における心理的体験 |
| 橋本 奈津希 | 褥婦が出産の振り返りをすることによる効果についての文献研究 |
| 伊藤 七海 | バングラデシュ国シャリアトプール郡における母子継続ケアと関連要因 |
| 原田 明佳 | 性暴力防止教育の効果に関する文献研究 |
| 有菌 あみ | 不妊治療を受ける女性の不安及び影響要因に関する研究-文献研究- |
| 花田 杏奈 | 父親に対する育児プログラムの内容や実施方法と効果に関する文献研究 |
| 高田 和花 | 乳幼児をもつ母親に対する子育て支援プログラムの内容と効果についての文献検討 |
| 上崎 理渚 | 不妊治療を受ける女性の不安と抑うつ-治療方法による違い- |
| 御厨 理子 | 終末期の子どもと家族に対する意思決定支援 |
| 吉弘 麻帆 | 特別支援学校の多職種連携・協働を促進するための要因の検討-教員、養護教諭の認識から- |
| 古賀 由実 | NICU に入院した児とその家族への看護介入-Family-Centered Care (FCC)に焦点を当てて- |
| 齋藤 まりあ | 終末期にある子どもをもつ家族に対する看護支援 |
| 津田 瑞希 | 産後うつ病の要因と有効な介入方法 |
| 瀬戸 美成 | 災害時における難病患者の実態と行政保健師による地域支援の検討 |
| 峯藤 真衣 | 母親同士の交流に焦点を当てた産後うつの予防的支援に関する文献検討 |
| 羽賀 友佳 | 妊娠期に実施する産後うつ病予防のための介入研究に関する文献研究 |
| 手嶋 千珠 | 哺乳形態と愛着形成との関連に関する文献研究 |
| 東川 瞳 | 就労女性の月経前症候群の症状の実態と関連因子に関する文献検討 |
| 井上 花音 | 産後うつ病予防に対する効果的な医療介入 |
| 永田 花 | 終末期の病児を養育する親の思いに関する文献研究 |

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

| | | |
|---|-------------------------------------|----|
| 1 | 母体の生活習慣が妊娠合併症、胎児および生後発達に及ぼす影響に関する研究 | 諸隈 |
| 2 | 胎児行動学 | 諸隈 |
| 3 | 行政保健師のアドボカシー | 鳩野 |
| 4 | 小児の処置時の痛み軽減 | 植木 |
| 5 | 総排泄腔異常症患者と家族に対する継続的包括的ケアシステムの構築 | 宮田 |
| 6 | 発達障害児に対する漢方治療の有効性について | 宮田 |
| 7 | 難病医療に携わるコーディネーターの教育支援 | 岩木 |
| 8 | 訪問看護師の難病ケアコンピテンシー | 岩木 |
| 9 | 周産期のメンタルヘルスとボンディング障害 | 末次 |

| | | |
|----|---|-------|
| 10 | バングラデシュにおける母子の遠隔健診に関する研究 | 菊地 |
| 11 | カンボジアの子供の HIV と口腔衛生に関する研究 | 菊地 |
| 12 | バングラデシュ農村部の妊婦に対する遠隔健診 | 佐藤 |
| 13 | 妊娠糖尿病妊婦のセルフケアに対する自己効力感 | 佐藤 |
| 14 | 地域保健分野における子育てプログラム CARE の効果的な実践方法の検討ーランダム化比較試験ー | 木村 |
| 15 | 幼児の問題行動が減少することを目指した地域における子育てプログラムに関する研究 | 木村 |
| 16 | 育児支援に関する研究 | 木村 |
| 17 | 助産学周産期メンタルヘルス | 松藤 |
| 18 | 小児がんの在宅移行支援 | 森口 |
| 19 | 子育て支援 | 森口 |
| 20 | 外国人患者と関わる医療者の抱える困難感 | 藤井 |
| 21 | 子どもを亡くした家族のビリーブメントプログラム開発 | 藤田(紋) |
| 22 | パーキンソン病患者の医療・介護サービス利用が与える影響に関する定量的評価 | 藤田(貴) |
| 23 | レセプトデータを使用した健康指標への評価 | 藤田(貴) |
| 24 | 喫煙が健康に与える影響 | 藤田(貴) |

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

諸隈 誠一

- 「基盤研究(B)」 「育てにくさ」と胎児行動との関連に関する研究, 諸隈(代表)
- 「基盤研究(C)」 周産期の抑うつに影響を及ぼす要因: 夫婦のコミュニケーションスタイルとの関連, 諸隈(分担)
- 「基盤研究(C)」 生体リズムに着目した発達障害の解析ー胎児期から幼児期までの縦断研究ー, 諸隈(分担)
- 「基盤研究(B)」 成分や粒径別粒子状物質の妊娠への影響をバイオマーカーでとらえる環境影響評価研究, 諸隈(分担)

鳩野 洋子

- 「基盤研究(C)」 地域共生社会における発達障害児家族を支える地域高齢者による支援モデルの検討, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」 住民ボランティアの認知症予防と認知症理解を目的とした園芸活動プログラムの開発, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」 子育て世代のがんサバイバーのコミュニティ・エンパワメントモデル開発に関する研究, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」 精神障害者支援における市町村と基幹相談支援センターとの協働に関する研究, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」 5日間連続夜勤を開始する新規採用職員の疲労・ストレス・眠気に関する縦断研究, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」 組織変容を伴うプリセプター保健師教育支援プログラムの開発, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」 公衆衛生看護におけるアドボカシーおよび関連要因の明確化に関する研究, 鳩野(代表)

前野 有佳里

- 「基盤研究(C)」精神障害者支援における市町村保健師の基幹相談支援センターとの協働技術指標の開発, 前野(代表)

植木 慎悟

- 「基盤研究(C)」重症心身障害児のリロケーションを支援する在宅レスパイトプログラムの開発と検証, 植木(分担)
- 「若手研究」血友病患児に対する痛くない注射を目指した外皮微小電気刺激効果の検討, 植木(代表)

宮田 潤子

- 「基盤研究(C)」排泄障害をもつ女性患者の女性としての生き方を知る, 宮田(代表)
- 「基盤研究(C)」腸管神経節細胞僅少症への幹細胞移植における大建中湯を用いた治療戦略の開発, 宮田(分担)
- 「基盤研究(C)」総排泄腔遺残症患者の母子関係の特徴と家庭における性教育との関連, 宮田(分担)
- 「基盤研究(C)」女性医師のワークモチベーションを上昇させる動機づけモデルの樹立, 宮田(分担)

岩木 三保

- 「若手研究」難病療養者の在宅看護に必要なコンピテンシーモデルの作成, 岩木(代表)
- 「基盤研究(C)」地域包括ケアシステムにおける尿失禁看護の検討とクリティカルパスの開発, 岩木(分担)
- 「基盤研究(C)」透析患者の主体的自己管理行動を支援するヘルスコミュニケーションモデル開発, 岩木(分担)

末次 美子

- 「基盤研究(B)」妊娠各期の至適体重増加とそれに関連する健康行動・心理社会的要因, 末次(分担)
- 「基盤研究(C)」ボンディング障害の全容解明を目指した周産期総合的アプローチ, 末次(代表)

菊地 君与

- 「国際共同研究強化(B)」母子継続ケアのためのICTを活用した遠隔健診の展開について, 菊地(代表)
- 「基盤研究(C)」乳幼児栄養を改善するためのコミュニティー・ヘルス・ワーカーへのスーパービジョン, 菊地(分担)

佐藤 洋子

- 「若手研究」妊娠糖尿病発症および周産期合併症に関連する生活因子調査, 佐藤(代表)
- 「国際共同研究強化(B)」母子継続ケアのためのICTを活用した遠隔健診の展開について, 佐藤(分担)

木村 一絵

- 「基盤研究(C)」エビデンスに基づく家族関係再構築支援プログラムの確立, 木村(分担)
- 「基盤研究(C)」地域保健における子育てプログラム CARE の効果的な実践方法の検討, 木村(代表)

藤田 紋佳

- 「基盤研究(C)」子どもを亡くした家族のビリーブメントプログラム開発, 藤田(紋) (代表)
- 「基盤研究(C)」排泄障害をもつ女性患者の女性としての生き方を知る, 藤田(紋) (分担)

藤田 貴子

- 「若手研究」パーキンソン病患者の医療・介護サービス利用と予後に関する定量的評価, 藤田(代表)

3. 学内研究経費の受入れ

- 「国立大学改革強化推進補助金」アジア地域における周産期保健医療開発及びグローバル人材育成, 諸隈(代表)
- 「研究補助者雇用支援(短期・秋期)」ビリーブメントプログラムの開発, 藤田(紋) (代表)
- 「研究補助者雇用支援(短期・春期)」ビリーブメントプログラムの開発, 藤田(紋) (代表)
- 「研究補助者雇用支援(短期・春期)」育児・介護支援, 宮田(代表)
- 「国立大学改革強化推進補助金」アジア地域における周産期保健医療開発及びグローバル人材育成, 菊地(分担)

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「ICTによる母子保健に関する研究」ヘルスセンシング株式会社, 諸隈(代表)

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「理化学研究所」新生児・乳児におけるシート型生体センサーを用いた行動期評価に関する研究, 諸隈(代表)
- 「令和3年度厚生労働科学研究費補助金・健康安全・危機管理対策総合研究事業」保健師活動の展開推進・人材確保人材育成調査研究, 鳩野(分担)
- 「富山大学 アクティブラーニングによる症例検討モデル授業ガイド開発研究」宮田(分担)
- 「令和3年度厚生労働科学研究費補助金・難治性疾患政策研究事業」難治性小児消化器疾患の医療水準向上および移行期・成人期の QOL 向上に関する研究, 宮田(協力)
- 「旭硝子財団 バングラデシュにおける女性のための持続可能な遠隔健診システムの構築」菊地,

6. 受託研究員・研修員の受入れ

7. 研究成果の報告

- **学会誌・学術専門誌**
 - Kazushige Nakahara, Takehiro Michikawa, Seiichi Morokuma, Norio Hamada, Masanobu Ogawa, Kiyoko Kato, Masafumi Sanefuji, Eiji Shibata, Mayumi Tsuji, Masayuki Shimono, Toshihiro Kawamoto, Shouichi Ohga, Koichi Kusuhara: Association of maternal hemoglobin

levels during pregnancy with sleep and developmental problems in 1-year-old infants: A cohort study., *Health science reports*, 5, 2, e552 - , 2022 年 03 月.

- Naho Morisaki, Chie Nagata, Seiichi Morokuma, Kazushige Nakahara, Kiyoko Kato, Masafumi Sanefuji, Eiji Shibata, Mayumi Tsuji, Masayuki Shimono, Toshihiro Kawamoto, Shouichi Ohga, Koichi Kusuhara: Lack of catch-up in weight gain may intermediate between pregnancies with hyperemesis gravidarum and reduced fetal growth: the Japan Environment and Children's Study., *BMC pregnancy and childbirth*, 22, 1, 199 - 199, 2022 年 03 月.
- Takehiro Michikawa, Seiichi Morokuma, Yuki Takeda, Shin Yamazaki, Kazushige Nakahara, Akinori Takami, Ayako Yoshino, Seiji Sugata, Shinji Saito, Junya Hoshi, Kiyoko Kato, Hiroshi Nitta, Yuji Nishiwaki: Maternal exposure to fine particulate matter over the first trimester and umbilical cord insertion abnormalities., *International journal of epidemiology*, 51, 1, 191 - 201, 2022 年 02 月.
- Momoka Kuroda, Yoshiko Suetsugu, Sachiko Iwata, Masahiro Kinoshita, Fumie Fujita, Yoko Sato, Shinji Saitoh, Osuke Iwata, Seiichi Morokuma: Influence of mothers' nighttime responses on the sleep-wake rhythm of 1-month-old infants., *Scientific reports*, 11, 1, 24363 - 24363, 2021 年 12 月.
- Yuki Takeda, Takehiro Michikawa, Seiichi Morokuma, Shin Yamazaki, Kazushige Nakahara, Ayako Yoshino, Seiji Sugata, Akinori Takami, Shinji Saito, Junya Hoshi, Kiyoko Kato, Hiroshi Nitta, Yuji Nishiwaki: Trimester-Specific Association of Maternal Exposure to Fine Particulate Matter and its Components With Birth and Placental Weight in Japan., *Journal of occupational and environmental medicine*, 63, 9, 771 - 778, 2021 年 09 月.
- Naho Morisaki, Aurélie Piedvache, Seiichi Morokuma, Kazushige Nakahara, Masanobu Ogawa, Kiyoko Kato, Masafumi Sanefuji, Eiji Shibata, Mayumi Tsuji, Masayuki Shimono, Toshihiro Kawamoto, Shouichi Ohga, Koichi Kusuhara: Gestational weight gain growth charts adapted to Japanese pregnancies using a Bayesian approach in a longitudinal study: The Japan Environment and Children's Study., *Journal of epidemiology*, 2021 年 08 月.
- Naho Morisaki, Aurélie Piedvache, Chie Nagata, Takehiro Michikawa, Seiichi Morokuma, Kiyoko Kato, Masafumi Sanefuji, Eiji Shibata, Mayumi Tsuji, Masayuki Shimono, Shouichi Ohga, Koichi Kusuhara: Maternal blood count parameters of chronic inflammation by gestational age and their associations with risk of preterm delivery in the Japan Environment and Children's Study., *Scientific reports*, 11, 1, 15522 - 15522, 2021 年 07 月.
- Kazushige Nakahara, Takehiro Michikawa, Seiichi Morokuma, Masanobu Ogawa, Kiyoko Kato, Masafumi Sanefuji, Eiji Shibata, Mayumi Tsuji, Masayuki Shimono, Toshihiro Kawamoto, Shouichi Ohga, Koichi Kusuhara: Association of maternal sleep before and during pregnancy with sleep and developmental problems in 1-year-old infants., *Scientific reports*, 11, 1, 11834 - 11834, 2021 年 06 月.
- Kazushige Nakahara, Takehiro Michikawa, Seiichi Morokuma, Masanobu Ogawa, Kiyoko Kato, Masafumi Sanefuji, Eiji Shibata, Mayumi Tsuji, Masayuki Shimono, Toshihiro Kawamoto, Shouichi Ohga, Koichi Kusuhara: Influence of physical activity before and during pregnancy

- on infant's sleep and neurodevelopment at 1-year-old., *Scientific reports*, 11, 1, 8099 – 8099, 2021 年 04 月.
- Tsuyoshi Murata, Hyo Kyojuka, Toma Fukuda, Shun Yasuda, Akiko Yamaguchi, Seiichi Morokuma, Akiko Sato, Yuka Ogata, Kosei Shinoki, Mitsuaki Hosoya, Seiji Yasumura, Koichi Hashimoto, Hidekazu Nishigori, Keiya Fujimori: Maternal sleep duration and neonatal birth weight: the Japan Environment and Children's Study., *BMC pregnancy and childbirth*, 21, 1, 295 – 295, 2021 年 04 月.
 - Kazuko Kawaguchi, Yoko Hatono: Factors Influencing the Role Performance of Middle-aged Generalist Nurses, *Japanese Journal of Occupational Medicine and Traumatology*, 69, 274 – 284, 2021 年 11 月.
 - 上野友莉、鳩野洋子、寺岡佐和: 自宅退院後の認知症患者との生活を継続している高齢介護者の介護の受け止め, *インターナショナル Nursing Care Research*, 20, 4, 49 – 58, 2021 年 11 月.
 - 鳩野洋子、弓場英嗣、島田美喜、尾島俊之、増田和茂: 新型コロナウイルス感染症流行時に市町村保健センターが抱えた課題, *日本健康開発雑誌*, 42, 77 – 83, 2021 年 06 月.
 - Koto Y, Ueki S, Yamakawa M, Sakai N: Experiences of patients with lysosomal storage disorders who are receiving enzyme-replacement therapy and the experiences of their family members: a qualitative systematic review., *JBI Evidence Synthesis*, Online ahead of print, 2021 年 11 月.
 - Niinomi K, Ueki S, Fujita Y, Kitao M, Matsunaka E, Kumagai Y, Ike M: Difference in specific concerns perceived by parents of children with cleft lip and/or palate based on the types of cleft, *International Journal of Paediatric Dentistry*, 32, 3, 304 – 313, 2021 年 10 月.
 - Ueki S, Matsunaka E, Takao K, Kitao M, Fukui M, Fujita Y: The effectiveness of vibratory stimulation in reducing pain in children receiving vaccine injection: A randomized controlled trial., *Vaccine*, 39, 15, 2080 – 2087, 2021 年 04 月.
 - Ieiri S, Nakatsuji T, Higashi M, Akiyoshi J, Uemura M, Konishi K, Onimaru M, Ohuchida K, Hong J, Tomikawa M, Tanoue K, Hashizume M, Taguchi T: Effectiveness of basic endoscopic surgical skill training for pediatric surgeons, 2021 年 05 月.
 - 林下里見、濱田裕子、宮田潤子、藤田紋佳、森口晴美、伊崎智子、加藤聖子、田口智章: 総排泄腔遺残症患者の体験 継続的・包括的支援体制の構築に向けて, *木村看護教育振興財団看護研究集録*, 28;84-111, 2021.
 - 中村優花、菊地君与、佐藤洋子、末次美子、諸隈誠一: オンライン両親学級及び母親学級の受講満足度に関する調査研究, *周産期医学*, 52, 1, 119 – 123, 2022 年 01 月.
 - Islam R, Kikuchi K, Sato Y, Izukura R, Jahan N, Sultana N, Nessa M, Yokota F, Nishikitani M, Ahmed A, Nakashima N: Maternal and child healthcare service by portable health clinic system using a triage protocol, *Stud Health Technol Inform.* 284:130-134, 2021 年 12 月.
 - Shibanuma A, Ansah EK, Kikuchi K, Yeji F, Okawa S, Tawiah C, Nanishi K, Addei S, Williams J, Asante KP, Oduro A, Owusu-Agyei S, Gyapong M, Asare GQ, Yasuoka J, Hodgson A, Jimba M: Evaluation of a package of continuum of care interventions for

- improved maternal, newborn, and child health outcome and service coverage in Ghana: A cluster-randomized trial, *PLoS Medicine*, 18(6), 2021 年 06 月.
- Kikuchi K, Sato Y, Izukura R, Nishikitani M, Kato K, Morokuma S, Nessa M, Nohara Y, Yokota F, Ahmed A, Islam R, Nakashima N: Portable Health Clinic for sustainable care of mothers and newborns in rural Bangladesh, *Computer Methods and Programs in Biomedicine*, 106156, 2021 年 08 月.
 - Kikuchi K, Gyapong M, Shibanuma A, Evelyn A, Okawa S, Addei S, Nanishi K, Tawia C, Yasuoka J, Yeji F, Oduro A, Owusu-Agyei S, Quansah-Asare G, Hodgson A, Jimba M: EMBRACE intervention to improve the Continuum of Care in maternal and newborn health in Ghana: The RE-AIM framework based evaluation, *Journal of Global Health*, 11, , 08002 - , 2021 年 04 月.
 - 木村一絵、石垣和子、加茂登志子、福丸由佳、重松由佳子、賀村悦子、小柳愛子、内田絵利子: 2-6 歳の幼児の問題行動が減少することを希望した母親に対する地域保健における子育てプログラム Child-Adult Relationship Enhancement (CARE) の効果ーランダム化比較試験一, *石川看護雑誌*, 19, 65-76, 2022 年 03 月.
 - Fumie Ito, Miyuki Matano, Ikuko Kato, Yukifumi Monden, Yuki Sunohara, Masako Kawasaki, Hitoe Kimura, Shima Furuichi, Regina Bussing, Yuka Oe, Nobuaki Morita, Yoshiharu Kim, Elizabeth Brestan-Knight, Sheila Eyberg, Toshiko Kamo: Establishing norms on the Japanese version of the Eyberg Child Behavior Inventory, *Pediatrics International*, 2021 年 07 月.
 - Takako Fujita, Akira Babazono, Sung-A Kim, Aziz Jamal, Yunfei Li: Effects of physician visit frequency for Parkinson's disease treatment on mortality, hospitalization, and costs: a retrospective cohort study., *BMC geriatrics*, 21, 1, 707 - 707, 2021 年 12 月.
 - Kyohei Shiimoto, Akira Babazono, Yumi Harano, Takako Fujita, Peng Jiang, Sung-A Kim, Yasuharu Nakashima: Effect of body mass index on vertebral and hip fractures in older people and differences according to sex: a retrospective Japanese cohort study., *BMJ open*, 11, 11, e049157 - , 2021 年 11 月.
 - Takako Fujita, Akira Babazono, Peng Jiang, Aziz Jamal, Yunfei Li: Cost-effectiveness analysis of treatment with varenicline for nicotine dependence compared with smoking cessation without pharmacotherapy in the real world., *Pharmacoepidemiology and drug safety*, 2021 年 09 月.
 - Yunfei Li, Akira Babazono, Takashi Ohmori, Aziz Jamal, Shinichiro Yoshida, Sung-A Kim, Takako Fujita, Ning Liu: Health Inequality Among Older Adults with Percutaneous Coronary Intervention and Universal Health Coverage in Japan., *Population health management*, 2021 年 06 月.
 - Aziz Jamal, Akira Babazono, Yunfei Li, Shinichiro Yoshida, Takako Fujita, Sung-A Kim: Quantifying Regional and Health Care Variations to Identify Ways to Improve Hemodialysis Service Quality and Survival Outcomes., *American journal of medical quality : the official journal of the American College of Medical Quality*, 2021 年 05 月.

- Aziz Jamal, Akira Babazono, Yunfei Li, Takako Fujita, Shinichiro Yoshida, Sung A Kim : Elucidating variations in outcomes among older end-stage renal disease patients on hemodialysis in Fukuoka Prefecture, Japan, PLOS ONE, 16, 5, -, 2021年05月.
- **国際会議・国際学会などのプロシーディングス**
 - Yoko Hatono, Hiroko Suzuki, Taeko Shimazu.: Content validity testing of Advocacy activities for groups and communities conducted by public health nurses belonging to local governments in Japan, 6th Global Network of Public Health Nursing, 2022年01月, Japan.
 - Emiko Kusano Yoko Hatono, Kayoko Gouda, Kimiko Nakayama: Characteristics of the Factors Related to Child-rearing Support Behavior of Elderly People in the Community by Gender, 6th Global Network of Public Health Nursing, 2022年01月, Japan.
 - Kimiko Nakayama, Yoko Hatono, Kayoko Gouda, Emiko Kusano: A study on empowerment of mothers who are cancer survivors with infants after cancer diagnosis, 6th Global Network of Public Health Nursing, 2022年01月, Japan.
 - Karen Tsuruda, Yoko Hatono: State of Mental health of Public Health Nurses on Public Health Center under COVID-19 ' Pandemic in Japan, 6th Global Network of Public Health Nursing, 2022年01月, Japan.
 - Akemi Abe, Yoko Hatono, Sawa Teraoka: Development the scale of supporting residents organization activities forward to community building for public health nurses in Japan, 6th Global Network of Public Health Nursing, 2022年01月, Japan.
 - Islam R, Kikuchi K, Sato Y, Izukura R, Jahan N, Sultana N, Nessa M, Yokota F, Nishikitani M, Ahmed A, Nakashima N.: Maternal and child healthcare service by portable health clinic system using a triage protocol, Nursing Informatics, 2021年08月, Australia (オンライン).
 - Kikuchi K, Islam R, Sato Y, Nishikitani M, Izukura R, Jahan N, Yokota F, Ahmed A, Morokuma S, Nakashima N: Changes in women's health in the COVID-19 pandemic: Before and after lockdown period comparison among women's cohort in rural Bangladesh, American Public Health Association Annual Meeting, 2021年10月, USA(オンライン).
 - Kikuchi K: Maternal and Child Health Service during COVID-19 Pandemic in Bangladesh, Asia-Pacific Advanced Network 53, 2022年03月 Bangladesh(オンライン)
 - Sato Y, Suetsugu Y, Fukuda Y, Kawata K, Noguchi Y, Taniguchi H : Introduction of Simulation Learning for Midwifery Education in Kyushu University, 32nd ICM Virtual Triennial Congress, 2021年06月02日, 06月09日, 06月16日, 06月23日, 06月30日, Indonesia(オンライン)
 - Takako Fujita, Akira Babazono, Aziz Jamal, Yunfei Li: The difference between medical and long-term care use among patients with Parkinson's disease based on severity, East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) Conference 2021, 2021年04月, Philippines.
- **大学・研究機関などの刊行誌** なし
- **調査研究報告**

- 馬場園明、藤田貴子、李云飞、Aziz Jamal、吉田真一郎、金晟娥、山尾玲子、前野有佳里、石原礼子、劉寧：福岡県後期高齢者医療制度 医療費分析報告書—令和2年度実施報告書，福岡県後期高齢者医療広域連合，2021年04月。

○ 国内学会での講演，発表

- 鶴田華恋、鳩野洋子：COVID-19感染拡大下における保健所保健師のメンタルヘルスの実態—個人属性の観点から，第10回日本公衆衛生看護学会，2022年01月，大阪(オンライン)。
- 鳩野洋子、島田美喜、尾島俊之：新型コロナウイルス感染拡大に対応した市町村保健部署の活動実施体制，第10回日本公衆衛生看護学会，2022年01月，大阪(オンライン)。
- 島田美喜、鳩野洋子、弓場英嗣、尾島俊之、増田和茂：新型コロナウイルス感染拡大時の市町村保健センター事業の実施状況第2報，日本公衆衛生学会，2021年12月，東京(オンライン)。
- 鳩野洋子、島田美喜、弓場英嗣、尾島俊之、増田和茂：新型コロナウイルス感染拡大時の市町村保健センター事業の実施状況第1報，日本公衆衛生学会，2021年12月，東京(オンライン)。
- 鳩野洋子、吉岡京子、成木弘子：市町村統括保健師の役割遂行状況の影響要因の検討，第41回日本看護科学学会，2021年12月，名古屋(オンライン)。
- 鳩野洋子、吉岡京子、成木弘子：市町村統括保健師の役割遂行状況の実態，第24回日本地域看護学会学術集会，2021年06月，大阪(オンライン)。
- 草野恵美子、鳩野洋子、合田加代子、中山貴美子：シニア大学受講者における地域子育て支援の今後の参加意欲と関連要因の男女別特徴，第24回日本地域看護学会学術集会，2021年06月，大阪(オンライン)。
- 草野恵美子、鳩野洋子、合田加代子、中山貴美子、小倉加恵子：シニア大学受講生の障害児・家族に対する地域支援活動への関心とその関連要因，第68回小児保健協会学術集会，2021年06月，東京(オンライン)。
- 宮田潤子、濱田裕子、藤田紋佳、森口晴美、川田紀美子、小幡聡、桐野浩輔、林下里見、三原優希、植木慎悟、木下義晶、加藤聖子、田尻達郎、田口智章：Web会議システムの利用による総排泄腔遺残症/外反症におけるピアサポートの新たな可能性，第31回日本小児外科QOL研究会，2021年11月，川崎市(オンライン)。
- 宮田潤子、小幡聡、桐野浩輔、入江敬子、大森淳子、伊崎智子、木下義晶、松浦俊治、田口智章：患者の語りからみえた総排泄腔遺残症のトランジション医療問題と包括的支援策，第58回日本小児外科学会学術集会，2021年04月，横浜市(福岡市よりオンライン参加)。
- 福田篤久、小幡聡、吉丸耕一朗、川久保尚徳、武本淳吉、永田公二、宮田潤子、松浦俊治：中間位鎖肛に対するPSARPの術後排便機能に基づいた外肛門括約筋切開の是非，第58回日本小児外科学会学術集会，2021年04月，Web(神奈川)。
- 梶原啓資、吉丸耕一朗、宮田潤子、内田康幸、河野雄紀、鳥井ケ原幸博、白井 剛、松浦俊治、田尻達郎：生体肝移植術後難治性腹水に対して五苓散併用が有効であった1例，第25回日本小児外科漢方研究会，2021年10月，東京、(WEB開催)

- 野正 佳余、原田 幸子、関本 聖子、岩木 三保、中井 三智子、川田 明広、下畑 享良：難病医療に携わるコーディネーターの新たなネットワークの構築にむけて、日本難病医療ネットワーク学会 第9回学術集会，2021年11月，オンライン(長崎市)。
- 岩木 三保、木室 ゆかり、山口 みどり：コロナ禍の看護学生が、ALS療養者のZOOM講義で学んだこと，日本難病医療ネットワーク学会 第9回学術集会，2021年11月，オンライン(長崎市)。
- 山口 みどり、岩木 三保、木室 ゆかり：新型コロナウイルス感染症拡大による訪問看護ステーションの事業継続に関する研究，第11回 国際医療福祉大学学会学術大会，2021年11月，オンライン(東京)。
- 伊藤七海、菊地君与、諸隈誠一：母子継続ケアの関連要因についての文献研究，日本国際保健医療学会，2021年11月，東京(オンライン)。
- 菊地君与：シンポジウム ガーナ EMBRACE 実施研究：官民学協働による大規模母子保健研究，日本国際保健医療学会，2021年11月，東京(オンライン)。
- 菊地君与、錦谷まりこ、横田文彦、中島直樹：バングラデシュの女性における閉経後の健康問題について，日本公衆衛生学会，2021年12月，東京。
- 木村 一絵：国内外における CARE プログラムに関する介入研究の動向と地域保健分野における実践と効果，第2回 PCIT&CARE 九州地区合同研究会，2022年01月，オンライン。
- 木村一絵、福丸由佳、加茂登志子、笠原亜希子、賀村悦子、小柳愛子、内田絵利子、石垣和子：2-6歳の幼児の母親に対する CARE プログラム(6時間)の養育面に関する効果 ランダム化比較試験一，第11回 PCIT-Japan & CARE-Japan 合同研究会，2021年12月，オンライン。
- 野田 優子、濱田 裕子、古賀 友紀、藤田 紋佳、宮田 潤子、森口 晴美、大賀 正一：小児がん患児の付き添い家族への抗がん剤曝露の実態と関連要因の探索，第19回日本小児がん看護学会学術集会，2021年11月，オンライン。
- 森口晴美、濱田裕子、藤田紋佳：エンドオブライフ期にある小児がんの子どもに対する在宅医療の現状と課題；院内における教育・福祉の立場から，第19回日本小児がん看護学会学術集会，2021年11月，オンライン。
- 濱田裕子、藤田紋佳、森口晴美：エンドオブライフ期にある小児がんの子どもに対する在宅医療の現状と課題；小児がん専門医の立場から，第19回日本小児がん看護学会学術集会，2021年11月，オンライン。
- 藤田紋佳、濱田裕子、森口晴美：エンドオブライフ期にある小児がんの子どもに対する在宅医療の現状と課題；医療連携に携わる看護師の立場から，第19回日本小児がん看護学会学術集会，2021年11月，オンライン。
- 濱田裕子、藤田紋佳、森口晴美、野田優子、小山記代子：子どもを亡くした家族から学ぶグループサポート～遺族ケアの教育と実践をつなぐ～，日本家族看護学会第29回学術集会，2021年10月，オンライン。
- 三原優希、濱田裕子、宮田潤子、藤田紋佳、森口晴美：総排泄腔遺残症の子どもをもつ母親の体験，第68回 日本小児保健協会学術集会，2021年06月，オンライン。

○ 学会以外での講演, 発表

- 宮田潤子: 女性のヘルスケアと漢方～看護師のアンケート調査から見てきたこと～, 看護薬理学カンファレンス 2022 in 福岡, 2022 年 03 月, 福岡市.
- 宮田潤子: 発達障害によるこどもの心身不調に対する標治と本治を考える, 令和 3 年度第 2 回日本東洋医学会福岡・宮崎・大分・熊本 4 県合同県部会, 2021 年 10 月, Web(福岡市).
- 宮田潤子: 漢方医の立場で関わる子どもの全人的医療, 大分市小児科医会学術講演会, 2021 年 5 月 26 日、大分、WEB 開催
- 宮田潤子: 九州大学の漢方医学教育と小児漢方外来について, 第 1 回漢方医学オンラインセミナー, 2021 年 8 月 31 日、福岡、WEB 開催
- 宮田潤子: 看護師のセルフケアと漢方に関する意識調査, 実践漢方看護セミナー2021, 2021 年 11 月 27 日、福岡、WEB 開催

著作

1. 単行本

- 佐伯和子責任編集、鳩野洋子他: (共著) 公衆衛生看護学テキスト 2 公衆衛生看護の方法と技術, 2022 年 01 月, 医歯薬出版株式会社.
- Islam R, Ahmed A, Yokota F, Kikuchi K, Nishikitani M, Izukura R, Sato Y, Nohara Y, Nakashima N: (共著) Portable health clinic as a telemedicine system with appropriate technologies for unreached communities. In Maeder AJ, Higa C, van den Berg MEL, & Gough C (Eds.), Telehealth Innovations in Remote Healthcare Services Delivery - Global Telehealth 2020, 2021 年 04 月, IOS Press.
- Erica Pearl Messer, Robin H. Gurwitch, Barbara W. Boat, 他 7 名, 日本語版 CARE 翻訳 福丸由佳、阿久沢由美、安藤智子、伊東史エ、大原美知子、岡野典子、緒方広海、加藤郁子、加茂登志子、木村一絵、熊谷珠美、小平かやの、春原由紀、細金奈奈: (共著) Child-Adult Relationship Enhancement -子どもと大人の絆を深めるプログラム- CARE 思春期の子ども向け 配布資料 第 3 版改訂, 2022 年 01 月, CARE-Japan.
- Erica Pearl Messer, Robin H. Gurwitch, Barbara W. Boat, 他 7 名, 日本語版 CARE 翻訳 福丸由佳、阿久沢由美、安藤智子、伊東史エ、大原美知子、岡野典子、緒方広海、加藤郁子、加茂登志子、木村一絵、熊谷珠美、小平かやの、春原由紀、細金奈奈: (共著) Child-Adult Relationship Enhancement -子どもと大人の絆を深めるプログラム- CARE 配布資料 第 3 版改訂, 2022 年 01 月, CARE-Japan.
- Erica Pearl Messer, PsyD. Robin H. Gurwitch, PhD. Barbara W. Boat, PhD. 他 7 名, VirtualAdditions, John Paul Abner, PhD. Robin H. Gurwitch, PhD. Christina Warner-Metzger, PhD. 他 2 名, 日本語版 I-CARE 翻訳 福丸由佳、細金奈奈、木村一絵、国広志保: (共著) CHILD-ADULT RELATIONSHIP ENHANCEMENT CARE TM, CARE Facilitator Manual, 2021 年 11 月, The Mayerson Center for Safe and Healthy Children, International CARE Collaborative.
- 窪田恵子、森田敏子、濱寄真由美、穴井めぐみ、青山和子、原田美穂子、河原田康貴、古川薫、尹玉鐘、井出裕子、藤田紋佳、濱田裕子、姫野深雪、小田正枝、藤田稔子、三橋睦子、

洲崎好香、下舞紀美代、山本真弓、宮川操、海田真治子、中島洋子、梶原江美：（共著）アセスメント・看護計画がわかる 症状別 看護過程，2021年10月，照林社。

2. 総説

- 尾島俊之、鳩野洋子：コロナ禍から学ぶ市町村の保健活動，保健師ジャーナル，2021年10月。
- Ayaka Fujita: Mothers' burdens after living donor liver transplantation, Research Outreach, 2021年10月。

3. 解説，書評など

- 山川みやえ、土谷僚太郎、木村聡子、西村直子、植木慎悟：なぜシステムティックレビューが重要なのか，看護研究，2021年5月
- 植木慎悟：大学院でシステムティックレビューを学ぶ必要性，看護研究，2021年5月
- 植木慎悟、大西舞子：エビデンスを現場に伝えていくための「Recommended practice」，看護研究，2021年5月
- 山川みやえ、石丸美奈、西村直子、植木慎悟、増島麻里子、辻村真由子、木村聡子、土谷僚太郎、渡邊浩子、牧本清子：エビデンスを臨床現場で活用し浸透させるためのタスク・フォース，看護研究，2021年5月
- 山上優紀、植木慎悟、大村優華：実験研究を進めるプロセス，看護研究，2021年7月
- 植木慎悟：臨床での実験研究—臨床との関係性構築と研究手法の精錬、振動刺激による注射時の子どもの疼痛軽減を目指した研究—，看護研究，2021年7月
- 植木慎悟：投稿のための英文ジャーナルはこうやって探してみよう—研究成果を世界に広く発信するために—，看護研究，2021年7月
- 植木慎悟、山上優紀：なぜ英語で研究成果を発表する必要があるのか，看護研究，2021年11月

受賞

- 鳩野，「「COVID-19 感染拡大下における保健所保健師のメンタルヘルスの実態—個人属性の観点から」鶴田華恋(修士課程学生)・鳩野洋子が第10回日本公衆衛生看護学会学術集会最優秀演題賞に選定された」，第10回日本公衆衛生看護学会学術集会最優秀演題賞，日本公衆衛生看護学会，2022年01月。
- 藤田(紋)，「論文表彰論文タイトル「新生児医療施設で子どもを亡くした母親の悲嘆に関する体験」」，日本新生児看護学会 学術優秀賞，日本新生児看護学会，2022年02月。

報道

- 諸隈，NHK，「妊娠中の女性 理想的な体重の増え方は？」，2021年09月。
- 藤田(貴)，Yahoo!JAPAN ニュース記事，「「タバコをやめたい」あなたへ「どんな方法」が最も「費用対効果」が高いのだろうか <https://news.yahoo.co.jp/byline/ishidamasahiko/20210930-00260806>」，2021年09月。

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 諸隈, 新生児・乳児におけるシート型生体センサーを用いた行動期評価に関する研究, 理化学研究所, 2021年01月～2023年03月.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし

2. 外国人研究者の受入れ

- 訪問教授・研究員 なし
- 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 藤田(紋), 令和4年度カリキュラム改正 WG 委員.

2. 部局委員

- 宮田, 九州大学病院臨床教育研修センターきらめきプロジェクト副プログラム責任者.
- 菊地, 百人部会委員.

3. 部門・コース内委員

- 諸隈, 広域生涯看護学講座長.
- 諸隈, 広報委員会委員.
- 諸隈, クラス担任.
- 鳩野, 実習委員会委員.
- 鳩野, 施設環境委員会委員長.
- 鳩野, 年報作成委員会委員.
- 植木, 看護学分野国際 WG 委員.

- 植木, 実習委員会.
- 植木, FD 実行委員会.
- 植木, 地域・国際連携委員会.
- 宮田, 看護研究委員.
- 岩木, 地域・国際連携・FD 実行委員会 委員.
- 岩木, 実習委員会 委員.
- 末次, 看護学専攻卒業研究委員.
- 末次, 看護キャリアセンター会議委員.
- 末次, 実習委員会委員.
- 末次, クラス担任.
- 菊地, 地域・国際連携委員・FD 実行委員会委員.
- 佐藤, 実習委員会 委員.
- 佐藤, 看護教育研究推進 WG 委員.
- 佐藤, 福岡県看護協会 1 地区支部役員
- 佐藤, クラス担任.
- 木村, 支線 LAN・KITE 連絡員.
- 木村, 看護研究委員会委員.
- 松藤, 大学院院生係.
- 松藤, クラス担任.
- 藤井, 福岡県看護協会委員 補佐.
- 藤田(紋), 学生支援会運営委員.
- 藤田(紋), 看護キャリアセンター会議委員.
- 藤田(紋), 学生委員会.
- 藤田(貴), 実習委員会委員.
- 藤田(貴), クラス担任.
- 藤田(貴), 施設・環境委員会委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 諸隈, 同志社大学・赤ちゃん学研究センター, 非常勤講師.
- 宮田, 原看護専門学校, 非常勤講師.

2. 学協会

- 諸隈, 日本発達神経科学会, 理事, 国内.
- 諸隈, 日本赤ちゃん学会, 理事, 国内.
- 諸隈, 日本母性衛生学会, 代議員, 国内.
- 鳩野, 日本看護科学学会, その他(査読委員), 国内.
- 鳩野, 日本地域看護学会, その他(表彰論文選考委員会 委員), 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 理事, 国内.
- 植木, The Japan Centre for Evidence Based Practice(JCEBP), 幹事(監事), 国内.

- 植木, 口蓋裂学会, 国際・国際学会準備委員会, 国内.
- 植木, 日本看護科学学会, 査読委員, 国内.
- 植木, JBI Evidence Synthesis, 査読委員, 国際.
- 宮田, 日本小児外科学会, 評議員, 国内.
- 宮田, 日本小児外科学会, ガイドライン作成委員, 国内
- 宮田, 日本小児外科漢方研究会, 幹事, 国内.
- 宮田, 日本東洋医学会九州支部, 事務局長, 国内.
- 宮田, 看護学系漢方教育研究会, 幹事, 国内.
- 宮田, 看護学系漢方教育研究会, 教育資材作成 WG 委員, 国内
- 末次, 日本助産学会, その他(学術振興委員), 国内.
- 末次, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内.
- 木村, PCIT&CARE 九州地区研究会, 副会長(CARE 担当), 国内.
- 鳩野, 福岡医学雑誌, 編集委員, 国内.
- 鳩野, 日本地域看護学会, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本看護研究学会誌, 査読委員, 国内.
- 菊地, Frontiers in Public Health, Topic Editor, 国際.
- 菊地, BMC Medicine, 編集委員, 国際
- 菊地, PLOS ONE, Academic Editor, 国際
- 菊地, PLOS ONE Global Public Health, Academic Editor, 国際
- 菊地, PeerJ, 編集委員, 国際
- 菊地, 日本国際保健医療学会, 代議員, 国内
- 藤田(貴), 医療福祉経営マーケティング研究会, 編集委員, 国内.
- 岩木, 日本難病看護学会, 査読委員, 国内
- 岩木, 日本難病看護学会, 評議員, 国内
- 岩木, 日本難病看護学会, 「学会認定難病看護師」認定制度運営委員会 委員・実行委員会 委員, 国内
- 岩木, 日本神経学会, 筋萎縮性側索硬化症診療ガイドライン作成委員会独立パネル会議メンバー, 国内
- 岩木, 日本難病医療ネットワーク学会, 理事, 国内

3. 官界

- 鳩野, 「福岡市保健福祉審議会委員」, 福岡市.
- 鳩野, 「福岡県地域保健従事者人材育成推進委員会・委員長」, 福岡県.
- 鳩野, 「教育研修再構築プロジェクト委員会・委員長」, 福岡県看護協会.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 鳩野, 「九州大学病院看護教育推進ワーキング・委員」, 2021-01-01.
- 藤田(紋), 「九州大学病院 グリーフカード WG」, 2021-01-01.

5. 公開講座・公開講演会

- 諸隈, 「眠育アドバイザー養成講座」, 日本眠育推進協議会, オンライン開催, セミナー・研修会.
- 諸隈, 「第5回日本眠育推進協議会シンポジウム」, 日本眠育推進協議会, オンライン開催, 公開講座.
- 嶋野, 「福岡県地域保健従事者ブリセプター研修」, 福岡県, セミナー・研修会.
- 嶋野, 「中堅後期研修」, 福岡市, セミナー・研修会.
- 宮田, 「第2回総排泄腔疾患オンライン市民公開講座」開催, 九州大学大学院医学研究院小児外科学分野, 九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野, Web開催, 公開講座.
- 木村, 「養育者支援 公私(官民)連携のベストプラクティス 課題と今後 福岡県大野城市×CARE 子どもと大人の絆を深めるプログラム」, 国立研究開発法人 理化学研究所脳神経科学研究センター親和性社会行動研究チーム, オンライン, セミナー・研修会.
- 木村, 「令和3年度 臨床発達心理士会九州沖縄支部一秋期研修 CARE プログラムのスキルの紹介と実践方法」, 臨床発達心理士会 九州・沖縄支部, オンライン, セミナー・研修会.
- 木村, 「令和3年度新居浜市特別支援教育研修会 Child-Adult Relationship Enhancement 一子どもと大人の絆を深めるプログラム」, 新居浜市教育委員会事務局発達支援課, オンライン, セミナー・研修会.
- 木村, 「第1回 専門家向け I-CARE ワークショップ」, PCIT&CARE 九州地区研究会, オンライン, セミナー・研修会.
- 藤田(紋), 「総排泄腔関連疾患市民公開講座」, 九州大学小児外科・九州大学大学院医学研究員保健学部門看護学分野, 福岡・オンライン, 公開講座.
- 植木慎悟:ガイドラインとシステマティック・レビュー, 日本看護系学会協議会 zoom ワークショップ, オンライン研修会
- 菊地, 「九州大学アジアウィーク Challenges to Medicine and Health in Aging Asia: Initiatives Toward a Sustainable Society」, 福岡・オンライン, 講演会
- 菊地, 「ガーナの「母子保健の現場 X インパクト評価」-ガーナ EMBRACE 実施研究に学ぶ」, JICA 緒方研究所, オンライン, セミナー
- 菊地, 「ICT perspective in maternal and child health for ensuring fair distribution of healthcare service, SocialTech Summit 2021」, 福岡(オンライン)

6. 初等中等教育への貢献 なし

3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野

医用量子線科学分野

《基礎放射線科学》

| | |
|-----|-----------------|
| 教授 | 有村 秀孝 |
| 教授 | 藤淵 俊王 |
| 准教授 | 納富 昭弘 |
| 准教授 | 高橋 昭彦 |
| 講師 | 近藤 雅敏(令和4年2月入職) |
| 助教 | 河窪 正照 |

1. 教育活動

1. 大学院講義

| | | |
|--|----|-----|
| 医学物理情報理論 | 有村 | 前期 |
| 量子線理工科学 I | 有村 | 前期 |
| Information Theory for Medical Physics | 有村 | 前期 |
| Quantum Radiation Science and Technology I | 有村 | 前期 |
| 保健医療とデータ科学 | 有村 | 夏学期 |
| Data Sciences in Health and Medicine | 有村 | 夏学期 |
| 医療画像情報科学論 | 有村 | 春学期 |
| Medical Image and Information Sciences | 有村 | 春学期 |
| Quantum Radiation Science and Technology I | 藤淵 | 前期 |
| 量子線理工科学 I | 藤淵 | 前期 |
| リプロサイエンス I | 藤淵 | 前期 |
| Data Sciences in Health and Medicine | 藤淵 | 夏学期 |
| 保健医療とデータ科学 | 藤淵 | 夏学期 |
| 量子線理工科学 I | 納富 | 前期 |
| 基礎量子力学 (分担) | 納富 | 後期 |
| 医用線量計測学 (分担) | 納富 | 秋学期 |
| Fundamental Theory of Electromagnetic Wave | 高橋 | 前期 |
| 基礎電磁波論 | 高橋 | 前期 |
| Quantum Radiation Science and Technology I | 高橋 | 前期 |
| 量子線理工科学 I | 高橋 | 前期 |
| International Society and Multidisciplinary Care | 河窪 | 前期 |
| 国際社会とチーム医療 | 河窪 | 前期 |

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

| | | |
|-------------------|----|----|
| 国際プレゼンテーション(有村教授) | 有村 | 通年 |
| 保健学特別研究(有村教授) | 有村 | 通年 |
| 医用量子線科学特別研究(有村教授) | 有村 | 通年 |

| | | |
|--|----|-----|
| Thesis Research on Health Science in Asia (Professor Arimura) | 有村 | 通年 |
| Advanced International Presentation (Professor Arimura) | 有村 | 通年 |
| Ph.D Research in Health Science (Professor Arimura) | 有村 | 通年 |
| 量子線治療科学演習 | 有村 | 前期 |
| 医用量子線理工学演習 | 有村 | 前期 |
| 医用画像情報科学演習 | 有村 | 前期 |
| International Presentation (Professor Arimura) | 有村 | 前期 |
| Practice in Quantum Radiation Therapy | 有村 | 前期 |
| Practice in Quantum Radiation Technology | 有村 | 前期 |
| Practice in Medical Image and Information Sciences | 有村 | 前期 |
| 医用量子線科学特別研究(藤淵教授) | 藤淵 | 通年 |
| 保健学特別研究(藤淵教授) | 藤淵 | 通年 |
| 国際プレゼンテーション(藤淵教授) | 藤淵 | 通年 |
| Ph.D Research in Health Science (Professor Fujibuchi) | 藤淵 | 通年 |
| Advanced International Presentation (Professor Fujibuchi) | 藤淵 | 通年 |
| Thesis Research on Health Science in Asia(Professor Fujibuchi) | 藤淵 | 通年 |
| Practice in Quantum Radiation Technology | 藤淵 | 前期 |
| Practice in Quantum Radiation Therapy | 藤淵 | 前期 |
| International Presentation (Professor Fujibuchi) | 藤淵 | 前期 |
| 医用量子線理工学演習 | 藤淵 | 前期 |
| 量子線治療科学演習 | 藤淵 | 前期 |
| Quantum Radiation Science and Technology II | 藤淵 | 後期 |
| 量子線理工科学 II | 藤淵 | 後期 |
| 量子線治療科学演習 (分担) | 納富 | 前期 |
| 医用量子線理工学演習 (分担) | 納富 | 前期 |
| 基礎量子力学 (分担) | 納富 | 後期 |
| 医用線量計測学 (分担) | 納富 | 秋学期 |
| 医用量子線科学特別研究(納富准教授) (分担) | 納富 | 通年 |
| Practice in Quantum Radiation Technology | 高橋 | 前期 |
| 医用量子線理工学演習 | 高橋 | 前期 |
| Quantum Radiation Science and Technology II | 高橋 | 後期 |
| 量子線理工科学 II | 高橋 | 後期 |
| 医用量子線科学特別研究(高橋准教授) | 高橋 | 通年 |

4. 大学院修士課程修了者

| | |
|-----------------------------|--|
| 浦上 暉允 | ダイナミック造影画像の同時ヒストグラムを用いたマルチパラメトリック MR による前立腺癌の悪性度分類 Grading of prostate cancer using multi parametric magnetic resonance with dynamic contrast-enhanced image joint histograms |
| 森山和俊 | 機械学習を用いたヘッセ指数画像における脳転移腫瘍の原発巣予測 Prediction of primary cancer sites of brain metastases in Hessian index images using machine learning |
| Truong Gia Huy (Vietnam) | Tumor Growth Trajectory Estimation of Non-small Cell Lung Cancer Patients During Molecularly Targeted Therapy (分子標的治療における非小細胞肺癌患者の腫瘍成長経時変化の推定) |

| | |
|------|---|
| 西 和紀 | クロスリアリティによる散乱線分布可視化を用いた放射線防護教育方法の構築と評価 Development and evaluation of a radiation protection education method using X-reality to visualize scattered radiation distribution |
| 吉谷 悠 | シンチレータとデジタルカメラを用いた線量分布の可視化と線量推定法の検討 Visualization of dose distribution and examination of dose estimation method using scintillator and digital camera |
| 坂本直哉 | ヨウ素添加有機シンチレータの自己放射化を用いた中性子測定法のホウ素中性子捕捉療法(BNCT)への適用可能 Applicability of neutron measurement method based on the self-activation of iodine-added organic scintillators for boron neutron capture therapy (BNCT) |
| 前田英哉 | ヨウ素自己放射化法を用いた LINAC 場における光中性子測定への CaI ₂ 結晶の適用可能性 Applicability of CaI ₂ crystal for photo neutron measurement around linear accelerator (LINAC) field by the self-activation method |

5. 大学院博士課程修了者

| | |
|------|--|
| 二宮健太 | Homological radiomics analysis for prognostic prediction in lung cancer patients ホモロジカルレディオミクス解析を用いた非小細胞肺癌の予後推定法の開発 |
|------|--|

6. 学部講義

| | | |
|-----------------|----|-----|
| 放射線技術科学入門 I | 有村 | 前期 |
| 物理数学 I | 有村 | 前期 |
| 放射線物理学 | 有村 | 前期 |
| 放射線治療技術学 I | 有村 | 前期 |
| 放射線治療・核医学機器学 | 有村 | 前期 |
| 基礎医療統計 | 有村 | 夏学期 |
| X線CT画像技術学 | 有村 | 春学期 |
| 放射線技術科学入門 II | 有村 | 後期 |
| 医用画像情報学 | 有村 | 後期 |
| 放射線診断機器学 | 有村 | 後期 |
| コンピュータプログラミング入門 | 有村 | 秋学期 |
| 放射線治療技術学 I | 藤淵 | 前期 |
| 放射線技術科学入門 I | 藤淵 | 前期 |
| X線CT画像技術学 | 藤淵 | 春学期 |
| 基礎医療統計 | 藤淵 | 夏学期 |
| 臨床解剖薬理学 | 藤淵 | 冬学期 |
| 放射線技術科学入門 II | 藤淵 | 後期 |
| 放射線管理学 | 藤淵 | 後期 |
| 放射線治療・核医学機器学 | 納富 | 前期 |
| 放射線計測学 | 納富 | 前期 |
| 放射性同位元素検査学・実習 | 納富 | 前期 |
| 放射線技術科学入門 I | 納富 | 前期 |
| 放射線物理学 | 納富 | 前期 |
| 放射線医学技術学概論 | 納富 | 夏学期 |
| 原子核物理学 | 納富 | 後期 |
| 放射線技術科学入門 II | 納富 | 後期 |

| | | |
|-----------------|----|-----|
| 放射線治療計測学 | 納富 | 後期 |
| 電気電子工学入門 | 高橋 | 前期 |
| 放射線治療・核医学機器学 | 高橋 | 前期 |
| 放射線技術科学入門 I | 高橋 | 前期 |
| 物理数学 II | 高橋 | 春学期 |
| 医用光学 | 高橋 | 秋学期 |
| 医用電子工学 | 高橋 | 後期 |
| 放射線技術科学入門 II | 高橋 | 後期 |
| 放射線治療・核医学機器学 | 河窪 | 前期 |
| 放射線技術科学入門 I | 河窪 | 前期 |
| 基礎医療統計 | 河窪 | 夏学期 |
| 放射線技術科学入門 II | 河窪 | 後期 |
| 品質管理論 | 河窪 | 後期 |
| コンピュータプログラミング入門 | 河窪 | 秋学期 |
| 臨床解剖薬理学 | 河窪 | 冬学期 |

7. 学部の実験・実習・演習

| | | |
|------------|----|-----|
| 医用画像情報学実習 | 有村 | 夏学期 |
| 放射線機器学実験 | 有村 | 春学期 |
| 卒業研究 | 有村 | 通年 |
| 放射線管理学実験 | 藤淵 | 春学期 |
| 放射線治療技術学実習 | 藤淵 | 後期 |
| 放射線画像技術学実習 | 藤淵 | 後期 |
| 画像解剖学演習 | 藤淵 | 後期 |
| 放射化学実験 | 藤淵 | 冬学期 |
| 卒業研究 | 藤淵 | 通年 |
| 放射線計測学実験 | 納富 | 前期 |
| 臨地実習 | 納富 | 通年 |
| 卒業研究 | 納富 | 通年 |
| 放射線機器学実験 | 高橋 | 春学期 |
| 医用電気電子工学実験 | 高橋 | 後期 |
| 卒業研究 | 高橋 | 通年 |
| 画像解剖学演習 | 河窪 | 後期 |
| 放射線管理学実験 | 河窪 | 春学期 |
| 医用画像情報学実習 | 河窪 | 夏学期 |
| 卒業研究 | 河窪 | 通年 |

8. 卒業論文作成者

| | |
|-------|---|
| 古田凜太郎 | 数学的モデルを用いた EGFR-TKI 治療における肺癌の経時変化曲線の推定 |
| 藤井和希 | 病理組織画像における前立腺癌特徴量と細胞密度の関係 |
| 白坂大輔 | 小児グリオーマにおける BRAF 遺伝子変異の鑑別方法の開発 |
| 大野耶佳 | Mixed Reality 技術を用いた CT 検査室内の 3 次元散乱線分布の可視化 |
| 本井傳健太 | 深部カメラによるボディトラッキングを用いた術者の観察システムの作成 |
| 松元聖弥 | CT 画像を用いたモンテカルロ計算による線量計算精度の検証 |

| | |
|-------|---|
| 瀬尾友之 | チェレンコフ閾値以下での炭素線の水発光現象の線量率依存性 |
| 山根崇史 | ホウ素添加液体シンチレータファントムを用いた中性子捕獲反応の可視化の検討(2)シミュレーション計算 |
| 小嶋悠斗 | ホウ素添加液体シンチレータファントムを用いた中性子捕獲反応の可視化の検討(1)中性子照射実験 |
| 赤坂玲河 | Lu-177 SPECT 画像における散乱補正および 2 ピーク収集の影響 |
| 江口範士朗 | Th-227 SPECT 画像化のモンテカルロシミュレーション |
| 中村勇登 | 深層学習を用いた Ra-223 シンチグラフィの領域分割 |
| 森山大地 | 短軸シネ MR 画像の放射状長軸再構成を使用した深層学習ベースの全自動右心室容量計測 |
| 新里南々子 | 同一者の血流情報の深層学習に基づく半導体心筋 SPECT におけるポーラーマップの補正 |
| 脇 大登 | 胸部エックス線画像の深層学習による外科手術に伴う体内遺残ガーゼの検出 |

9. 研究生

| | | |
|----------------------|-----|-----|
| 金 焯 Jin Yu (中国) | 研究生 | 留学生 |
| 佟 弈志 Tong YiZhi (中国) | 研究生 | 留学生 |
| 武 錦岳 | 研究生 | 留学生 |

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

| | | |
|----|--|----|
| 1 | がん治療のレディオミクス(肺がん, 頭頸部癌, 前立腺がん) | 有村 |
| 2 | 多次元データ支援放射線治療法の開発(肺がん, 前立腺がん, 子宮頸がん) | 有村 |
| 3 | 類似症例に基づく放射線治療自動立案法の開発 | 有村 |
| 4 | 無症候性未破裂脳動脈瘤の検出支援システムの開発 | 有村 |
| 5 | 放射線治療のための類似症例自動検索方法の開発 | 有村 |
| 6 | 高精度放射線治療計画支援システムの開発 | 有村 |
| 7 | 多発性硬化症のためのコンピューター支援診断システムの開発 | 有村 |
| 8 | アルツハイマー病検出のためのコンピューター支援診断システムの開発 | 有村 |
| 9 | 医用放射線による患者およびスタッフの放射線防護、モニタリング、放射性廃棄物に関する研究放射線の可視化に関する研究 | 藤淵 |
| 10 | 硼素中性子捕捉療法(BNCT)の物理工学的研究 | 納富 |
| 11 | モンテカルロシミュレーションを用いた核医学画像評価に関する研究 | 高橋 |
| 12 | 医用画像解析 | 河窪 |

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「特別研究員奨励費」画像不変量を用いた EGFR 変異サブタイプ別 TKI 治療予後シミュレータの開発(日本学術振興会特別研究員 DC2 二宮 健太), 有村(代表), 千円.
- 「基盤研究(C)」遺伝子変異検出から予後予測へつなぐ画像生検の開発, 有村(代表), 千円.
- 「基盤研究(B)」放射線教育の STEAM 化による EBPM 支援プログラムの開発, 藤淵(分担), 千円.

- 「基盤研究(C)」XR 技術を活用した医療放射線技術教育教材の開発と実践, 藤淵(代表), 1700 千円.
- 「基盤研究(C)」ホウ素中性子捕捉療法における中性子測定に適した自己放射化有機シンチレータの開発, 納富(代表), 700 千円.
- 「若手研究」シネ MRI による体循環右室モデリング解析の CRT 効果予測における有用性の確立, 河窪(代表), 700 千円.

3. 学内研究経費の受入れ

- 「九州大学 ARO 次世代医療センター2020 年度シーズ A 橋渡し研究戦略的推進プログラム」CT 画像を用いた予後予測可能な EGFR 遺伝子変異陽性肺癌の自動検出法の開発, 有村(代表), 千円.
- 「国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED) 橋渡し研究戦略的推進プログラム(シーズ A 九州大学公募)」肺高血圧症の右心室モデリングに対する治療戦略決定のための全自動画像解析, 河窪, 2020 年 04 月～2022 年 03 月, 千円.

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「第 34 回令和 3 年度「人工知能研究助成」/「COVID-19 肺炎予後予測と重症化患者同定を可能にする画像生検 AI の開発」(公財) 中部科学技術センター, 有村, 500 千円.

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「株式会社 A-Line 線量管理システムの機能追加に関する研究」藤淵. 千円.
- 「国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED) 橋渡し研究戦略的推進プログラム(シーズ A 九州大学公募) 肺高血圧症の右心室モデリングに対する治療戦略決定のための全自動画像解析」河窪, 3700 千円.

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

- **学会誌・学術専門誌**
 - Kenta Ninomiya, Hidetaka Arimura, Tadamasa Yoshitake, Taka-aki Hirose, Yoshiyuki Shioyama: Synergistic combination of a topologically invariant imaging signature and a biomarker for the accurate prediction of symptomatic radiation pneumonitis before stereotactic ablative radiotherapy for lung cancer: A retrospective analysis, *PLOS ONE*, *January 31, 2022*, 2022 年 01 月.
 - Akimasa Urakami, Hidetaka Arimura, Yukihisa Takayama, Fumio Kinoshita, Kenta Ninomiya, Kenjiro Imada, Sumiko Watanabe, Akihiro Nishie, Yoshinao Oda, Kousei Ishigami: Stratification of prostate cancer patients into low- and high-grade groups using multiparametric magnetic resonance radiomics with dynamic contrast-enhanced image joint histograms, *The Prostate*, *08 December 2021*, 2021 年 12 月.

- Kazuki Nishi, Toshioh Fujibuchi, Takashi Yoshinaga: Development and evaluation of the effectiveness of educational material for radiological protection that uses augmented reality and virtual reality to visualize the behavior of scattered radiation, *Journal of Radiological Protection*, 42, 1, 2022 年 01 月.
- 清水翔太、荒川弘之、本田城二、徳森謙二、藤淵俊王: 医療施設におけるさまざまな X 線撮影室条件での散乱線分布可視化と表示ツール開発, *保健物理*, 56, 4, 315 – 323, 2021 年 12 月.
- Choirul Anam, Winda Kusuma Dewi, Masdi Masdi, Freddy Haryanto, Toshioh Fujibuchi, Geoff Dougherty: Investigation of Eye Lens Dose Estimate based on AAPM Report 293 in Head Computed Tomography, *Journal of Biomedical Physics and Engineering*, 2021 年 09 月.
- Toshioh Fujibuchi: Radiation protection education using virtual reality by visualization of scatter distribution in radiological examination, *Journal of Radiological Protection*, 41, 4, S317 – , 2021 年 07 月.
- Hiroshi Yoshitani, Toshioh Fujibuchi, Choirul Anam: Basic study on evaluation of X-ray dose distribution using plastic scintillator plate and digital CMOS camera, *Journal of Physics: Conference Series*, 1943 (2021) 012058, 2021 年 07 月.
- Kazuki Nishi, Toshioh Fujibuchi, Takashi Yoshinaga: Development of scattered radiation distribution visualization system using WebAR, *Journal of Physics: Conference Series*, 1943 (2021) 012057, 2021 年 07 月.
- Toshioh Fujibuchi: Investigation of a method for creating neonatal chest phantom using 3D printer, *Journal of Physics: Conference Series*, 1943 (2021) 012056, 2021 年 07 月.
- Yuta Miyahara, Kosuke Kaneko, Toshioh Fujibuchi, Yoshihiro Okada: Web-Based Collaborative VR Training System and Its Log Functionality for Radiation Therapy Device Operations, *CISIS 2021: Complex, Intelligent and Software Intensive Systems*, 734 – 746, 2021 年 06 月.
- Akihiro Nohtomi, Hideya Maeda, Naoya Sakamoto, Genichiro Wakabayashi, Takushi Takata, Yoshinori Sakurai: First optical observation of ^{10}B -neutron capture reactions using a boron-added liquid scintillator for quality assurance in boron neutron capture therapy, *Radiological Physics and Technology*, 2021 年 11 月.
- Akihiko Takahashi, Hibiki Ueno, Shingo Baba, Masayuki Sasaki: Estimation of the lower limits for feasible Ra-223 SPECT imaging: a Monte Carlo simulation study, *Asia Oceania Journal of Nuclear Medicine & Biology*, 2021 年 06 月.
- Yuya Sekikawa, Keita Funada, Go Akamatsu, Kazuhiko Himuro, Akihiko Takahashi, Shingo Baba, Masayuki Sasaki: Monte Carlo simulation of the acquisition conditions for ^{177}Lu molecular imaging of hepatic tumors, *Annals of Nuclear Medicine*, 35, 7, 823 – 833, 2021 年 06 月.
- Masateru Kawakubo, Michinobu Nagao, Risako Nakao, Eri Watanabe, Masami Yoneyama, Nobuhisa Hagiwara, and Shuji Sakai: Decelerated Dark Flow Measured Using Steady-State Free Precession Magnetic Resonance Imaging for Specific Detection of Left Ventricular

Myocardial Strain and Dyssynchrony in Dilated Cardiomyopathy, *Cardiovascular Imaging Asia*, 6, 1, 4 – 12, 2022 年 01 月.

- Hideo Arai, Masateru Kawakubo*, Kenichi Sanui, Ryoji Iwamoto, Hiroshi Nishimura, Toshiaki Kadokami. *Corresponding author: Assessment of Bi-Ventricular and Bi-Atrial Areas Using Four-Chamber Cine Cardiovascular Magnetic Resonance Imaging: Fully Automated Segmentation with a U-Net Convolutional Neural Network, *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 19, 3, 1401 – , 2022 年 01 月.
- Kawakubo M, Nagao M, Yamamoto A, Nakao R, Matsuo Y, Kaneko K, Watanabe E, Sakai A, Sasaki M, Sakai S: ¹³N-ammonia PET-derived right ventricular longitudinal strain and myocardial flow reserve in right coronary artery disease, *Eur J Nucl Med Mol Imaging. Epub ahead of print*, 2021 年 12 月.
- Kawakubo M, Nagao M, Kikuchi N, Yamamoto A, Nakao R, Matsuo Y, Kaneko K, Watanabe E, Sasaki M, Nunoda S, Sakai S: ¹³N-ammonia positron emission tomography-derived left-ventricular strain in patients after heart transplantation validated using cardiovascular magnetic resonance feature tracking as reference, *Ann Nucl Med. Epub ahead of print*, 36, 1, 70 – 81, 2022 年 01 月.
- Kawakubo M*, Yamasaki Y, Toyomura D, Yamamura K, Sakamoto I, Moriyama T, Yabuuchi H, Ishigami K, *Corresponding author: Unchanged right ventricular strain in repaired tetralogy of Fallot after pulmonary valve replacement with radial long-axis cine magnetic resonance images, *Scientific Reports*, 11, 1, – , 2021 年 09 月.
- Masateru Kawakubo, Michinobu Nagao, Atsushi Yamamoto, Risako Nakao, Yuka Matsuo, Kenji Fukushima, Eri Watanabe, Akiko Sakai, Masayuki Sasaki, and Shuji Sakai: ¹³N-ammonia positron emission tomography-derived endocardial strain for the assessment of ischemia using feature-tracking in high-resolution cine imaging, *Journal of Nuclear Cardiology. Epub ahead of print. Picked up in Editorial* (<https://link.springer.com/content/pdf/10.1007/s12350-021-02747-y.pdf>), 2021 年 06 月.
- Kanatani R, Shirasaka T, Kojima T, Kato T, Kawakubo M*. *Corresponding author: Influence of beam hardening in dual-energy CT imaging: phantom study for iodine mapping, virtual monoenergetic imaging, and virtual non-contrast imaging, *European Radiology Experimental*, 5, 18, – , 2021 年 04 月.

○ 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Hidetaka Arimura: Non-invasive imaging biopsy for characterizing diseases: (Invited Speech, November 04), 1st International Conference on Health Sciences and Biotechnology (ICHB), 2021 年 11 月, Indonesia.
- Hidetaka Arimura: Novel imaging biopsy models for characterizing tumors and its surrounding tissue: (Invited Speech, 21, October), 19th SEACOMP, 13th TMPS and the 14th ACOMP (Phuket, Thailand, Virtual congress), 2021 年 10 月, Thailand.
- Hidetaka Arimura: Optimization mathematics for medical physics: (Invited Speech, 22, October), 19th SEACOMP, 13th TMPS and the 14th ACOMP, 2021 年 10 月, Thailand.

- Takumi Kodama, Hidetaka Arimura: Radiomics analysis for prognostic prediction for time to progression in non-small cell lung cancer patients treated with stereotactic ablative radiotherapy (Sep.13), Symposium on Intelligent Data Science for Radiological Imaging between University of Malaya and Kyushu University, Virtual Meeting, 2021 年 09 月, Japan.
- Hidetaka Arimura: Radiomics-based imaging biopsy approaches for precision radiology (Sep.13), Symposium on Intelligent Data Science for Radiological Imaging between University of Malaya and Kyushu University, Virtual Meeting, 2021 年 09 月, Japan.
- Hidetaka Arimura: Radiomics and imaging biopsy approaches for precision medicine (Invited Speech at Symposium 3, Sep.10), The 9th Korea-Japan Joint Meeting on Medical Physics, KJMP2021, Virtual Meeting, 2021 年 09 月, Japan.
- Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, Yunhao Cui, Kenta Ninomiya, Tadamasu Yoshitake, Jun-ichi Fukunaga, Yoshiyuki Shioyama: Pretreatment Prediction of Radiation Pneumonitis Based on Deep Transfer Learning after Lung Cancer Stereotactic Body Radiation Therapy (Oral, Sep.9), The 9th Korea-Japan Joint Meeting on Medical Physics, KJMP2021, Virtual Meeting, 2021 年 09 月, Japan.
- Hidetaka Arimura: Radiomics and radiogenomics with AI for Oncology (Invited Speech, Sep.02), AFOMP Monthly Webinar Series, Asia Oceania Federation of Organizations for Medical Physics AFOMP 20th Anniversary, 2021 年 09 月, その他.
- Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura: Recurrence prediction for head and neck squamous cell cancer patients using local binary pattern-based dosiomics (Poster, July 25), 2021 AAPM Virtual Meeting, 2021 年 07 月, United States of America.
- Akimasa Urakami, Hidetaka Arimura, Yukihisa Takayama, Fumio Kinoshita, Kenta Ninomiya, Kenjiro Imada, Sumiko Watanabe, Akihiro Nishie, Yoshinao Oda, Kousei Ishigami: Automatic Stratification of Prostate Cancer Patients Into Low- and High-Grade Groups Using a Support Vector Machine Model with Multiparametric Magnetic Resonance Image Features (Poster, July 29), 2021 AAPM Virtual Meeting, 2021 年 07 月, United States of America.
- Mai Egashira, Hidetaka Arimura, Truong Huy, Shirakawa Yuko, Kenta Ninomiya, Yoshiyuki Shioyama, Tadamasu Yoshitake: Prediction of Therapeutic Outcomes of Patients with Non-Small Cell Lung Cancer for Stereotactic Ablative Radiotherapy Based On a Differential Model (Poster, July 26), 2021 AAPM Virtual Meeting, 2021 年 07 月, United States of America.
- Kenta Ninomiya, Hidetaka Arimura, Tadamasu Yoshitake, Takaaki Hirose, Yoshiyuki Shioyama: Computational Prediction of Symptomatic RP Based On Planning Computed Tomography Images Using Topologically Invariant Betti Numbers Prior to Stereotactic Body Radiation Therapy (Oral, July 28), 2021 AAPM Virtual Meeting, 2021 年 07 月, United States of America.
- Hidetaka Arimura: Radiomics and Radiogenomics for Precision Radiology: Underlying Information of Medical Images (Invited Speech, Medical physics session, July 3, 2021), 19th Asian Oceanian Society of Radiology (AOCR 2021) Malaysia, 2021 年 07 月, Malaysia.

- Nayuta Nagatomo, Genichiro Wakabayashi, Akihiro Nohtomi, Masakazu Horiuchi, Riku Matsumura: Measurement of Thermal Neutron Flux in Thermal Reactor by Using Activation of a CsI Scintillator, IEEE 2021 NSS/MIC/RTSD, 2021 年 10 月, Japan.
- **大学・研究機関などの刊行誌** なし
- **調査研究報告** なし
- **国内学会での講演, 発表**
 - 森山和俊、有村秀孝、小林和馬、Quoc Cuong-Le、浦上暉允、二宮健太、兒玉拓巳、岡本裕之、井垣浩: Light GBM を用いたヘッセ指数画像による脳転移腫瘍の原発巣推定, 医用画像情報学会令和 3 年度春季(第 192 回)大会, 2022 年 02 月, Web 開催.
 - 有村秀孝: 癌治療におけるレディオミクスと AI(特別講演), 第十七回前立腺癌密封小線源永久挿入治療研究会, 2022 年 01 月, 東京コンファレンスセンター・品川(ハイブリッド開催).
 - 古田凜太郎、有村秀孝、田中謙太郎、江頭 舞、Truong Gia Huy: 数学的モデルを用いた EGFR-TKI 治療における肺腫瘍細胞数の経時変化曲線の予測, 第 16 回九州放射線医療技術学術大会, 2021 年 12 月, 佐賀市.
 - 白坂大輔、有村秀孝、菊地一史、森山和俊、浦上暉允: 小児低悪性度グリオーマにおける BRAF 遺伝子変異の鑑別方法の開発, 第 16 回九州放射線医療技術学術大会, 2021 年 12 月, 佐賀市.
 - 藤井和希、有村秀孝、木下史生、浦上暉允、渡邊壽美子、高松 大、小田義直: 前立腺癌病理組織の画像特徴量と細胞密度との関係, 第 16 回九州放射線医療技術学術大会, 2021 年 12 月, 佐賀市.
 - Takumi Kodama, Hidetaka Arimura, Kenta Ninomiya, Yuko Shirakawa, Tadamasa Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama: Radiomics Prediction for Progression in NSCLC Patients Treated with Stereotactic Body Radiation Therapy, The 40th JAMIT Annual Hybrid Meeting, 2021 年 10 月, Hybrid Meeting.
 - Hidemi KAMEZAWA, Hidetaka ARIMURA, Ryuji YASUMATSU, Kenta NINOMIYA, Shu HASEAI: Preoperative and Non-Invasive Approach for Radiomic Biomarker-Based Prediction of Malignancy Grades in Patients with Parotid Gland Cancer in Magnetic Resonance Images, 医用画像情報学会令和 3 年度年次(第 190 回)大会, 2021 年 06 月, Web 開催.
 - 森山和俊、有村秀孝、小林和馬、Quoc Cuong Le、二宮健太、浦上暉允、岡本裕之、井垣浩: 脳 MR 画像解析に基づく転移性脳腫瘍の原発巣推定, 医用画像情報学会令和 3 年度年次(第 190 回)大会, 2021 年 06 月, Web 開催.
 - Hidetaka Arimura: COVID-19 診断における人工知能の応用 (Apr. 16), 合同シンポジウム 1 「新型コロナウイルス感染症の全貌に迫る」, 第 121 回日本医学物理学会学術大会, 2021 年 04 月, 横浜市.
 - Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, Yunhao Cui, Kenta Ninomiya, Tadamasa Yoshitake, Jun-ichi Fukunaga, Yoshiyuki Shioyama: Deep Learning-Based Prediction of Radiation

- Pneumonitis after Lung Cancer Stereotactic Body Radiation Therapy (Oral, Apr.17), 第 77 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2021 年 04 月, 横浜市
- Kenta Ninomiya, Hidetaka Arimura, Wai Yee Chan, Kentaro Tanaka, Shinichi Mizuno, Nadia Fareeda Muhammad Gowdh, Nur Adura Yaakup, Chong-Kin Liam, Chee-Shee Chai, Kwan Hoong Ng: Radiogenomic imaging biopsy for EGFR-Mutated patients with non-small cell lung cancer based on contrast CT images using invariant Betti numbers (Oral, Apr. 16), 第 121 回日本医学物理学会学術大会, 2021 年 04 月, 横浜市.
 - Mai Egashira, Hidetaka Arimura, Truong Gia Huy, Yuko Shirakawa, Kenta Ninomiya, Tadamasu Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama: Prediction of Therapeutic Outcomes for Patients with Non-small Cell Lung Cancer who Received Stereotactic Ablative Radiotherapy (Oral, Apr.17), 第 77 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2021 年 04 月, 横浜市.
 - Takumi Kodama, Hidetaka Arimura, Kenta Ninomiya, Yuko Shirakawa, Tadamasu Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama: Radiomics Prediction for Progression in NSCLC Patients Treated with Stereotactic Body Radio Therapy (Oral, Apr.17), 第 77 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2021 年 04 月, 横浜市.
 - Yuya Hirakawa, Hidetaka Arimura, Cui Yunhao: High Resolution Reconstruction of Low-Frequency MR Images Using Convolutional Neural Network (Oral, Apr.17), 第 77 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2021 年 04 月, 横浜市.
 - Truong Gia Huy, Hidetaka Arimura, Kentaro Tanaka, Kenta Ninomiya: Estimation of tumor growth trajectories during TKI targeted therapy based on Gompertz model (Oral, Apr. 17), 第 121 回日本医学物理学会学術大会, 2021 年 04 月, 横浜市.
 - 大野耶佳、藤淵俊王: Mixed Reality 技術を用いた CT 検査室内の 3 次元散乱線分布の可視化, 第 16 回九州放射線医療技術学術大会, 2021 年 12 月, 佐賀市.
 - 本井傳健太、藤淵俊王: 深部カメラによるボディトラッキングを用いた術者の観察システムの作成, 第 16 回九州放射線医療技術学術大会, 2021 年 12 月, 佐賀市.
 - 吉久亜希、高橋昭彦、志茂佑華、氷室和彦、馬場眞吾、佐々木雅之: α 線放出核種 Th-227 の画像化のモンテカルロシミュレーション, 第 77 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2021 年 04 月, 横浜市.
 - 納富昭弘、前田英哉、坂本直哉、若林源一郎、高田卓志、櫻井良憲: BNCT の QA の為のホウ素添加液体シンチレータを用いたホウ素捕獲反応分布の光学的観測, 第 36 回 研究会「放射線検出器とその応用」, 2022 年 01 月, オンライン発表.
 - 納富昭弘、坂本直哉、前田英哉、若林源一郎: ホウ素の中性子捕獲反応に伴う水発光分布の可視化の実現可能性に関する基礎的検討, 第 17 回日本中性子捕捉療法学術大会, 2021 年 07 月, 熱海.
 - Naoya Sakamoto, Akihiro Nohtomi, Yui Kanzaki, Hideya Maeda, Genichiro Wakabayashi: An evaluation of quenching effects and an analysis of a long half-life component for neutron measurement with iodine-added liquid scintillator, 第 121 回日本医学物理学会学術大会, 2021 年 04 月, 横浜市.
 - Hideya Maeda, Akihiro Nohtomi, Shunsuke Kurosawa, Shohei Kodama, Genichiro Wakabayashi, Miyu Shimazu: The activation properties of CaI_2 crystal on neutron detection

by the self-activation method with an iodine-containing scintillator, 第 121 回日本医学物理学会学術大会, 2021 年 04 月, 横浜市.

- 堀内雅一、若林源一郎、納富昭弘、長友那豊、松村 陸: CsI シンチレータの自己放射化法における自己遮蔽因子の評価, 第 69 回応用物理学会春季学術講演会, 2022 年 03 月, Japan.
- 松村 陸、若林源一郎、納富昭弘、長友那豊、堀内雅一: CsI シンチレータの自己放射化法における内部転換電子の計数の評価, 第 69 回応用物理学会春季学術講演会, 2022 年 03 月, Japan.
- 小嶋悠斗、納富昭弘、坂本直哉、前田英哉、若林源一郎: ホウ酸水ファントムを用いた中性子捕獲反応の可視化の検討 (1) 中性子照射実験, 第 16 回 九州放射線医療技術学術大会, 2021 年 12 月, 佐賀市.
- 山根崇史、納富昭弘、前田英哉、若林源一郎: ホウ酸水ファントムを用いた中性子捕獲反応の可視化の検討 (2) シミュレーション計算, 第 16 回 九州放射線医療技術学術大会, 2021 年 12 月, 佐賀市.
- 瀬尾友之、納富昭弘、長友勇樹、綱島義一、日向 猛、佐藤弘史、塩山善之: チェレンコフ光の閾値以下での炭素線の水発光現象の線量率依存性, 第 16 回 九州放射線医療技術学術大会, 2021 年 12 月, 佐賀市.
- 河窪正照、山崎誘三、阿部弘太郎、細川和也、長尾充展、新井英雄、門上俊明: 心臓 MRI を用いた肺高血圧症における右室リモデリング評価, 第 86 回日本循環器学会学術集会, 2022 年 03 月, Web 開催.
- 新井英雄、河窪正照、讃井憲一、西村 浩、門上俊明: 磁気共鳴画像の四腔像の深層学習を用いた領域抽出による左右の心室および心房の全自動面積評価(最優秀賞), 第 86 回日本循環器学会学術集会, 2022 年 03 月, Web 開催.
- Yamamoto A, Nagao M, Kawakubo M, Ando K, Nakao R, Sakai A, Momose M, Fukushima K, Sakai S, Hagiwara N: Myocardial Energy Estimated by Ammonia PET: New Strategy for Coronary Artery Disease, 第 86 回日本循環器学会学術集会, 2022 年 03 月, Web 開催.
- 河窪正照、脇 大登、白坂 崇、小島 幸、三賀山諒司、濱崎洋志、赤嶺寛地、加藤豊幸: 胸部エックス線画像のディープラーニングによる外科手術に伴う体内異物遺残検出システムの開発, 第 16 回 九州放射線医療技術学術大会, 2021 年 12 月, 佐賀市.
- 豊村大亮、長友雄作、河窪正照、山崎誘三、福岡将治、鶴池 清、平田悠一郎、山村健一郎、坂本一郎、石神康生、大賀正一: Cardiac Magnetic Resonance Feature Tracking によるファロー四徴症術後の右房機能評価, 第 57 回小児循環器学会総会・学術集会, 2021 年 07 月, 奈良市.
- 河窪正照、長尾充展、山本篤志、中尾梨沙子、松尾有香、福島賢慈、渡邊絵里、坂井晶子、佐々木雅之、坂井修二: 高解像 ^{13}N -アンモニア PET 画像の feature-tracking による右心室ストレインと心筋虚血との関連, 第 31 回日本心臓核医学会総会・学術大会, 2021 年 06 月, Web 開催.
- 長尾充展、河窪正照、他: アンモニア PET 心筋ストレインによる冠動脈疾患の壁運動評価, 第 31 回日本心臓核医学会総会・学術大会, 2021 年 06 月, Web 開催.
- Yurie Shiraia, Masateru Kawakubo, Michinobu Nagao, Atsushi Yamamota, Yuka Matsuo, Misturu Momose, Risako Nakao, Kenji Fukushima, Masayuki Sasaki, and Shuji Sakai: ^{13}N -

ammonia PET-derived myocardial strain: first challenge for patients with coronary artery disease (CyPos 賞 Bronze Medal), 第 80 回日本医学放射線学会, 2021 年 04 月, 横浜市.

- 学会以外での講演, 発表 なし

著作

1. 単行本

- 有村秀孝(編集, 分担執筆)、角谷 倫之(編集): レディオミクス入門, 2021 年 10 月, オーム社.
- 藤淵俊王(共著): 診療画像技術学Ⅱa X 線撮影技術学 第 2 版, 2022 年 03 月, 医療科学社.
- 藤淵俊王(共著): 核医学検査技術学 改訂 4 版, 2021 年 11 月, 南山堂.

2. 総説

- 有村秀孝、兒玉拓巳、浦上暉允、亀澤秀美、廣瀬貴章、二宮健太: 高精度がん治療支援のための画像生検—レディオミクスで抽出できる情報—, 日本放射線技術学会雑誌 2022 年 78 巻 2 号 p. 219-224, 2022 年 02 月.
- 有村秀孝、二宮健太、CUI YunHao、廣瀬貴章: AI 時代の放射線医学 6 放射線治療における precision medicine を目指した AI 技術, 月刊 Precision Medicine (プレジジョンメディシン) 巻 5 号 1, 31-34, 2022 年 01 月.
- 廣瀬貴章、有村秀孝、二宮健太、吉武忠正、福永淳一、塩山善之: 肺癌定位放射線治療における治療計画 CT 画像を用いたレディオミクス解析による放射線肺臓炎予測, 医用画像情報学会, Vo.38, No.2, 2021 年 07 月.

3. 解説, 書評など

- 有村秀孝、岩崎貴大: COVID-19 画像診断における AI 応用の最先端, 「医学物理」41-3 号 p. 82-86(招待解説), 2021 年 11 月.
- 藤淵俊王: 医療における放射線についての近年の法改正の概要, Rad Fan 19(10):48-52, 2021 年 10 月.
- 藤淵俊王、松原孝祐、浜田信行: NCRP Statement No. 13「腹部・骨盤部単純 X 線撮影時の慣例的な生殖腺遮蔽の廃止に向けた NCRP 勧告」とその付属文書: 経緯と最近の関連動向, 保健物理 56(3): 107-115, 2021 年 10 月.
- 藤淵俊王: 医療機関における不均等被ばくの実態調査について, FBNews No.535: 6-10, 2021 年 07 月.
- Toshioh Fujibuchi, Haruyuki Ogino, Han Ki Taek, Kotaro Tani, Daniel Emes: JHPS-KARP-ARPS joint program for commemoration of 2021 Bo Lindell Medal to discuss the future of radiation protection among young scientists and the award recipient, Dr. Ogino, Journal of Radiation Protection and Research 46(2):80-82, 2021 年 07 月.

- 浜田信行、藤淵俊王、石川純也、伊藤照生、恵谷玲央、小野孝二、西山祐一、松原孝祐：NCRP Statement No. 13「腹部・骨盤部単純 X 線撮影時の慣例的な生殖腺遮蔽の廃止に向けた NCRP 勧告」とその付属文書，保健物理 56(2)，80-93，2021 年 06 月。
- 河窪正照：第 10 回学会賞技術部門賞を受賞して，日本心臓核医学会誌 Vol.24-1，2022 年 03 月。
- Arai H, Kawakubo M, Kadokami T: Editorial for: "Right/Left Ventricular Blood Pool T2 Ratio as an Innovative Cardiac MRI Screening Tool for the Identification of Left-to-Right Shunts in Patients with Right Ventricular Disease", J Magn Reson Imaging, 2021 年 08 月。

受賞

- 有村，「"体幹部定位放射線治療を受けた非小細胞肺癌患者における癌の進行予測のためのレイディオミクス解析"」，第 40 回日本医用画像工学会大会奨励賞（兒玉拓巳、有村秀孝他），第 40 回日本医用画像工学会大会，オンライン開催，2021/10/13，2021 年 10 月。
- 有村，「Pretreatment Prediction of Radiation Pneumonitis Based on Deep Transfer Learning after Lung Cancer Stereotactic Body Radiation Therapy」，Young Investigator Award (Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, et al.)，2021 年 09 月。
- 有村，「"Preoperative and Non-Invasive Approach for Radiomic Biomarker-Based Prediction of Malignancy Grades in Patients with Parotid Gland Cancer in Magnetic Resonance Images"」，医用画像情報学会令和 2 年度内田論文賞（亀澤秀美、有村秀孝他），医用画像情報学会(オンライン広島)，20210605，2021 年 06 月。
- 有村，「Radiogenomic imaging biopsy for EGFR-Mutated patients with non-small cell lung cancer based on contrast CT images using invariant Betti numbers」，President's Award Gold (Kenta Ninomiya, Hidetaka Arimura, et al.)，The 121st Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (JSMP, Yokohama)，2021 年 04 月。
- 有村，「Deep Learning-Based Prediction of Radiation Pneumonitis after Lung Cancer Stereotactic Body Radiation Therapy」，Bronze Award (Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, et al.)，The 77th Annual Meeting of the Japanese Society of Radiological Technology (JSRT, Yokohama)，2021 年 04 月。
- 河窪，「高解像 13N-アンモニア PET 画像の feature-tracking による右心室ストレインと心筋虚血との関連」，第 10 回学会賞技術部門，日本心臓核医学会，2021 年 06 月。

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 藤淵，線量管理システムの機能追加に関する研究，株式会社 A-Line，2021 年 04 月～2022 年 03 月。

2. 受託研究

- 河窪, 同一者の血流情報に基づく心筋の虚血診断補助システム, 戦略的創造研究推進事業(文部科学省) ACT-X, 代表, 2021年10月~2024年03月.

3. 取得特許 なし

4. 兼業 ※※システムに対応項目なし※※

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし

2. 外国人研究者の受入れ

- 訪問教授・研究員 なし
- 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ

| | | |
|-------------------------------|------|-----|
| Cui Yunhao (From China) | 修士課程 | |
| Truong Gia Huy (from Vietnam) | 修士課程 | |
| Ceyda Cumur | 修士課程 | |
| Danc Quac Soai | 博士課程 | |
| 金煜 Jin Yu (中国) | 研究生 | 留学生 |
| 佟 弈志 Tong YiZhi (中国) | 研究生 | 留学生 |
| 武 錦岳 | 研究生 | 留学生 |

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 有村, マス・フォア・イノベーション卓越大学院プログラム実施委員.
- 有村, 九州がんプロ養成基盤推進プラン医学物理士養成コース担当者.
- 藤淵, 放射線障害防止委員会委員.

2. 部局委員 なし

3. 部門・コース内委員

- 有村, 医用量子線科学分野 分野長.
- 有村, 大学院委員委員会 委員.
- 有村, 財務委員委員会 委員.
- 藤淵, 教務委員会 副委員長.

- 藤淵, 人事委員会 委員.
- 藤淵, 教育活動評価委員会 委員.
- 藤淵, 学生委員会 委員.
- 高橋, 広報委員会 委員
- 納富, 施設・環境委員会 委員.
- 納富, KITE 連絡員・支援 LAN 管理者 委員.
- 納富, 放射線安全委員会.
- 河窪, 地域・国際連携推進委員会 委員.
- 河窪, FD 実行委員会 委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 有村, 群馬大学大学院・医学研究科生命医科学専攻, 非常勤講師.
- 納富, 福岡大学・医学部, 客員教員.
- 納富, 近畿大学 原子力研究所 客員准教授, 客員教員.
- 納富, 福岡市医師会看護学校, 客員教員.

2. 学協会

- 有村, 医用画像情報学会(MII), 理事, 国内.
- 有村, 医用画像情報学会(MII), 編集委員長, 国内.
- 藤淵, 日本保健物理学会, 生殖腺防護に関する NCRP 声明 翻訳ワーキンググループ 幹事, 国内.
- 藤淵, 日本保健物理学会, コミュニケーション委員会 委員長, 国内.
- 藤淵, 日本保健物理学会, 被ばく医療診療手引き編集委員会, 国内.
- 藤淵, 日本アイントープ協会, 医療従事者向け教育訓練検討 WG, 国内.
- 藤淵, 日本保健物理学会, 連携協力 WG, 国際.
- 藤淵, 日本放射線技術学会, 代議員, 国内.
- 藤淵, 日本放射線技術学会, 第 49 回秋季学術大会実行委員会 委員, 国内.
- 藤淵, 日本放射線技術学会, 学術委員会 AI 技術活用班 班員, 国内.
- 藤淵, 日本放射線技術学会, 英語論文誌 編集委員, 国内.
- 藤淵, 日本保健物理学会, Journal of Radiation Protection and Research 誌 編集委員, 国際.
- 藤淵, 放射線安全フォーラム, 理事, 国内.
- 藤淵, 日本保健物理学会, 理事, 国内.
- 納富, 日本医学物理学会, 理事, 国内.
- 納富, BNCT 推進協議会, 人材育成 WG, 国内.
- 納富, 日本中性子捕捉療法学会, BNCT 人材育成委員会委員, 国内.
- 納富, Journal of Nuclear Science and Technology, 査読委員, 国内.
- 納富, 日本放射線技術学会誌, 査読委員, 国内.
- 納富, Journal of Radiation Research, 査読委員, 国際.
- 納富, Radiological Physics and Technology, 編集委員長, 国際.

3. 官界

- 藤淵, 「国際放射線防護委員会」.
- 藤淵, 「電離放射線障害防止に関する参考資料「医療分野における職業被ばくと放射線防護」のHP掲載」, 厚生労働省.
- 藤淵, 「被ばく医療診療手引き編集委員会委員」, 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 有村, <令和3年度第1回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン先端医用量子線技術科学コース講演会>2021年11月27日(土)13:00~17:00, オンライン講演会 講演1 早稲田大学・医療レギュラトリーサイエンス研究所 松浦由佳先生「がん診療におけるレギュラトリーサイエンス」, 講演2 滋賀大学・データサイエンス学部 村松千左子先生「データサイエンスとAIによるがんの画像診断の発展」, 講演3 QST 放医研 深堀麻衣先生「重粒子線がん治療における生物学的線量評価と国内外での医学物理士としての活動」. 九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定. 参加者 158名.
- 有村, <令和3年度第2回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン先端医用量子線技術科学コース講演会>2022年2月19日(土)13:00~17:00, オンライン講演会 講演1 広島大学病院 診療支援部 西丸英治先生「CTの最新技術はがん診療を変えられるか?」, 講演2 大阪大学医学部附属病院 橋渡貴司先生「Radiomicsを活用したMR画像診断と予測分析」, 講演3 帝京大学 福岡医療技術学部 亀澤秀美先生「Radiomicsに基づく放射線治療支援」. 九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定. 参加者 167名.

5. 公開講座・公開講演会

- 藤淵, 「放射線の歴史と被ばくに対する考え方」, 日本放射線技術学会 2021年度 市民公開講座 医療における放射線の利用, 熊本城ホール, 熊本市, 公開講座.

6. 初等中等教育への貢献 なし

医用量子線科学分野

《医用放射線科学》

| | |
|-----|--------|
| 教授 | 佐々木 雅之 |
| 教授 | 杜下 淳次 |
| 教授 | 藪内 英剛 |
| 准教授 | 井手口 忠光 |
| 准教授 | 佐々木 智成 |
| 助教 | 田中 延和 |

1. 教育活動

1. 大学院講義

| | | |
|--|--------|-----|
| Health Science | 佐々木(雅) | 前期 |
| Clinical Quantum Science I | 佐々木(雅) | 前期 |
| 臨床量子線科学 I | 佐々木(雅) | 前期 |
| ヘルスサイエンス論 | 佐々木(雅) | 前期 |
| Clinical Quantum Science II | 佐々木(雅) | 後期 |
| Molecular & Functional Imaging Technology | 佐々木(雅) | 後期 |
| 臨床量子線科学 II | 佐々木(雅) | 後期 |
| 分子機能画像科学論 | 佐々木(雅) | 後期 |
| 保健学研究論 | 杜下 | 前期 |
| 臨床量子線科学 I | 杜下 | 前期 |
| Health Science Research | 杜下 | 前期 |
| Clinical Quantum Science I | 杜下 | 前期 |
| Clinical Quantum Science I | 藪内 | 前期 |
| 臨床量子線科学 I | 藪内 | 前期 |
| 保健医療とデータ科学 | 藪内 | 夏学期 |
| Data Sciences in Health and Medicine | 藪内 | 夏学期 |
| 分子機能画像科学 | 藪内 | 後期 |
| 先端医療論 | 佐々木(智) | 前期 |
| 国際社会とチーム医療 | 佐々木(智) | 前期 |
| 臨床量子線科学 I | 佐々木(智) | 前期 |
| International Society and Multidisciplinary Care | 佐々木(智) | 前期 |
| Clinical Quantum Science I | 佐々木(智) | 前期 |
| Data Sciences in Health and Medicine | 佐々木(智) | 夏学期 |
| 保健医療とデータ科学 | 佐々木(智) | 夏学期 |

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

| | | |
|---|--------|----|
| Practice in Molecular & Functional Imaging Technology | 佐々木(雅) | 前期 |
| 医用量子線科学特別研究(佐々木雅之教授) | 佐々木(雅) | 通年 |
| 保健学特別研究(佐々木教授) | 佐々木(雅) | 通年 |
| 国際プレゼンテーション(佐々木教授) | 佐々木(雅) | 通年 |
| 医療英語 | 佐々木(雅) | 通年 |
| 国際プレゼンテーション(杜下教授) | 杜下 | 通年 |
| 保健学特別研究(杜下教授) | 杜下 | 通年 |
| 医用量子線科学特別研究(杜下教授) | 杜下 | 通年 |
| 国際プレゼンテーション(藪内教授) | 藪内 | 通年 |
| 保健学特別研究(藪内教授) | 藪内 | 通年 |
| 医用量子線科学特別研究(藪内教授) | 藪内 | 通年 |
| 分子機能画像科学演習 | 藪内 | 前期 |
| Practice in Molecular & Functional Imaging Technology | 藪内 | 前期 |
| 医用量子線科学特別研究(井手口准教授) | 井手口 | 通年 |
| 医用量子線科学特別研究(佐々木智成准教授) | 佐々木(智) | 通年 |
| 量子線治療科学演習 | 佐々木(智) | 前期 |
| Practice in Quantum Radiation Therapy | 佐々木(智) | 前期 |

4. 大学院修士課程修了者

| | |
|------|--|
| 熊本航大 | 半導体 PET/CT 装置における連続寝台移動法の検討 Investigation of continuous bed motion method in a semiconductor PET/CT scanner |
| 佐藤秀昭 | 飛行時間分解能が半導体 PET/CT 画像に与える影響の研究 The effects of time-of-flight timing resolution on the semiconductor PET/CT images |
| 扇浦拓也 | Compressed SENSE を用いた頭頸部 Intravoxel Incoherent Motion (IVIM) MR Imaging における至適加速係数の検討 Optimal acceleration factor for Intravoxel Incoherent Motion MR Imaging of Head and Neck using Compressed SENSE |
| 浅野波慧 | 肩関節の準動態撮影における Compressed SENSE を用いた高速撮影 MRI の検討 Accelerating quasi-dynamic magnetic resonance imaging of the shoulder with Compressed SENSE |
| 末次善紀 | TomoDirect を用いた全身照射における照射野接合技術および門数と評価指標の関係についての検討 Total body irradiation using TomoDirect: Field junction technique and dose evaluation indices with different numbers of ports |

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

| | | |
|--------------|--------|-----|
| 核医学検査学 I | 佐々木(雅) | 前期 |
| 放射線技術科学入門 I | 佐々木(雅) | 前期 |
| 放射性同位元素検査技術学 | 佐々木(雅) | 春学期 |
| 放射線医学技術学概論 | 佐々木(雅) | 夏学期 |
| 核医学検査学 II | 佐々木(雅) | 後期 |

| | | |
|-------------------------|--------|-----|
| 放射線技術科学入門Ⅱ | 佐々木(雅) | 後期 |
| 医療安全学 | 佐々木(雅) | 秋学期 |
| 放射化学 | 佐々木(雅) | 秋学期 |
| 医学総論Ⅰ | 佐々木(雅) | 秋学期 |
| 臨床解剖薬理学 | 佐々木(雅) | 冬学期 |
| 医学総論Ⅱ | 佐々木(雅) | 冬学期 |
| 放射線技術科学入門Ⅰ | 杜下 | 前期 |
| 放射線画像技術学Ⅰ | 杜下 | 前期 |
| 放射線医学技術学概論 | 杜下 | 夏学期 |
| 放射線医学技術学概論 | 杜下 | 夏学期 |
| 放射線技術科学入門Ⅱ | 杜下 | 後期 |
| MR画像技術学 | 藪内 | 前期 |
| 放射線技術科学入門Ⅰ | 藪内 | 前期 |
| 人体の構造と機能Ⅱ | 藪内 | 前期 |
| 人体の構造と機能Ⅲ | 藪内 | 前期 |
| 放射線医学技術学概論 | 藪内 | 夏学期 |
| 放射線技術科学入門Ⅱ | 藪内 | 後期 |
| 画像解剖学Ⅰ | 藪内 | 後期 |
| 画像解剖学Ⅱ | 藪内 | 後期 |
| 臨床イメージング | 藪内 | 後期 |
| 臨床解剖薬理学 | 藪内 | 後期 |
| 放射線技術科学入門Ⅰ | 井手口 | 前期 |
| 放射性同位元素検査技術学 | 井手口 | 春学期 |
| X線CT画像技術学 | 井手口 | 春学期 |
| 医療系統合教育科目「インフォームドコンセント」 | 井手口 | 夏学期 |
| 品質管理論 | 井手口 | 後期 |
| 放射線技術科学入門Ⅱ | 井手口 | 後期 |
| 放射線画像技術学Ⅱ | 井手口 | 後期 |
| 医用画像評価学 | 井手口 | 後期 |
| 医用画像情報学 | 井手口 | 後期 |
| 放射線診断機器学 | 井手口 | 後期 |
| 医療安全学 | 井手口 | 秋学期 |
| 人体の構造と機能Ⅱ | 佐々木(智) | 前期 |
| 放射線技術科学入門Ⅰ | 佐々木(智) | 前期 |
| 放射線生物学 | 佐々木(智) | 前期 |
| 放射線治療技術学Ⅰ | 佐々木(智) | 前期 |
| 放射線技術科学入門Ⅰ | 佐々木(智) | 前期 |
| 放射線医学技術学概論 | 佐々木(智) | 夏学期 |
| 臨床解剖薬理学 | 佐々木(智) | 後期 |
| 医学総論Ⅰ | 佐々木(智) | 後期 |
| 放射線技術科学入門Ⅱ | 佐々木(智) | 後期 |
| 放射線技術科学入門Ⅰ | 田中 | 前期 |
| 基礎医療統計 | 田中 | 夏学期 |
| 品質管理論 | 田中 | 後期 |
| 医用画像評価学 | 田中 | 後期 |

| | | |
|------------|----|----|
| 放射線画像技術学Ⅱ | 田中 | 後期 |
| 放射線技術科学入門Ⅱ | 田中 | 後期 |

7. 学部の実験・実習・演習

| | | |
|------------|--------|-----|
| 放射化学実験 | 佐々木(雅) | 冬学期 |
| 卒業研究 | 佐々木(雅) | 通年 |
| 放射線画像技術学実習 | 杜下 | 後期 |
| 臨地実習 | 杜下 | 通年 |
| 卒業研究 | 杜下 | 通年 |
| 放射線機器学実験 | 井手口 | 春学期 |
| 放射線画像技術学実習 | 井手口 | 後期 |
| 画像解剖学演習 | 井手口 | 後期 |
| 放射化学実験 | 井手口 | 冬学期 |
| 臨地実習 | 井手口 | 通年 |
| 卒業研究 | 井手口 | 通年 |
| 放射線治療技術学実習 | 佐々木(智) | 通年 |
| 卒業研究 | 佐々木(智) | 通年 |
| 放射線計測学実験 | 田中 | 前期 |
| 放射線画像技術学実習 | 田中 | 後期 |
| 画像解剖学演習 | 田中 | 後期 |
| 放射化学実験 | 田中 | 冬学期 |
| 臨地実習 | 田中 | 通年 |
| 卒業研究 | 田中 | 通年 |

8. 卒業論文作成者

| | |
|-------|--|
| 深江弘希 | 新しい半導体 SPECT/CT 装置(NM/CT 870 CZT)の画質評価 |
| 石田絵里香 | 新しい半導体 SPECT/CT 装置(NM/CT 870 CZT)の空間分解能評価 |
| 亀川飛勇馬 | 死後頭部X線 CT 画像を利用した疑似パノラマ X 線画像の作成 |
| 高森泰成 | 画像のコントラスト改善に関する研究 ～身元確認に用いる歯根X線画像～ |
| 長沢雅樹 | 経年劣化した医用 LCD と新しい医用 LCD の輝度均一性と低コントラスト検出能の比較 |
| 濱井可奈 | MRI ヒストグラム解析による Triple Negative Breast Cancer に対する術前化学療法の効果予測因子の検討 |
| 坂田磨紀 | MRI ヒストグラム解析によるルミナル A 型および B 型乳癌の腋窩リンパ節転移予測因子の検討 |
| 稲富 輝 | Compressed SENSE を用いた高速撮像肺 MR Angiography の至適撮像法の検討 |
| 秋貞幸佑 | 腹部領域における線質硬化が DECT 仮想単色 X 線画像に与える影響について |
| 濱田美知 | マルチ施設データを用いた EI _t 設定に関する研究 |
| 飯田伊央里 | アイトラッキングを用いた撮影ポジショニング時の注視点解析 |
| 平田裕大 | Tomo Therapy を用いた全骨髄照射における最適な変調係数の検討 |
| 中野 竣 | Tomo Direct を用いた全身照射(下半身)における門数と評価指標に関する検討 |
| 立石 賢 | VMAT を用いた肺癌に対する SBRT におけるコリメータ角度の検討 |
| 川原 佑登 | ノンコプラナーVMAT 照射を用いた肺癌に対する SBRT における最適な寝台角度の検討 |
| 谷川 舞 | 異なる画像表示装置と照明環境下における乳腺超音波画像の輝度比の測定に関する |

| | | |
|-------|--|--|
| | る研究 | |
| 荒川 桜 | 散乱線補正処理と低格子比グリッドの併用における X 線斜入射時の画質評価に関する研究 | |
| 戸上 茉理 | 異なる管電圧条件下における骨盤撮影の線量指標と画質の測定に関する研究 | |

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

| | | |
|----|--|--------|
| 1 | PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる腫瘍診断 | 佐々木(雅) |
| 2 | PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる中枢神経系の診断 | 佐々木(雅) |
| 3 | 身元確認のための画像認識技術の開発 | 杜下 |
| 4 | 画像情報を用いた自動認識技術の開発 | 杜下 |
| 5 | 医療用液晶ディスプレイ装置の画質 | 杜下 |
| 6 | デジタル X 線画像の画質評価法の開発 | 杜下 |
| 7 | デジタルマンモグラフィの乳癌診断能の研究 | 藪内 |
| 8 | 乳腺腫瘍の MRI による診断頭頸部腫瘍の MRI による診断造影ダイナミック MRI と拡散強調 MRI を用いた乳癌の予後予測画像所見の研究肺癌の化学療法効果を早期に予測する画像パラメーターの研究 | 藪内 |
| 9 | 自然言語処理を用いた検査オーダー支援に関する研究 | 井手口 |
| 10 | 医用画像評価:被ばくを低減し、さらに、診断能を向上する方法の研究 | 井手口 |
| 11 | 肺癌の SBRT に対する VMAT におけるコリメータ角度に関する検討 | 佐々木(智) |
| 12 | TomoDirect を用いた全身照射における下半身での門数と評価指標の関係および TomoHelical との比較検討 | 佐々木(智) |
| 13 | 肺の SBRT に対するノンコプラナーVMAT 照射における最適なカウチの角度の検討 | 佐々木(智) |
| 14 | TomoTherapy を用いた下体部への骨髄照射における最適な Modulation factor に関する検討 | 佐々木(智) |
| 15 | 同一治療計画に対する線量計算アルゴリズムの違いによる線量分布の比較検討 | 佐々木(智) |
| 16 | 超音波診断システムの撮像技術に関する研究 | 田中 |
| 17 | デジタルラジオグラフィシステムの画質と被ばく線量の評価に関する研究 | 田中 |
| 18 | 液晶ディスプレイの特性の評価に関する研究 | 田中 |

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」放射線画像認識技術を用いた死後画像の特定に関する研究, 杜下(代表), 1000 千円.
- 「基盤研究(C)」吸気・呼気超高精細 CT による慢性閉塞性肺疾患患者の末梢気道病変の定量解析, 藪内(代表), 700 千円.
- 「若手研究」深層学習による線量指標を用いた画質管理の基礎的研究, 田中(代表), 1000 千円.

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「核医学による腫瘍の診断と治療の研究」フジRIファーマ, 佐々木(雅). 千円
- 「PET による腫瘍診断の研究」日本メジフィジックス, 佐々木(雅). 千円
- 「令和元年度がん研究助成金/画像表示装置の画質と視認性の関連性に関する研究」, 2022 年 3 月末まで, 公益財団法人福岡県すこやか健康事業団, 田中, 300 千円

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「EIZO 株式会社 医療用液晶モニタの画像特性に関する研究」杜下. 千円

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

○ 学会誌・学術専門誌

- Yuma Tsubaki, Takayoshi Kitamura, Natsumi Shimokawa, Go Akamatsu, Masayuki Sasaki, Japanese Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative: Improved accuracy of amyloid PET quantification with adaptive template-based anatomical standardization, *Journal of nuclear medicine technology*, 49, 3, 256 – 261, 2021 年 09 月.
- Yuya Sekikawa, Keita Funada, Go Akamatsu, Kazuhiko Himuro, Akihiko Takahashi, Shingo Baba, Masayuki Sasaki: Monte Carlo simulation of the acquisition conditions for ¹⁷⁷Lu molecular imaging of hepatic tumors, *Annals of Nuclear Medicine*, 35, 7, 823 – 833, 2021 年 07 月.
- Tomohisa Fukunaga, Kenichi Sanui, Toshiaki Kadokami, Masayuki Sasaki: Influences of Radionuclides on Left Ventricular Phase Analysis of Gated Myocardial Perfusion Single-Photon Emission Computed Tomography Images in Ischemic Heart Disease, *Annals of Nuclear Medicine*, 35, 6, 735 – 743, 2021 年 06 月.
- Toshiki Takeshita, Taiki Magome, Ryuji Watanabe, Shiro Onozawa, Konatsu Tsuchiya, Masao Tago, Masayuki Sasaki: Evaluation of a Monte Carlo-based algorithm for the influence of totally implantable venous access ports in external radiation therapy, *Japanese Journal of Radiology*, 39, 4, 387 – 394, 2021 年 04 月.
- Yoshiyuki Kitamura, Baba S, Isoda T, Maruoka Y, Sasaki M, Kamitani T, Koga Y, Kawakubo N, Matsuura T, Ishigami K: ¹²³I Metaiodobenzylguanidine (MIBG) Uptake Predicts Early Relapse of Neuroblastoma Using Semi-quantitative SPECT/CT analysis. *Ann Nucl Med*. 2021 May;35(5):549–556. Epub 2021 Feb 14.
- Akihiko Takahashi, Hibiki Ueno, Shingo Baba, Masayuki Sasaki: Estimation of the lower limits for feasible Ra-223 SPECT imaging: a Monte Carlo simulation study. *Asia Ocean J Nucl Med Biol*. 2021; 9(2): 131–139.
- Masateru Kawakubo, Nagao M, Kikuchi N, Yamamoto A, Nakao R, Matsuo Y, Kaneko K, Watanabe E, Sasaki M, Nunoda S, Sakai S: ¹³N-ammonia positron emission tomography-derived left ventricular strain in patients after heart transplantation validated using

cardiovascular magnetic resonance feature tracking as reference. *Ann Nucl Med.* 2022 Jan;36(1):70-81, 2022 年 1 月.

- Kitamura Y, Baba S, Isoda T, Maruoka Y, Sasaki M, Nishie A, Ishigami K: Usefulness of semi-quantitative analysis in ¹²³I metaiodobenzylguanidine SPECT/CT for the differentiation of pheochromocytoma and cortical adenoma. *Ann Nucl Med.* 2022 Jan;36(1):95-102, 2022 年 1 月.
- Junji Morishita, Noriaki Ikeda, Yasuyuki Ueda, Yongsu Yoon, Akiko Tshuji: Personal identification using radiological technology and advanced digital imaging: Expectations and challenges, *Journal of forensic Research*, 12, 8, -, 2021 年 08 月.
- Junji Morishita, Yasuyuki Ueda: New solutions for automated image recognition and identification: challenges to radiologic technology and forensic pathology, *Radiological Physics and Technology*, 14, 2, 123 - 133, 2021 年 06 月.
- Shogo TOKUREI, Yoichiro IKUSHIMA, Kazuki TAKEGAMI, Munemasa OKADA, Junji MORISHITA: Medical display application for degraded image sharpness restoration based on the modulation transfer function: Initial assessment for a five-megapixel mammography display monitor, *Physical and Engineering Sciences in Medicine*, online first, 2021 年 05 月.
- Hiroki Fujiwara, Hidetake Yabuuchi, Tatsuhiro Wada, Kouji Kobayashi, Toko Hoshuyama, Takeshi Kamitani, Kousei Ishigami: High-resolution magnetic resonance imaging of the triangular fibrocartilage complex using compressed sensing sensitivity encoding (SENSE). *Eur J Radiol* 149 (2022) 110191, 2022 年 02 月.
- 小田 紘弘、上原 周三、中野 努、田畑 慶人、水田 正芳、井手口 忠光、青木 隆敏: FPD 胸部撮影における X 線線質と肺結節のコントラストノイズ比-胸部ファントムモデルを用いたモンテカルロシミュレーションによる解析-, *日本放射線技術学会雑誌*, Vol.78, No.2, 1 - 12, 2022 年 02 月.
- Yongsu Yoon, Hyemin Park, Jungmin Kim, Jungsu Kim, Younghoon Roh, Nobukazu Tanaka, Junji Morishita: Proper Management of the Clinical Exposure Index Based on Body Thickness Using Dose Optimization Tools in Digital Chest Radiography: A Phantom Study, *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 18, 10, 5203 (10 pages), 2021 年 05 月.

○ 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Hideaki Sato, Suguru Katsube, Yuma Tsubaki, Kodai Kumamoto, Yuji Tsutsui, Kazuhiko Himuro, Shingo Baba, Masayuki Sasaki: Impacts of improved TOF timing resolutions on cold contrast of PET images., 68th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2021 年 06 月, United States of America.
- Kodai Kumamoto, Suguru Katsube, Yuma Tsubaki, Hideaki Sato, Yuji Tsutsui, Kazuhiko Himuro, Shingo Baba, Masayuki Sasaki: The possibility of the continuous bed motion method replacing the traditional step-and-shoot method by using a SiPM-PET/CT

scanner, 68th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2021年06月, United States of America.

- Yeji KIM, Yongsu YOON, Junji MORISHITA: An automated extraction method of chest X-ray radiography-like two-dimensional image from the scout-view image of postmortem computed tomography for personal identification, Korean Society of Radiation Science (KSRS) 2021, 2021年05月, Japan.
- Haruya SHINAGAWA, Junji MORISHITA, Miki OKUMURA, Noriaki IKEDA: Personal identification using local features from scout images of postmortem computed tomography: a pilot study, Korean Society of Radiation Science (KSRS) 2021, 2021年05月, Japan.
- Yoshiki Suetsugu, Naoki Higashi, Yukihide Fukuyama, Keiki Inoue, Kazuki Matsumoto, Hiromi Terashima, Tomonari Sasaki: Field junction technique for total body irradiation using tomotherapy with TomoDirect mode, AAPM 2021 63rd Annual Meeting & Exhibition. 2021年07月, Web開催.
- Nobukazu Tanaka, Tadimitsu Ideguchi: Relationship Between Exposure Index and Detector Performance for an Indirect-Conversion-Type Flat-Panel Detector System (Outstanding Paper Award), Korean Society of Radiological Science Conference (KSRS) 2021, 2021年05月, Korea.

○ **大学・研究機関などの刊行誌** なし

○ **調査研究報告** なし

○ **国内学会での講演, 発表**

- 佐藤秀昭、椿 悠馬、筒井悠治、山下泰生、馬場眞吾、佐々木雅之: SiPMとPMT-PET/CTにおける異なる TOF 時間分解能がコールド球描出能にもたらす影響, 第41回日本核医学技術学会総会学術大会, 2021年11月, Japan.
- 熊本航大、椿 悠馬、勝部 俊、佐藤秀昭、筒井悠治、山下泰生、佐々木雅之: SiPM-PET/CT装置における寝台移動速度とスライス厚がホット球描出に与える影響, 第41回日本核医学技術学会総会学術大会, 2021年11月, Japan.
- Hideaki Sato, Yuma Tsubaki, Suguru Katsube, Kodai Kumamoto, Yuji Tsutsui, Kazuhiko Himuro, Masayuki Sasaki: Effects of different TOF timing resolutions on detectability of cold spheres, 第77回日本放射線技術学会総会学術大会, 2021年04月, 横浜市.
- Kodai Kumamoto, Yuma Tsubaki, Suguru Katsube, Hideaki Sato, Yuji Tsutsui, Kazuhiko Himuro, Masayuki Sasaki: Effects of bed speed and slice thickness on spatial resolution in PET/CT scanners, 第77回日本放射線技術学会総会学術大会, 2021年04月, 横浜市.
- 幾島洋一郎、徳禮将吾、佐藤周作、幾島宏二郎、橋本憲幸、杜下淳次、藪内英剛: 医療用モニタの解像度と画像表示サイズが超高精細 CT 画像の高コントラスト分解能に及ぼす影響, 第49回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2021年10月, 熊本市.

- Yongsu Yoon、杜下淳次、奥村美紀、池田典明：胸部単純 X 線画像データベースを用いた年齢推定深層学習，日本法医学学術全国集会，2021 年 06 月，福岡市。
- 亀川飛勇馬、杜下淳次、衛藤 希、山添淳一、池田典昭、山下雄也、長沢雅樹、高森泰成：死後頭部 X 線 CT 画像を用いた擬似パノラマ画像の作成法の検討，第 16 回九州放射線医療技術学術大会，2021 年 12 月，佐賀市。
- 長沢雅樹、寶部真也、亀川飛勇馬、高森泰成、徳禮将吾、杜下淳次：経年劣化した医用 LCD と未使用の医用 LCD の輝度均一性と低コントラスト検出能の比較，第 16 回九州放射線医療技術学術大会，2021 年 12 月，佐賀市。
- 坂田磨紀、藪内英剛、浅野波慧、扇浦拓也、追立和久、松下友基、濱井可奈、稲富 輝、神谷武志：MRI ヒストグラム解析によるルミナル A 型および B 型乳癌の腋窩リンパ節転移予測因子の検討，第 16 回九州放射線医療技術学術大会，2021 年 12 月，佐賀市。
- 浜井可奈、藪内英剛、浅野波慧、扇浦拓也、追立和久、松下友基、坂田磨紀、稲富 輝、神谷武志：MRI ヒストグラム解析による Triple Negative Breast Cancer に対する術前化学療法の効果予測因子の検討，第 16 回九州放射線医療技術学術大会，2021 年 12 月，佐賀市。
- 秋貞幸佑、井手口忠光、近藤雅敏：腹部領域における線質硬化が DECT 仮想単色 X 線画像に与える影響について，第 16 回九州放射線医療技術学術大会，2021 年 12 月，佐賀市。
- 濱田美知、田中延和、加藤豊幸、氷室和彦、中村秀俊、大藤孝文、田中亮治、門崎 都、猪本奈美、桑水流純平、井手口忠光：マルチ施設データを用いた EIt 設定に関する研究，第 16 回九州放射線医療技術学術大会，2021 年 12 月，佐賀市。
- 末次善紀、東 直樹、中野 竣、山中宥樺、福山幸秀、寺嶋廣美、佐々木智成：TomoDirect を用いた下体部の全身照射(TBI)における門数と評価指標に関する検討，日本放射線腫瘍学会第 34 回学術大会，2021 年 11 月，Web 開催。
- 末次善紀、東 直樹、福山幸秀、井上慶輝、松本和樹、山中宥樺、川原佑登、立石 賢、中野 竣、平田裕大、寺嶋廣美、佐々木智成：TomoDirect を用いた全身照射における Field Junction Technique の検討，第 16 回九州放射線医療技術学術大会，2021 年 12 月，佐賀市。
- 平田裕大、末次善紀、東 直樹、福山幸秀、山中宥樺、川原佑登、立石 賢、中野 竣、寺嶋廣美、佐々木智成：Helical TomoTherapy を用いた全骨髄照射の下体部における最適な Modulation Factor (MF) に関する検討，第 16 回九州放射線医療技術学術大会，2021 年 12 月，佐賀市。
- 立石 賢、山中宥樺、末次善紀、川原佑登、中野 竣、平田裕大、福永淳一、廣瀬貴章、佐々木智成：肺癌の SBRT に対する VMAT におけるコリメータ角度に関する検討，第 16 回九州放射線医療技術学術大会，2021 年 12 月，佐賀市。
- 山中宥樺、立石 賢、末次善紀、川原佑登、中野 竣、平田裕大、福永淳一、廣瀬貴章、佐々木智成：肺癌の VMAT-SBRT における計算アルゴリズムとコリメータ角度に関する検討，第 16 回九州放射線医療技術学術大会，2021 年 12 月，佐賀市。
- 田中延和、井手口忠光：FPD システムの線量指標と基本的な画像特性の検証，第 49 回日本放射線技術学会秋季学術大会，2021 年 10 月，熊本市。

- 荒川 桜、田中延和、井手口忠光：X線斜入射が散乱線補正処理と低格子比グリッドの併用システムの画質に及ぼす影響，第16回九州放射線医療技術学術大会，2021年12月，佐賀市。
 - 戸上 茉理、田中 延和、Yoon Yongsu、井手口 忠光：骨盤撮影における線量指標と画質の評価，第16回九州放射線医療技術学術大会，2021年12月，佐賀市。
 - 谷川 舞、田中 延和：乳腺超音波検査における画像表示液晶ディスプレイと環境照度の違いが画像の輝度比に及ぼす影響，第16回九州放射線医療技術学術大会，2021年12月，佐賀市。
- 学会以外での講演，発表 なし

著作

1. 単行本

- 佐々木雅之、馬場眞吾(共著)：核医学検査技術学(改訂4版)，2021年04月，南山堂。

2. 総説 なし

3. 解説，書評など なし

受賞

- 佐々木(雅)，「大学院生(佐藤秀昭)が68th Annual Meeting of SNMMIにて2021 ERF SNMMI-TS Professional Development Grant Award for the SNMMI Annual Meeting for CNMT and ARRT(N) technologist and studentsを受賞した。」，2021 SNMMI-TS Award，Society of Nuclear Medicine，2021年06月。
- 佐々木(雅)，「大学院生(熊本航大)が68th Annual Meeting of SNMMIにて2021 ERF SNMMI-TS Professional Development Grant Award for the SNMMI Annual Meeting for CNMT and ARRT(N) technologist and studentsを受賞した。」，2021 SNMMI-TS Award，Society of Nuclear Medicine，2021年06月。
- 田中，「Relationship Between Exposure Index and Detector Performance for an Indirect-Conversion-Type Flat-Panel Detector System.」，Outstanding Paper Award，Korean Society of Radiological Science Conference (KSRSC) 2021，2021年05月。

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 杜下，医療用液晶モニタの画像特性に関する研究，EIZO株式会社，2006年05月～2023年03月。
- 井手口、田中，デジタルX線画像システムの画質と撮影関連データの有効利用に関する研究，富士フイルムメディカル株式会社，2019年03月～2022年03月。

2. 受託研究 なし
3. 取得特許 なし
4. 兼業 なし
5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし
2. 外国人研究者の受入れ
 - 訪問教授・研究員 なし
 - 訪問研究者 なし
3. 留学生の受入れ
Yeji KIM 修士課程
4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員
 - 杜下, 入学試験実施委員会 委員.
2. 部局委員
 - 佐々木(雅), 九州大学病院放射性医薬品委員会 委員.
 - 佐々木(雅), 九州大学病院サイクロトン産生放射性同位元素の医学利用に関する委員会 委員.
3. 部門・コース内委員
 - 佐々木(雅), 病院地区協議会 委員.
 - 佐々木(雅), 医学研究院保健学部門 部門長.
 - 杜下, 入学試験実施委員会 委員長.
 - 杜下, 将来計画、点検・評価委員会 委員.
 - 杜下, 年報委員会 委員.
 - 杜下, 放射線安全管理委員会 委員.
 - 藪内, 地域国際連携推進委員会 委員長.
 - 藪内, FD 実行委員会 委員長.
 - 藪内, 大学院委員会 委員.
 - 藪内, 施設・環境委員会 委員.
 - 井手口, 医療系統合教育研究センター 委員.
 - 井手口, 教務委員会 委員.
 - 井手口, 学生委員会 委員.

- 佐々木(智), 地域・国際連携推進委員会 委員
- 佐々木(智), FD 実行委員会 委員.
- 佐々木(智), 広報委員会 委員.
- 田中, 将来計画、点検・評価委員会 委員.
- 田中, 年報委員会 委員.
- 田中, 放射線安全委員会 委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 佐々木(雅), 熊本大学医学部保健学科, 非常勤講師.

2. 学協会

- 佐々木(雅), 日本核医学会, 理事, 国内.
- 佐々木(雅), 日本核医学会, 評議員, 国内.
- 佐々木(雅), 日本医学放射線学会, 評議員, 国内.
- 杜下, 日本放射線技術学会・日本医学物理学会 official journal, Radiological Physics and Technology 編集委員, 国内.
- 杜下, 医用画像情報学会, 理事, 国内.
- 藪内, 日本医学放射線学会, 評議員, 国内.
- 藪内, 日本磁気共鳴学会, 代議員, 国内.
- 藪内, 日本医学放射線学会 Japanese Journal of Radiology, 副編集長, 国内.
- 藪内, European Journal of Radiology, 編集委員, 国外.
- 井手口, 医用画像情報学会, 理事, 国内.
- 井手口, 医用画像情報学会令和3年度春季(第192回)大会, 大会長, 国内.
- 田中, 医用画像情報学会令和3年度春季(第192回)大会, 実行委員長, 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会 なし

6. 初等中等教育への貢献 なし

3-3. 教員の活動：検査技術科学分野

検査技術科学分野

《生体情報学》

| | |
|----|--------|
| 教授 | 内海 健 |
| 教授 | 重藤 寛史 |
| 講師 | 小島 夫美子 |
| 講師 | 森 大輔 |
| 講師 | 田代 洋行 |
| 助教 | 安田 洋子 |

1. 教育活動

1. 大学院講義

| | | |
|--|----|----|
| International Society and Multidisciplinary Care | 内海 | 前期 |
| Health Science | 内海 | 前期 |
| 生体情報解析学 I | 内海 | 前期 |
| ヘルスサイエンス論 | 内海 | 前期 |
| 国際社会とチーム医療 | 内海 | 前期 |
| 保健学研究論 | 重藤 | 前期 |
| 生体情報解析学 I | 重藤 | 前期 |
| Health Science Research | 重藤 | 前期 |
| 生体情報解析検査学 | 重藤 | 後期 |

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

| | | |
|-------------|----|----|
| 生体情報機能検査学演習 | 内海 | 前期 |
| 検査技術科学特別研究 | 内海 | 通年 |
| 保健学特別研究 | 内海 | 通年 |
| 国際プレゼンテーション | 内海 | 通年 |
| 生体情報解析検査学演習 | 重藤 | 前期 |
| 国際プレゼンテーション | 重藤 | 通年 |
| 保健学特別研究 | 重藤 | 通年 |
| 検査技術科学特別研究 | 重藤 | 通年 |
| 生体情報解析学 II | 重藤 | 後期 |
| 検査技術科学特別研究 | 田代 | 通年 |

4. 大学院修士課程修了者

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 梁井 一樹 | 脳磁図を用いた言語理解における形態知覚と予期に関する神経基盤の研究 |
| 府内 京香 | 高密度経頭蓋直流電気刺激法を用いた言語の神経基盤の検討 |
| 平井 遥 | 慢性心不全モデルマウスの病態解析と治療戦略 |

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

| | | |
|--------------------|----|-----|
| 生理機能検査学Ⅰ | 重藤 | 前期 |
| 生理機能検査学Ⅱ | 重藤 | 前期 |
| 生理機能検査学Ⅲ | 重藤 | 前期 |
| 人体の構造と機能Ⅰ | 重藤 | 前期 |
| 臨床検査学概論Ⅰ | 重藤 | 春学期 |
| 医学総論Ⅰ | 重藤 | 秋学期 |
| 医学総論Ⅱ | 重藤 | 冬学期 |
| 臨床検査学概論Ⅱ | 重藤 | 秋学期 |
| 臨床化学Ⅱ | 内海 | 前期 |
| 検査管理総論 | 内海 | 前期 |
| 先進臨床検査特論 | 内海 | 前期 |
| 人体の構造と機能Ⅰ | 内海 | 前期 |
| 臨床検査学概論Ⅰ | 内海 | 春学期 |
| 臨床化学Ⅰ | 内海 | 後期 |
| 生物化学分析検査学特論 | 内海 | 後期 |
| 寄生虫学 | 小島 | 前期 |
| 臨床検査総論 | 小島 | 春学期 |
| 臨床検査学概論Ⅰ | 小島 | 春学期 |
| 臨床微生物学および実習 | 森 | 前期 |
| 病原体学 | 森 | 前期 |
| 医療安全・バイオリスク管理および実習 | 森 | 冬学期 |
| 臨床検査学概論Ⅰ | 田代 | 前期 |
| 生理機能検査学Ⅱ | 田代 | 前期 |
| 医用工学・情報概論 | 田代 | 前期 |
| 臨床検査学概論Ⅰ | 安田 | 前期 |

7. 学部の実験・実習・演習

| | | |
|------------------------|----|-----|
| 生化学臨床化学実習 | 内海 | 後期 |
| 生理機能検査学実習 | 重藤 | 後期 |
| 寄生虫学 | 小島 | 前期 |
| 国際感染症学および実習 | 小島 | 前期 |
| 一般検査学および実習 | 小島 | 後期 |
| 臨床微生物学および実習 | 森 | 前期 |
| 医療安全・バイオリスク管理および実習 | 森 | 冬学期 |
| 医用工学・情報概論実験（分担） | 田代 | 秋学期 |
| 医療安全・バイオリスク管理および実習（分担） | 田代 | 冬学期 |
| 国際感染症学および実習 | 安田 | 前期 |
| 組織・病理検査学および実習Ⅱ | 安田 | 前期 |
| 組織・病理検査学および実習Ⅰ | 安田 | 後期 |

8. 卒業論文作成者

| | |
|--------|---|
| 中山 僚太 | 各種癌におけるフェロトーシス関連遺伝子の発現と予後の関係性 |
| 坪田 昌和 | フェロトーシス関連遺伝子と転写因子の関係の考察 |
| 長田 葵衣 | Ferroptosis marker 遺伝子 Ptgs2, CHAC1, TFRC の発現変化をもたらす要因の検討 |
| 柳田絢一郎 | 単語レベルの文法処理に関する脳領域の推定 |
| 馬場 遥花 | ニッケル-ビウレット法を基本原理とするクロムアズロール B を用いた尿中総蛋白測定法の開発ー2 ポイントエンド法への改良ー |
| 香田 彩華 | 金属キレート Nitroso-PSAP を用いた血中 NAD ⁺ および NADH 測定法の開発 |
| 安永 伊織 | 珠算経験者と非経験者における暗算時脳内活動領域の比較 |
| 永野 美樹 | 経頭蓋直流電気刺激 (tDCS) による言語領域興奮性変化の解析 |
| 大野 遥香 | 毛髪内 miRNA 解析によるストレス要因の検出 |
| 竹本 美佳 | てんかん患者頭蓋内脳波におけるてんかん性高周波振動 (HFO) の自動検出 |
| 成瀬 諒花 | ホルマリン保存虫体を対象とした <i>Anisakis simplex</i> 同胞種鑑別法における PCR 条件の検討 |
| 矢田 歩未 | PCR-CTPP 法を利用した <i>Anisakis simplex</i> 同胞種鑑別法における感度と特異度 |
| 佐々木 海吏 | 神経細胞に光応答性を付与する Photoactive molecule (BENAQ)の精製純度の検討 |
| 松尾 崇史 | ナノ構造化白金電極による高感度ドーパミン計測の基礎的検討 |
| 船崎 希 | マレーシアの小児下痢症を引き起こす新規ウイルス Bufavirus と Salivirus の疫学調査 |
| 宮本 麻希 | 胃がん細胞を用いた TGF β 1 誘導上皮間葉転換 (EMT) における基礎的検討 |

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

| | | |
|---|--------------------------|----|
| 1 | ミトコンドリアーリソソーム機能関連の新規分子機構 | 内海 |
| 2 | 新規臨床化学測定法の開発 | 内海 |
| 3 | 脳磁計や電流刺激を用いた言語処理の解明 | 重藤 |
| 4 | アニサキスに関する研究 | 小島 |
| 5 | 下痢症における疫学および分子疫学 | 森 |
| 6 | デングウイルス感染環に関する研究 | 森 |
| 7 | 人工視覚システムの開発 | 田代 |

- 8 ニューロモジュレーションを応用した医療治療機器の開発 田代
9 hybrid EMT に伴うエピゲノム変動に着目した転移メカニズムの解明 安田

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(A)」ミトコンドリア病態解析に基づく臓器特異的ミトコンドリア異常診断法の開発, 内海(分担), 1000 千円.
- 「若手研究」BMI デバイスの治療効果予測・評価のための光刺激一光記録神経活動撮像系の開発, 田代(代表), 1,100 千円.
- 「若手研究」Photoswitch を応用した人工感覚器の有効性および安全性の検証(研究代表者: 帝京大学野村修平), 田代(連携).

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「てんかん発作に関するバイオマーカーとしてのマイクロ RNA 測定の試み」重藤寛史, 500 千円

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「(株)ニデック 次世代人工視覚の研究」田代, 2,400 千円.
- 「帝京大学 神経刺激方法の研究開発」田代, 2,112 千円.

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

○ 学会誌・学術専門誌

- Naoki Egami, Masayuki Ochiai, Masako Ichiyama, Hirotsuke Inoue, Motoshi Sonoda, Masataka Ishimura, Souichi Suenobu, Toshiya Nishikubo, Akira Ishiguro, Taeko Hotta, Takeshi Uchiumi, Dongchon Kang, Shouichi Ohga: Clinical Impact of Heritable Thrombophilia on Neonatal-Onset Thromboembolism: A Nationwide Study in Japan, *The Journal of Pediatrics*, 238, e2, 259-267, 2021 年 11 月. (査読あり)
- Eisaku Hokazono, Eri Ota, Taiki Goto, Saori Fukumoto, Yuzo Kayamori, Takeshi Uchiumi, Susumu Osawa: Development of a protein assay with copper chelator chromeazurol B based on the biuret reaction, *Analytical Biochemistry*, 630, 114320, 2021 年 10 月. (査読あり)
- Masaki Shiota, Naohiro Fujimoto, Takashi Matsumoto, Shigehiro Tsukahara, Shohei Nagakawa, Shohei Ueda, Miho Ushijima, Eiji Kashiwagi, Ario Takeuchi, Junichi Inokuchi, Takeshi Uchiumi, Masatoshi Eto: Differential Impact of TGFβ1 Variation by Metastatic Status in Androgen-Deprivation Therapy for Prostate Cancer, *Frontiers in Oncology*, 11, 697955, 2021 年 5 月. (査読あり)
- Yuichi Matsushima, Kazuya Takahashi, Song Yue, Yuki Fujiyoshi, Hideaki Yoshioka, Masamune Aihara, Daiki Setoyama, Takeshi Uchiumi, Satoshi Fukuchi, Dongchon Kang:

Mitochondrial Lon protease is a gatekeeper for proteins newly imported into the matrix, *Communications Biology*, 1, 4, 974, 2021 年 8 月. (査読あり)

- Ryo Kiyokoba, Takeshi Uchiumi, Mikako Yagi, Takahiro Toshima, Shigehiro Tsukahara, Yasuyuki Fujita, Kiyoko Kato, Dongchon Kang: Mitochondrial dysfunction-induced high hCG associated with development of fetal growth restriction and pre-eclampsia with fetal growth restriction, *Scientific reports*, 12, 4056, 2022 年 03 月. (査読あり)
- Mikako Yagi, Takahiro Toshima, Rie Amamoto, Yura Do, Haruka Hirai, Daiki Setoyama, Dongchon Kang, Takeshi Uchiumi: Mitochondrial translation deficiency impairs NAD(+)-mediated lysosomal acidification, *EMBO JOURNAL*, 40, e105268, 2021 年. (査読あり)
- Ayako Motoki, Naoki Akamatsu, Tomoyuki Fumuro, Ayako Miyoshi, Hideaki Tanaka, Koichi Hagiwara, Shinji Ohara, Takashi Kamada, Hiroshi Shigeto, Hiroyuki Murai: Characteristics of olfactory dysfunction in patients with temporal lobe epilepsy, *Epilepsy & behavior : E&B*, 125, 108402, 2021 年 12 月. (査読あり)
- Ayako Motoki, Naoki Akamatsu, Tomoyuki Fumuro, Ayako Miyoshi, Hideaki Tanaka, Koichi Hagiwara, Shinji Ohara, Takashi Kamada, Hiroshi Shigeto, Hiroyuki Murai: Comparison of Acute Withdrawal and Slow Taper of Antiseizure Medications during Video Electroencephalographic Monitoring: Efficacy for Shortening of Hospital Stay, *Journal of clinical medicine*, 10, 24, 5972, 2021 年 12 月. (査読あり)
- Nobutaka Mukae, Takafumi Shimogawa, Ayumi Sakata, Taira Uehara, Hiroshi Shigeto, Koji Yoshimoto, Takato Morioka: Reflection of the Ictal Electrographic Discharges Confined to the Medial Temporal Lobe to the Scalp-Recorded Electroencephalogram, *Clinical EEG and neuroscience*, 15500594211062702, 2021 年 11 月. (査読あり)
- Koichi Hagiwara, Toshiki Okadome, Takahiko Mukaino, Taira Uehara, Hideaki Tanaka, Takashi Kamada, Ayako Miyoshi, Naoki Akamatsu, Shinji Ohara, Hiroshi Shigeto: Ictal asystole as a manifestation of pure insular epilepsy, *Seizure*, 91, 192 - 195, 2021 年 06 月. (査読あり)
- Taira Uehara, Hiroshi Shigeto, Takahiko Mukaino, Jun Yokoyama, Toshiki Okadome, Ryo Yamasaki, Katsuya Ogata, Nobutaka Mukae, Ayumi Sakata, Shozo Tobimatsu, Jun-Ichi Kira: Rapidly spreading seizures arise from large-scale functional brain networks in focal epilepsy, *NeuroImage*, 237, 118104, 2021 年 08 月. (査読あり)
- Siat Yee Fong, Daisuke Mori, Jecelyn Leaslie John, Nelbon Giloi, Mohammad Saffree Jeffree, Kamruddin Ahmed: Mumps outbreak in university students: first detection of mumps virus genotype F in Borneo., *Tropical medicine and health*, 50, 20, 2022 年 03 月. (査読あり)
- Daisuke Mori, Jecelyn Leaslie John, Shahnaz Irwani Binti Sabri, Saliz Mazrina Binti Shaharom, Hidekatsu Iha, Yoshio Yamaok, Takashi Matsumoto, Kamruddin Ahmed: Seroepidemiological survey of the prevalence of Helicobacter pylori infection in Sabah, Malaysia, *International Journal of Infectious Diseases (IJID) Regions*, 2, 126 - 129, 2022 年 03 月. (査読あり)
- Mya Myat Ngwe Tun, Daisuke Mori, Shahnaz Binti Sabri, Omar Kugan, Saliz Binti Shaharom, Jecelyn John, Aung Min Soe, Khine Mya Nwe, Jiloris Frederick Dony, Shingo Inoue, Kouichi Morita, Kamruddin Ahmed: Serological Evidence of Zika Virus Infection in Febrile Patients

- and Healthy Blood Donors in Sabah, Malaysian Borneo, 2017–2018, *The American journal of tropical medicine and hygiene*, 106, 2, 601 – 606, 2021 年 11 月. (査読あり)
- Siat Yee Fong, Daisuke Mori, Christina Rundi, Jun Fai Yap, Muhammad Jikal, A. L. Liza Binti Abd Latip, Victor Johnny, Kamruddin Ahmed: A five-year retrospective study on the epidemiology of hand, foot and mouth disease in Sabah, Malaysia., *Scientific Reports*, 11, 17814, 2021 年 09 月. (査読あり)
 - Jecelyn Leaslie John, Daisuke Mori, Lia Natasha Amit, Andau Konodan Mosiun, Abraham Chin Zefong, Kamruddin Ahmed: High proportion of norovirus infection and predominance of GII. 3 [P12] genotype among the children younger than 5 in Sabah, Malaysian Borneo, *Journal of Clinical Virology*, 143, 104968, 2021 年 09 月. (査読あり)
 - Lia Natasha Amit, Daisuke Mori, Jecelyn Leaslie John, Abraham Zefong Chin, Andau Konodan Mosiun, Mohammad Saffree Jeffree, Kamruddin Ahmed: Emergence of equine-like G3 strains as the dominant rotavirus among children under five with diarrhea in Sabah, Malaysia during 2018-2019, *PLOS ONE*, 16(7), e0254784, 2021 年 07 月. (査読あり)
 - Muhammad Jikal, Daisuke Mori, Ahmad Faudzi Hj Yusoff, Sarawasthi Bina Rai, M Hafiz Mukhsam, Ismail Ali, Liza Abd Latif, Alfred A S Perianayagam, Esther Bernad, Cynthia C E Bailon, Lim Guan Lee, Vielerian Fredolin, Kamruddin Ahmed: Probable Nipa Palm Wine-Associated Hepatitis A Outbreak after Attending a Funeral Ceremony in Sabah, *The American Journal of Tropical Medicine and Hygiene*, 105, 3, 777–782, 2021 年 07 月. (査読あり)
 - Mark Christian Guinto, Makito Haruta, Yuki Kurauchi, Taisuke Saigo, Kazuki Kurasawa, Sumika Ryu, Yasumi Ohta, Mamiko Kawahara, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Hiroshi Katsuki, Jun Ohta: Modular head-mounted cortical imaging device for chronic monitoring of intrinsic signals in mice, *The Journal of Biomedical Optics*, 27, 2, 026501, 2022 年 02 月. (査読あり)
 - Kulmala Natcha, Sasagawa Kiyotaka, Treepetchkul Thanaree, Takehara Hironari, Haruta Makito, Tashiro Hiroyuki, Ohta Jun: Lensless dual-color fluorescence imaging device using hybrid filter, *Japanese Journal of Applied Physics*, 61, SC1020, 2022 年 02 月. (査読あり)
 - Kiyotaka Sasagawa, Ryoma Okada, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Polarization Image Sensor for Highly Sensitive Polarization Modulation Imaging Based on Stacked Polarizers, *IEEE Transactions on Electron Devices*, 69, 6, 2924 – 2931, 2022 年 01 月. (査読あり)
 - Yasumi Ohta, Takaaki E. Murakami, Mamiko Kawahara, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta, Metin Akay, Yasemin M. Akay: Investigating the Influence of GABA Neurons on Dopamine Neurons in the Ventral Tegmental Area Using Optogenetic Techniques, *International Journal of Molecular Sciences*, 23, 3, 1114, 2022 年 01 月. (査読あり)
 - Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Tokio Ueno, Jun Ohta: Precise Temporal Control of Interferential Neural Stimulation via Phase Modulation, *IEEE Transactions on Biomedical Engineering*, 69, 1, 220 – 228, 2022 年 01 月. (査読あり)

- Joshua Philippe Olorocisimo, Jeric Briones, Kiyotaka Sasagawa, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Norihiro Ishida-Kitagawa, Yasumasa Bessho, Jun Ohta: Ultrasmall compact CMOS imaging system for bioluminescence reporter-based live gene expression analysis, *Journal of Biomedical Optics*, 26, 11, 116002, 2021年11月. (査読あり)
- Yasuto Mori, Chang Chia-Chi, Hiroki Endo, Maho Hata, Kenzo Shodo, Yasuo Terasawa, Toshihiko Noda, Takashi Tokuda, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta,: AC power supply circuit architecture for a miniaturised retinal prosthesis device, *The Journal of Engineering*, 2021, 10, 546 – 551, 2021年09月. (査読あり)
- Yasumi Ohta, Mark Christian Guinto, Takashi Tokuda, Mamiko Kawahara, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Hirotaka Onoe, Reona Yamaguchi, Yoshinori Koshimizu, Kaoru Isa, Tadashi Isa, Kenta Kobayashi, Yasemin M. Akay, Metin Akay, Jun Ohta: Micro-LED Array-Based Photo-Stimulation Devices for Optogenetics in Rat and Macaque Monkey Brains, *IEEE Access*, 9, 127937 – 127949, 2021年09月. (査読あり)
- Kuang-Chih Tso, Yuki Fukunari, Mizuki Hagita, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Pu-Wei Wu, Jun Ohta: Honeycomb-type retinal device using chemically derived iridium oxide biointerfaces, *AIP Advances*, 11, 095305, 2021年09月. (査読あり)
- Thanet Pakpuwadon, Kiyotaka Sasagawa, Mark Christian Guinto, Yasumi Ohta, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Self-reset image sensor with a signal-to-noise ratio over 70 dB and its application to brain surface imaging, *Frontiers in Neuroscience*, 15, 667932, 2021年06月. (査読あり)
- 笹川 清隆、森 康登、春田 牧人、鐘堂 健三、寺澤 靖雄、竹原 浩成、田代 洋行、野田 俊彦、徳田 崇、太田 淳: セラミック基板を用いた人工視覚用多電極 CMOS デバイスの試作, *電子情報通信学会論文誌 C*, J104-C, 6, 177 – 184, 2021年06月. (査読あり)
- Romeo Rebusi, Joshua Olorocisimo, Jeric Cruz Briones, Yasumi Ohta, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Simultaneous CMOS-based imaging of calcium signaling of the central amygdala and the dorsal raphe nucleus during nociception in freely-moving mice, *Frontiers in Neuroscience*, 15, 667708, 2021年05月. (査読あり)
- 野村 修平、田代 洋行、寺澤 靖雄、中野 由香梨、春田 牧人、笹川 清隆、竹原 浩成、太田 淳: 人工視覚システム用多孔性刺激電極界面特性解析のための Randles 型回路モデルの提案, *電気学会論文誌E(センサ・マイクロマシン部門誌)*, 141, 5, 134 – 140, 2021年05月. (査読あり)
- Mohamad Izzat Azmer, Kiyotaka Sasagawa, Erus Rustami, Kenji Sugie, Yasumi Ohta, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Miniaturized LED light source with an excitation filter for fluorescent imaging, *Japanese Journal of Applied Physics*, 60, BSBG07, 2021年03月. (査読あり)

- Ze Wang, Masayuki Uemura, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Near-infrared fundus camera with a patterned interference filter for the retinal scattering detection, Japanese Journal of Applied Physics, 60, SBBL07, 2021 年. (査読あり)
- Kiyotaka Sasagawa, Erus Rustami, Yasumi Ohta, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Image sensor with hybrid emission filter for in vivo fluorescent imaging, IEEJ Transactions on Sensors and Micromachines, 141, 3, 71 – 76, 2021 年 04 月. (査読あり)
- Ryoma Okada, Kiyotaka Sasagawa, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: A polarisation-analysing CMOS image sensor for sensitive polarisation modulation detection, Electronics Letters, 57, 12, 472 – 474, 2021 年 04 月. (査読あり)
- Teppei Matsubara, Seppo P Ahlfors, Tatsuya Mima, Koichi Hagiwara, Hiroshi Shigeto, Shozo Tobimatsu, Yoshinobu Goto, Steven Stufflebeam: Bilateral Representation of Sensorimotor Responses in Benign Adult Familial Myoclonus Epilepsy: An MEG Study. Front Neurol. 2021;12:759866. eCollection 2021 年 10 月. (査読あり)
- Nobutaka Mukae, Daisuke Kuga, Daisuke Murakami, Noritaka Komune, Yusuke Miyamoto, Takafumi Shimogawa, Ayumi Sakata, Hiroshi Shigeto, Toru Iwaki, Takato Morioka, Masahiro Mizoguchi: Endonasal endoscopic surgery for temporal lobe epilepsy associated with sphenoidal encephalocele. Surg Neurol Int. 12:379. eCollection 2021 年 07 月. (査読あり)

○ 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Toshiki Okadome, MD, 1 Taira Uehara, MD, PhD, 2 Takahiko Mukaino, MD, 1 Jun Yokoyama, MD, 1 Nobutaka Mukae, MD, PhD, 3 Hiroshi Shigeto, MD, 4 Jun-ichi Kira: Interictal epileptic discharges affect functional brain networks: Co-activation pattern analysis of intracranial EEG, 13th Asia Oceania Epilepsy Conference, 2021 年 06 月, Ireland.
- Hiroshi Shigeto: How to choose AED in newly diagnosed epilepsy, 13th Asia Oceania Epilepsy Conference, 2021 年 06 月, Ireland.
- Kenji Sugie, Kiyotaka Sasagawa, Yasumi Ohta, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Implantable CMOS Image Sensor with a Neural Amplifier for Simultaneous Recording of Optical and Electrophysiological Signals, IEEE Biomedical Circuits and Systems Conference (BioCAS) 2021, 2021 年 10 月, Germany.
- Romeo BriosoRebusi, Yasumi Ohta, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: CMOS-based calcium imaging in the amygdala and the dorsal raphe nucleus of mice during acute pain sensation and inflammatory hyperalgesia, The 44th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society/the 1st CJK International Meeting, 2021 年 07 月, Japan.
- Mark Christian Guinto, Makito Haruta, Taisuke Saigo, Kazuki Kurasawa, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Chronic monitoring of intrinsic optical signals in the mouse cortex using an implantable CMOS-based imaging device, The 44th

Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society/the 1st CJK International Meeting, 2021年07月, Japan.

- Nicha Sato, Yasumi Ohta, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Oratai Jongprateep, Jun Ohta: Electrochemical Sensor for Dopamine Detection with Fe₂O₃ Modified Microelectrode by Fast-scan Cyclic Voltammetry, The Asian Meeting on Ferroelectricity and The Asian Meeting on Electroceramics Joint Conference 2021 (AMF-AMEC 2021), 2021年07月, Thailand.
- Thanaree Treepetchkul, Natcha Kulmala, Kiyotaka Sasagawa, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Development of Two Excitation Light Rejection Using Hybrid Filter for Dual-color Fluorescence Lensless Imaging Device, The Asian Meeting on Ferroelectricity and The Asian Meeting on Electroceramics Joint Conference 2021 (AMF-AMEC 2021), 2021年07月, Thailand.
- Kenji Sugie, Kiyotaka Sasagawa, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Implantable CMOS Image Sensor with Neural Amplifier for Imaging and Electrophysiological Recording, 10th International IEEE EMBS Conference on Neural Engineering (NER'21), 2021年05月, Italy.
- Kyosuke Naganuma, Yasumi Ohta, Yoshinori Sunaga, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Yasemin M. Akay, Metin Akay, Jun Ohta: Nano-Pt Coating on Electrode Surface of a Multifunctional Neural Probe with a CMOS Image Sensor, 10th International IEEE EMBS Conference on Neural Engineering (NER'21), 2021年05月, Italy.
- Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Visualizing Electric Field patterns generated by Temporal Interference Stimulation of Retina: Measurements using a phantom eye, The Association for Research in Vision & Ophthalmology (ARVO) 2021 Annual Meeting, 2021年05月, San Francisco.
- Thanaree Treepetchkul, Natcha Kulmala, Kiyotaka Sasagawa, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Dual-color lensless fluorescence imaging setup by using a notch interference filter and absorption filters, OSA Biophotonics Congress: Optics in the Life Sciences, 2021年04月, online.

○ 大学・研究機関などの刊行誌 なし

○ 調査研究報告 なし

○ 国内学会での講演, 発表

- 内海 健: ミトコンドリア-リソソーム機能連関と疾患, 日本ミトコンドリア学会, 2021年12月, 東京 学習院大学.
- 八木美佳子, 内海 健, 康東天: ミトコンドリアとリソソームの新分子機序, 第61回日本臨床化学学会年次学術集会, 2021年11月, 福岡国際会議場.

- 都由羅、内海 健、八木美佳子、平井遥、瀬戸山大樹、康東天:ミトコンドリアトランスポーター ABCB10 の心筋における機能解析, 第 61 回日本臨床化学会年次学術集会, 2021 年 11 月, 福岡国際会議場.
- 平井遥、内海 健、八木美佳子、都由羅、瀬戸山大樹、康東天:拡張型心筋症モデルマウスにおけるミトコンドリアとリソソームの関係, 第 61 回日本臨床化学会年次学術集会, 2021 年 11 月, 福岡国際会議場.
- 重藤寛史: 教育コース(EC-11) てんかん・意識障害の診かた〜デジタル脳波を使いこなそう! 「神経疾患のデジタル脳波判読アラカルト」, 第 62 回 日本神経学会学術大会, 2021 年 06 月, 国立京都国際会館 WEB.
- 萩原綱一、重藤寛史、赤松直樹、大原信司: Stereo-EEG guided thermocoagulation, 第 62 回 日本神経学会, 2021 年 05 月, 国立京都国際会館.
- Khine Mya Nwe, Mya Myat Ngwe Tun, Daisuke Mori, Shahnaz Irwani BintiSabri, Omar Kwang Kugan, Jecelyn Leaslie John, Aung Min Soe, Shingo Inoue, Kamruddin Ahmed, Kouichi Morita: Serological evidence of Zika virus infection in febrile patients and healthy blood donors in Sabah, Malaysian Borneo,2017-2018, 第 62 回日本熱帯医学会大会, 2021 年 11 月, online.
- Honghao Tang, Ze Wang, Noriaki Kishida, Yusuke Horiki, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Spectrum reconstruction in the Near-infrared fundus camera using a multi-channel bandpass filter, 第 69 回応用物理学会春季講演会, 2022 年 03 月, online.
- 杉江 謙治、笹川 清隆、岡田 竜馬、竹原 浩成、春田 牧人、田代 洋行、太田 淳: イメージングおよび細胞外電位同時計測機能を有する生体埋植マルチモーダルセンサ, 第 69 回応用物理学会春季講演会, 2022 年 03 月, online.
- Natcha Kulmala, Thanaree Treepetchkul, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Lensless dual-color fluorescent imaging device with hybrid filter for cell imaging, 第 69 回応用物理学会春季講演会, 2022 年 03 月, online.
- 萩原 隆仁、萩田 瑞生、潘 愷鶴、春田 牧人、高野 拓郎、寺澤 靖雄、竹原 浩成、田代 洋行、笹川 清隆、太田 淳: 人工視覚用 CMOS スマート電極を用いたフレキシブルアレイデバイスの作製プロセス, 第 69 回応用物理学会春季講演会, 2022 年 03 月, online.
- Nicha Sato, Yasumi Ohta, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Oratai Jongprateep, Jun Ohta: Nanoparticulate modified microelectrode for acetylcholine detection by fast-scan cyclic voltammetry, 第 69 回応用物理学会春季講演会, 2022 年 03 月, online.
- Thanet Pakpuwadon, Mark Christian Guinto, 春田 牧人、竹原 浩成、田代 洋行、笹川 清隆、太田 淳: Linearity Improvement of Self-reset CMOS Image Sensor with High Signal-to-noise Ratio, 令和4年電気学会全国大会, 2022 年 03 月, online.
- Thanaree Treepetchkul, Ronnakorn Siwadamrongpong, 春田 牧人、竹原 浩成、田代 洋行、笹川 清隆、太田 淳: A wireless system integrated with CMOS lensless imaging device for fluorescence observation, 令和4年電気学会全国大会, 2022 年 03 月, online.

- 潘 愷鶴、萩田 瑞生、萩原 隆仁、春田 牧人、高野 拓郎、寺澤 靖雄、竹原 浩成、田代 洋行、笹川 清隆、太田 淳：人工視覚用フレキシブル CMOS スマート電極アレイのための薄膜基板の開発，令和4年電気学会全国大会，2022年03月，online.
- 長沼 京介、太田 安美、邑上 貴明、岡田 竜馬、竹原 浩成、春田 牧人、田代 洋行、笹川 清隆、太田 淳：脳深部神経活動を電氣的・光学的に計測可能な多機能埋植型デバイスの開発，令和4年電気学会全国大会，2022年03月，online.
- 岡田 竜馬、笹川 清隆、春田 牧人、竹原 浩成、田代 洋行、太田 淳：高感度偏光変調イメージングデバイスによる電界分布計測，2022年電子情報通信学会総合大会，2022年03月，online.
- 中西 優輝、塩谷 涼太、森 康登、鐘堂 健三、寺澤 靖雄、竹原 浩成、春田 牧人、田代 洋行、笹川 清隆、太田 淳：高頻度刺激に対応する AC 駆動人工視覚チップの設計，電子情報通信学会 関西支部学生会 第26回学生会研究発表講演会，2022年03月，オンライン.
- 佐々木海吏、田代 洋行、野村 修平：神経細胞に光応答性を付与する Photoactive molecule (BENAQ) の精製純度の検討，2022年日本生体医工学会九州支部学術講演会，2022年03月，online.
- 野村 修平、田代 洋行、寺澤 靖雄、中野 由香梨、太田 淳：金属製埋植電極に必要な諸特性—人工感覚器への応用を中心に，2022年日本生体医工学会九州支部学術講演会，2022年03月，online.
- 岡田 竜馬、笹川 清隆、春田 牧人、竹原 浩成、田代洋行、太田 淳：電界イメージングに向けた多層偏光子構造による高感度偏光変調検出 CMOS イメージセンサ，映像情報メディア学会 2021年冬季大会，2021年12月，online.
- 岸田 憲明、王 澤、湯 鴻浩、堀木 雄介、竹原 浩成、田代 洋行、春田 牧人、笹川 清隆、太田 淳：単板イメージセンサを用いた近赤外カラー眼底カメラにおける画像処理改善および視線固定法の検討，映像情報メディア学会 2021年冬季大会，2021年12月，online.
- Pakpuwadon Thanet, Mark Christian Guinto, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: A self-reset CMOS image sensor for high signal-to-noise in-vivo imaging, IEEE Electron Devices Society 第21回関西コロキウム電子デバイスワークショップ，2021年09月，online.
- 竹原 浩成、山根 宏大、王 澤、湯 鴻浩、杉江 謙治、岸田 憲明、田代 洋行、春田 牧人、笹川 清隆、國定 照房、太田 淳：超広角近赤外カラー化眼底カメラの開発，第82回応用物理学会秋季学術講演会，2021年09月，オンライン.
- Nicha Sato, Yasumi Ohta, Hironari Tekehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Oratai Jongprateep, Jun Ohta: Electrochemical activities of Fe₂O₃ modified microelectrode for dopamine detection using fast-scan cyclic voltammetry, 第82回応用物理学会秋季学術講演会，2021年09月，オンライン.
- 邑上 貴秋、太田 安美、須永 圭紀、河原 麻美子、竹原 浩成、春田 牧人、田代 洋行、笹川 清隆、太田 淳：薬物・光刺激によるドーパミン放出のマイクロダイアリス計測と埋植型イメージングデバイスによる神経活動蛍光計測，第82回応用物理学会秋季学術講演会，2021年09月，オンライン.

- 塩谷 涼太、森 康登、鐘堂 健三、寺澤 靖雄、竹原 浩成、春田 牧人、田代 洋行、笹川 清隆、太田 淳：人工視覚システムの高速度化に向けた制御回路の設計，第 82 回応用物理学会秋季学術講演会，2021 年 09 月，オンライン。
- 萩田 瑞生、Tso Kuang-Chih、春田 牧人、高野 拓郎、寺澤 靖雄、竹原 浩成、田代 洋行、笹川 清隆、太田 淳：人工視覚用 CMOS スマート電極搭載フレキシブルアレイデバイスの開発，第 82 回応用物理学会秋季学術講演会，2021 年 09 月，オンライン。
- 森 康登、Siwadamrongpong Ronnakorn、鐘堂 健三、寺澤 靖雄、竹原 浩成、春田 牧人、田代 洋行、笹川 清隆、太田 淳：人工視覚用生体埋植デバイスにおける慢性刺激可能な CMOS 制御チップの設計，LSI とシステムとワークショップ 2021，2021 年 05 月，オンライン。
- Hiroshi Shigeto: Newly diagnosed epilepsy, 13th Asia Oceania Epilepsy Conference, 2021 年 06 月，オンライン。
- Toshiki Okadome, Taira Uehara, Takahiko Mukaino, Jun Yokoyama, Nobutaka Mukae, Hiroshi Shigeto, Jun-ichi Kira: Interictal epileptic discharges affect functional brain networks: Co-activation pattern analysis of intracranial EEG, 13th Asia Oceania Epilepsy Conference, 2021 年 06 月，オンライン。
- 向野隆彦、山口高弘、岡留俊樹、渡邊恵利子、酒田あゆみ、小原知之、重藤寛史、磯部紀子：一過性の意識消失後に遷延する意識変容を呈し脳波で特異的な所見を呈した若年アルツハイマー型認知症の一例，第 16 回 日本てんかん学会九州地方会，2021 年 07 月，オンライン。
- 要名本あゆみ、迎 伸孝、下川能史、森岡隆人、重藤寛史、向野隆彦、岡留敏樹、山口高弘、酒田あゆみ、渡邊恵利子、松尾和幸、溝口昌弘：SEEG による焦点検索を経て肥大補足運動野に焦点を同定し、焦点切除により良好な転機を得た薬剤抵抗性てんかんの一例，第 16 回 日本てんかん学会九州地方会，2021 年 07 月，オンライン。
- 重藤寛史：脳波ハンズオン，日本臨床神経生理学会 第 7 回脳波セミナー・アドバンスコース，2021 年 09 月，オンライン。
- 下川 能史、迎 伸孝、森岡 隆人、重藤 寛史、酒田 あゆみ、渡邊 恵利子、溝口 昌弘：下顎・オトガイ電極を用いた側頭葉内側部由来てんかん性放電の検出：頭蓋内外脳波同時記録による検証，第 54 回日本てんかん学会学術集会，2021 年 09 月，オンライン。
- 迎 伸孝、空閑太亮、村上大輔、小宗徳孝、下川 能史、酒田 あゆみ、重藤 寛史、岩城 徹、森岡 隆人、溝口 昌弘：蝶形骨洞側窩髄膜脳瘤に伴う側頭葉てんかんに対し経鼻内視鏡下切除を行った一例，第 54 回日本てんかん学会学術集会，2021 年 09 月，オンライン。
- 下川能史、迎 伸孝、森岡隆人、重藤寛史、酒田あゆみ、渡邊恵利子、松尾和幸、吉本幸司：下顎・オトガイ電極を用いた側頭葉内側部由来てんかん性放電の検出：頭蓋内外脳波同時記録による検証，第 45 回 日本てんかん外科学会，2022 年 01 月，オンライン。

○ 学会以外での講演，発表

- 重藤寛史：長時間ビデオ脳波モニタリングの様々な側面について 第 22 回沖縄てんかん研究会，2021 年 06 月，オンライン。
- 重藤寛史：ビデオ症例で学ぶてんかん発作 1 「部分発作」 第 9 回サマーてんかんセミナー，2021 年 06 月，オンライン。

- 重藤寛史: てんかんを診断するための基礎知識 九州さくらてんかんセミナー 2021, 2021年07月, オンライン.
- 重藤寛史: てんかん診療に役立つ脳波の知識 山口県てんかん脳波セミナー, 2021年11月, オンライン.
- 重藤寛史: 「女性とてんかん(周産期治療も含めて)」第28回周産期医療薬物療法研修会～福岡県病院薬剤師会 WEB 研修会 2022～, 2022年02月, オンライン.
- 重藤寛史: 神経内科領域で活かせる脳波検査 Neurologist step up WEB seminar, 2022年03月, オンライン.
- Hiroshi Shigeto: Optimal approach to insomnia in elderly epilepsy patients, Sleep and Epilepsy in the elderly FYCOMPA VALUE WEBINAR SERIES, 2022年03月, オンライン.

著作

1. 単行本

- 重藤寛史: てんかんをめぐるアート「第13回 AOEC てんかんをめぐるアート展」より, Epilepsy 15(2): 4-5, 2021年12月, メディカルレビュー社.
- 重藤寛史: 脳波・誘発電位検査ポケットマニュアル脳波検査の基礎, pp36-50, 2021年08月, 医歯薬出版.
- 酒田あゆみ, 重藤寛史: COVID19 禍での脳波検査の実際, Epilepsy 15(2): 4-5, 2021年06月, メディカルレビュー社.
- 田代 洋行: 生体医工学ウェブ辞典 “人工網膜”, 2021年05月, 日本生体医工学会.

2. 総説

- 八木美佳子, 内海健, 康東天: ミトコンドリア病モデルマウスの組織別病態解析とメカニズム解析, ミトコンドリアダイナミクス 機能研究から疾患・老化まで, 2021年10月, エヌ・ティー・エス.

3. 解説, 書評など

- 萩原 綱一, 大原 信司, 三好 絢子, 鎌田 崇嗣, 田中 秀明, 重藤 寛史, 赤松 直樹: 頭蓋内電極留置の仮説構築のワークショップ: エキスパートに学ぶ, SEEG が分かる 島葉起源の鑑別を要する症例における SEEG の実際, 臨床神経生理学, 2021年10月.
- 渡邊 恵利子, 酒田 あゆみ, 迎 伸孝, 森岡 隆人, 重藤 寛史, 上原 平, 堀田 多恵子, 康東天: 頭蓋内外同時記録で見る 14&6Hz 陽性棘波, 日本医学検査学会抄録集, 2021年05月.
- 下川 能史, 迎 伸孝, 森岡 隆人, 重藤 寛史, 酒田 あゆみ, 渡邊 恵利子, 松尾 和幸, 溝口 昌弘, 吉本 幸司: 頭皮上脳波における律動性デルタ活動の生理学的意義 頭蓋内外脳波同時記録による検証, 臨床神経生理学, 2021年10月.
- 迎 伸孝, 空閑 太亮, 村上 大輔, 小宗 徳孝, 下川 能史, 酒田 あゆみ, 重藤 寛史, 岩城 徹, 森岡 隆人, 溝口 昌弘: 蝶形骨洞側窩髄膜脳瘤に伴う側頭葉てんかんに対し経鼻内視鏡下切除を行った1症例, てんかん研究, 2021年07月.

- 重藤 寛史：臨床医が脳波検査技師に求める実践的知識，日本医学検査学会抄録集，2021年05月．
- 重藤 寛史：脳神経内科領域における clinical tools および research topics としての脳波・長時間ビデオ脳波モニタリング，臨床神経生理学，2021年06月．
- 岡留 敏樹、上原 平、山口 高弘、横山 淳、向野 隆彦、迎 伸孝、重藤 寛史、山崎 亮：発作間欠期てんかん性放電が機能的ネットワークに及ぼす影響，臨床神経学，2021年09月．
- 山田 絵美、梁井 一樹、重藤 寛史、太田 真理：単語の意味予測において注意が $\alpha \cdot \beta$ 振動を変調する脳磁図による検討，臨床神経生理学，2021年10月．
- 下川 能史、迎 伸孝、森岡 隆人、重藤 寛史、酒田 あゆみ、渡邊 恵利子、溝口 昌弘：下顎・オトガイ電極を用いた側頭葉内側部由来てんかん性放電の検出 頭蓋内外脳波同時記録による検証，てんかん研究，2021年07月．
- 酒田 あゆみ、重藤 寛史：COVID-19 禍での脳波検査の実際：てんかん臨床の窓から，Epilepsy：てんかんの総合学術誌 / 「Epilepsy」編集委員会 編，2021年05月．

受賞 なし

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 田代，次世代人工視覚の研究，(株)ニデック，2021年04月～2022年03月．
- 田代，神経刺激方法の研究開発，帝京大学，2018年08月～2023年03月．

2. 受託研究 なし

3. 取得特許

- 微弱偏光変化分布撮像装置および微弱偏光変化分布撮像方法，笹川 清隆、岡田 竜馬、春田 牧人、竹原 浩成、田代 洋行、太田 淳，2020-20370．

4. 兼業

田代，二プロ(株) 新規事業本部 技術顧問．

5. 特記すべきその他の技術相談

田代，九州大学研究開発コンサルティング「疾病における電気治療機の可能性について」，日商平野，2021年2月～2022年1月

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし

2. 外国人研究者の受入れ
 - 訪問教授・研究員 なし
 - 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 田代, 観察研究倫理審査委員会.
- 田代, 臨床研究倫理審査委員会.
- 田代, 支線 LAN 管理者.

2. 部局委員

- 内海, 特定認定再生医療等委員会.
- 重藤, 入試委員.

3. 部門・コース内委員

- 内海, IRB 委員会.
- 重藤, 教務委員長.
- 小島, 地域国際連携・FD 委員会.
- 森, 広報委員.
- 田代, 年報委員.
- 田代, KITE 連絡員.
- 安田, 学生支援委員会.
- 安田, 学生委員会.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 小島, 博多メディカル専門学校・臨床工学士科, 非常勤講師.
- 森, 大分大学医学部微生物学講座 客員研究員.
- 田代, 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 物質創成科学領域・准教授(客員).

2. 学協会

- 重藤, 日本てんかん学会, 理事, 指導医, 評議員, 国内.
- 重藤, 日本神経学会専門医, 指導医, 代議員, 国内.
- 重藤, 日本臨床神経生理学会, 代議員.
- 重藤, Epilepsy & Seizure, 編集委員, 国際.

- 重藤, てんかん研究, 編集委員委員長, 国内.
- 内海, 日本臨床検査医学学会, 評議員.
- 内海, 日本医療検査科学会, 評議員, 監事.
- 内海, 日本臨床化学会, 評議員.
- 内海, 日本分子標的学会, 評議員.
- 内海, 日本ミトコンドリア学会, 評議員.
- 内海, 日本臨床科学会, 酵素試薬委員会, 委員長.
- 内海, 日本臨床検査医学会, 項目コード委員会, 委員長.
- 小島, 日本臨床寄生虫学会, 評議員, 国内.
- 小島, 日本寄生虫学会, 評議員, 国内.
- 小島, 日本寄生虫学会南日本支部, 評議員, 国内.
- 森, 九州免疫血清研究会, その他(世話人), 国内.
- 森, 特定非営利活動法人 生物試料分析科学会, 評議員, 国内.
- 田代, 日本生体医工学会九州支部, 評議員, 国内.

3. 官界

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 小島, 「熊本大学主催フロー型アニサキス殺虫装置の開発会議にて講師として講演テーマ: 見て、聞いて、知ってアニサキスという生物」.

5. 公開講座・公開講演会

- 重藤寛史: てんかんの治療1 薬物療法 第44回 日本てんかん協会全国大会 てんかん基礎講座 2021年07-08月, オンデマンド.

6. 初等中等教育への貢献 なし

検査技術科学分野

《病態情報学》

| | |
|----|--------|
| 教授 | 勝田 仁 |
| 教授 | 水野 晋一 |
| 講師 | 外園 栄作 |
| 講師 | 栗崎 宏憲 |
| 講師 | 渡邊 壽美子 |
| 助教 | 八木 美佳子 |
| 助教 | 塩津 弘倫 |
| 助教 | 木村 朋子 |

1. 教育活動

1. 大学院講義

| | | |
|--|----|----|
| Health Science | 勝田 | 前期 |
| 病態情報解析学 I | 勝田 | 前期 |
| ヘルスサイエンス論 | 勝田 | 前期 |
| International Society and Multidisciplinary Care | 水野 | 前期 |
| 国際社会とチーム医療 | 水野 | 前期 |
| 病態情報解析学 I | 水野 | 前期 |
| 病態情報解析検査学 | 渡邊 | 後期 |

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

| | | |
|-------------|----|----|
| 分子情報解析検査学演習 | 勝田 | 前期 |
| 病態情報機能検査学演習 | 勝田 | 前期 |
| 検査技術科学特別研究 | 勝田 | 通年 |
| 保健学特別研究 | 勝田 | 通年 |
| 国際プレゼンテーション | 勝田 | 通年 |
| 病態情報解析検査学演習 | 水野 | 前期 |
| 国際プレゼンテーション | 水野 | 通年 |
| 保健学特別研究 | 水野 | 通年 |
| 検査技術科学特別研究 | 水野 | 通年 |
| 検査技術科学特別研究 | 外園 | 通年 |

4. 大学院修士課程修了者

| | |
|-------|---|
| 近縄 七海 | AR42J 細胞のインスリン産生細胞への分化過程における転写因子発現解析 |
| 猪俣 朋花 | AR42J 細胞のインスリン産生細胞への分化過程における山中 4 因子の遺伝子発現解析 |

| | |
|--------|---|
| 金城 明香理 | AR42J 細胞を使用したウシ胎児血清における膵 β 細胞の分化誘導因子の探索 |
| 甲斐 陽代里 | クローン造血マウスのゲノム編集による作成および免疫学的評価 |
| 林 麟太郎 | 尿中 THP 測定法の開発とその臨床的有用性の検証 |
| 田中 琢郎 | 飲酒マーカーの測定法に関する検討 |
| 中島 海 | 二核細胞とグルコースの関連性 |
| 甲斐 友基 | ディープニューラルネットワークを用いた子宮内膜細胞の二値分類と CAM による判断根拠の可視化 |

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

| | | |
|----------------|----|-----|
| 人体の構造と機能Ⅱ | 勝田 | 前期 |
| 遺伝子・細胞工学 | 勝田 | 春学期 |
| 臨床検査医学総論 | 勝田 | 夏学期 |
| 臨床検査学概論Ⅰ | 勝田 | 春学期 |
| 医用工学・情報概論 | 水野 | 前期 |
| 人体の構造と機能Ⅰ | 水野 | 前期 |
| 臨床検査学概論Ⅰ | 水野 | 春学期 |
| 血液検査学 | 水野 | 後期 |
| 生化学 | 外園 | 春学期 |
| 生化検査学 | 外園 | 夏学期 |
| 臨床検査統計学および演習 | 外園 | 秋学期 |
| 生物化学分析学特論 | 外園 | 後期 |
| 病原体学 | 栗崎 | 前期 |
| 臨床免疫学および実習 | 栗崎 | 後期 |
| 臨床検査学概論Ⅱ | 栗崎 | 秋学期 |
| 輸血検査学 | 栗崎 | 冬学期 |
| 組織・病理検査学および実習Ⅱ | 渡邊 | 前期 |
| 病理学 | 渡邊 | 秋学期 |
| 病理検査学概論 | 渡邊 | 冬学期 |
| 臨床検査学概論Ⅰ | 八木 | 春学期 |
| 生理機能検査学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ | 塩津 | 前期 |
| 臨床検査学概論Ⅰ | 木村 | 春学期 |

7. 学部の実験・実習・演習

| | | |
|----------------|----|-----|
| 遺伝子検査学実験 | 勝田 | 夏学期 |
| 血液検査学実習 | 水野 | 後期 |
| 検査基礎技術 | 外園 | 前期 |
| 生化学・臨床化学実習 | 外園 | 後期 |
| 生物化学分析学特論 | 外園 | 後期 |
| 臨床検査統計学および演習 | 外園 | 秋学期 |
| 臨床免疫学および実習 | 栗崎 | 後期 |
| 組織・病理検査学および実習Ⅱ | 渡邊 | 前期 |

| | | |
|-------------------|----|-----|
| 組織・病理検査学および実習 I | 渡邊 | 後期 |
| 組織・病理検査学および実習 III | 渡邊 | 後期 |
| 生理機能検査学実習 | 塩津 | 後期 |
| 遺伝子検査学実験 | 八木 | 夏学期 |
| 生化学・臨床化学実習 | 八木 | 後期 |
| 臨床免疫学および実習 | 八木 | 後期 |
| 生体情報計測学実験 | 八木 | 秋学期 |
| 検査基礎技術 | 木村 | 前期 |
| 臨床微生物学および実習 | 木村 | 前期 |
| 血液検査学実習 | 木村 | 後期 |

8. 卒業論文作成者

| | |
|--------|--|
| 山口 達也 | AR42J 細胞のインスリン産生細胞への分化過程におけるプロテインキナーゼ N の遺伝子発現解析 |
| 榎井 あいり | AR42J 細胞のインスリン産生細胞への分化過程における PTHrP 遺伝子の発現解析 |
| 原田 樹 | AR42J 細胞のインスリン産生細胞への分化過程における β -チューブリン遺伝子の発現解析 |
| 中原 萌衣 | AR42J 細胞のインスリン産生細胞への分化過程における Carboxypeptidase E の発現解析 |
| 辻脇 柚香 | グルコース応答性インスリン分泌に関与する Cacnb3 の AR42J 細胞の分化誘導における遺伝子発現 |
| 高木 遥 | ニューラルネットワークによる画像認識プロセスにおけるフィルター生成機構の基礎的検討 |
| 溝上 優日 | AI (artificial intelligence) の画像認識における転移学習の基礎的検討 |
| 前田 英俊 | 画像認識における畳み込みニューラルネットワークのハイパーパラメーターの基礎的検討 |
| 牛島 陸 | 画像認識におけるニューラルネットワークモデルの比較検討 |
| 加崎 諒 | 画像認識における LSTM (Long short-term memory) ニューラルネットワーク応用の基礎的検討 |
| 細原 彩加 | 免疫比濁法の高濃度域における直線性改善の試み |
| 深川 結妃 | 抗原抗体反応と酵素法を用いたホモジニアスによる高感度検出技術に関する検討 |
| 神崎 祐季亜 | CRISPR-Cas9 システムを用いた AIRE 遺伝子ノックアウトの試み |
| 三宅 佑奈 | 末梢血単核細胞 (PBMC) におけるインターカレーション法を用いた AIRE 遺伝子定量条件の検討 |
| 上村 千花 | 核形態と FBS 非働化の有無および pRb 核内発現に関する研究: RT4 細胞を使用して |
| 下東 莉子 | Fetal Bovine Serum (FBS) の非働化に関する形態学的研究: T24 細胞を使用して |
| 内田 照健 | miRNA が関与する心臓繊維化メカニズムの解析 |
| 濱野 佑 | AXL 阻害剤処理した白血病細胞株における最適な内在性コントロールの選択 |

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

| | | |
|----|---|----|
| 1 | 膵島再生機構の解明と糖尿病再生医療の確立 | 勝田 |
| 2 | 九州大学病院検査データを用いた新たな糖尿病病態分類の確立 | 勝田 |
| 3 | ゲノム編集技術の基礎研究 | 水野 |
| 4 | 血液疾患診断への遺伝子解析の応用 | 水野 |
| 5 | 腫瘍免疫の誘導法および検査技術の開発 | 水野 |
| 6 | 生体試料, 特に非侵襲的に採取可能な尿を用いた新しい検査・診断法の開発 | 外園 |
| 7 | 生体試料中の酸化・還元成分が生体に及ぼす影響についての研究 | 外園 |
| 8 | 自己免疫調節遺伝子(AIRE)の機能解析 | 栗崎 |
| 9 | Deep Learning を活用した細胞診断支援システムの開発 | 渡邊 |
| 10 | 膀胱癌の診断と膀胱注入療法的作用機序解明 | 渡邊 |
| 11 | 癌細胞における細胞形態学 | 渡邊 |
| 12 | MicroRNA を用いた新規臨床検査法の開発 | 塩津 |
| 13 | 呼気凝縮液における気道炎症状態の評価法の確立 | 木村 |
| 14 | 骨髓異形成症候群細胞株 MDS-L を用いた in vitro における新規薬剤の抗腫瘍効果の検討 | 木村 |
| 15 | 概日リズム制御分子を標的とした新規白血病治療薬の開発 | 木村 |
| 16 | 老化に伴い発症するミトコンドリア関連性疾患の機能解析と予防治療 | 八木 |

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」クローン造血(CH)環境の腫瘍発生・進展への機序および CH 環境の免疫学的制御, 水野(代表), 1800 千円.
- 「基盤研究(C)」金属キレータを用いた核酸増幅量の高感度検出技術の開発とその実用可能性の検証, 外園(代表), 1300 千円.
- 「基盤研究(B)」慢性疼痛難治例の症例対照研究: 中枢性感作に関する愛着・認知・情動とバイオマーカー, 外園(分担), 324 千円.
- 「基盤研究(C)」生体試料中の酸化・還元物質の影響を受けない超高感度検出法の開発とその発展性の検証, 外園(代表), 1000 千円.
- 「基盤研究(C)」老化に伴い発症するミトコンドリア関連性疾患の機能解析と予防治療, 八木(代表), 1200 千円.
- 「若手研究」血小板由来マイクロパーティクルの基礎的性状の解明と生体内の役割に関する研究, 塩津(代表), 800 千円.
- 「若手研究」AXL 活性の制御による骨髓異形成症候群の病態解明及び新たな治療戦略, 木村(代表), 1200 千円.

- 「若手研究」概日リズム制御分子を標的とした新規白血病治療薬の開発，木村(代表)，310 千円.

3. 学内研究経費の受入れ

- 「令和3年度 研究補助者雇用支援(短期)(秋)」造血器腫瘍細胞株における AXL 阻害剤の効果，木村(代表)，410 千円.
- 「令和3年度 研究補助者雇用支援(短期)(春)」造血器腫瘍細胞株における AXL 阻害剤の効果，木村(代表)，369 千円.

4. 奨学寄付金の受入れ なし

5. その他の外部研究資金の受入れ なし

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

○ 学会誌・学術専門誌

- Shinichi Mizuno, Rui Yamaguchi, Takanori Hasegawa, Shuto Hayashi, Masashi Fujita, Fan Zhang, Youngil Koh, Su Yeon Lee, Sung Soo Yoon, Eigo Shimizu, Mitsuhiro Komura, Akihiro Fujimoto, Momoko Nagai, Mamoru Kato, Han Liang, Satoru Miyano, Zemin Zhang, Hidewaki Nakagawa, Seiya Imoto: Immunogenomic pan-cancer landscape reveals immune escape mechanisms and immunoediting histories, Scientific reports, 1, 11, 15713, 2021 年 08 月. (査読あり)
- Ikumi Yamanaka, Takuji Yamauchi, Tomoko Henzan, Teppei Sakoda, Kyoko Miyamoto, Hiroyuki Mishima, Hiroaki Ono, Yuhki Koga, Yasuhiro Nakashima, Koji Kato, Toshihiro Miyamoto, Shinichi Mizuno, Yoshihiro Ogawa, Shouichi Ohga, Koichi Akashi, Takahiro Maeda, Yuya Kunisaki: Optimization of lymphapheresis for manufacturing autologous CAR-T cells, International Journal of Hematology, 114, 4, 449 – 458, 2021 年 07 月. (査読あり)
- Eisaku Hokazono, Eri Ota, Taiki Goto, Saori Fukumoto, Yuzo Kayamori, Takeshi Uchiumi, Susumu Osawa: Development of a protein assay with copper chelator chromeazurol B based on the biuret reaction, Analytical Biochemistry, 630, 114320, 2021 年 10 月. (査読あり)
- 河野 弥季、石田 綾乃、外園 栄作、大澤 進: 赤血球中の phospholipase-D 活性測定法の構築, 医学検査, 70, 2, 198 – 204, 2021 年 04 月. (査読あり)
- Akimasa Urakami, Hidetaka Arimura, Yukihisa Takayama, Fumio Kinoshita, Kenta Ninomiya, Kenjiro Imada, Sumiko Watanabe, Akihiro Nishie, Yoshinao Oda, Kousei Ishigami: Stratification of prostate cancer patients into low- and high-grade groups using multiparametric magnetic resonance radiomics with dynamic contrast-enhanced image joint histograms, The Prostate, 82, 330-344, 2021 年 12 月. (査読あり)

- 渡邊壽美子、加来恒壽、西村和徳、植村瑞紀、上原俊貴、杉島節夫、加藤聖子、小田義直、岩坂剛：子宮頸部腺系病変における細胞像の数量的解析-AGC に注目して-，日本臨床細胞学会九州連合会雑誌，52，11-17，2021年10月。（査読あり）
- Mikako Yagi, Takahiro Toshima, Rie Amamoto, Yura Do, Haruka Hirai, Daiki Setoyama, Dongchon Kang, Takeshi Uchiyumi: Mitochondrial translation deficiency impairs NAD(+)-mediated lysosomal acidification, EMBO JOURNAL, 40, e105268, 2021年。（査読あり）
- Ryo Kiyokoba, Takeshi Uchiyumi, Mikako Yagi, Takahiro Toshima, Shigehiro Tsukahara, Yasuyuki Fujita, Kiyoko Kato, Dongchon Kang: Mitochondrial dysfunction-induced high hCG associated with development of fetal growth restriction and pre-eclampsia with fetal growth restriction, Scientific reports, 12, 4056, 2022年03月。（査読あり）
- 国際会議・国際学会などのプロシーディングス なし
- 大学・研究機関などの刊行誌 なし
- 調査研究報告 なし
- 国内学会での講演，発表
 - 福元沙織、内海 健、外園栄作：核酸増幅過程の副産物ピロリン酸の高感度検出技術に関する検討，第61回日本臨床化学会年次学術集会，2021年11月，福岡国際会議場。
 - 福元沙織、内海 健、外園栄作：Br-PAPSを用いた過酸化水素高感度検出における基礎的検討，第61回日本臨床化学会年次学術集会，2021年11月，福岡国際会議場。
 - 林 麟太郎、内海健、外園栄作：マイクロプレートを用いた Tamm-Horsfall Protein 測定法に関する検討-尿中細菌が分析に与える影響について-，第53回日本医療検査化学会，2021年10月，パシフィコ横浜。
 - 塩津 弘倫、神力悟、松井啓隆：マイクロパーティクルを介した血管内皮障害の機序解明と動脈硬化性疾患リスクマーカーの探索，第68回日本臨床検査医学会学術集会，2021年11月，富山国際会議場。
 - 木村 朋子、林 麟太郎、平井 遥、龍 美玖璃、安田 洋子、三浦 浩一、内海 健：Antitumor effects of AXL inhibitor (TP-0903) on a MDS-derived cell line，第83回日本血液学会，2021年09月，WEB開催。
 - 木村 朋子、平井 遥、林 麟太郎、内海 健：AXL 阻害剤の骨髓異形成症候群細胞株における抗腫瘍効果，第22回日本検査血液学会，2021年09月，WEB開催。
 - 八木美佳子、内海 健、康東天：ミトコンドリアとリソソームの新分子機序，第61回日本臨床化学会年次学術集会，2021年11月，福岡国際会議場。
- 学会以外での講演，発表 なし

著作

1. 単行本

- 青笹克之(監修)、金城満、亀井敏昭、樋口佳代子、山元英崇、濱川真治、河原明彦、植田政嗣、岩崎由恵、大石義丈、渡邊壽美子、森谷卓也、伊藤仁、廣川満良、樋口観世子、佐藤正和、畠栄、羽場礼次、柿沼廣邦、久山佳代、松本敬、加藤拓、廣岡保明、棚田諭、鍋島一樹、松本慎二、小田義直、古田則行、佐藤康晴、大澤久美子、堤寛、浅見英一、岩井幸子：(共著)細胞診鑑別アトラス，2021年06月，医歯薬出版.

2. 総説

- 水野晋一：急性骨髄性白血病のゲノム医療，血液内科，2021年08月，科学評論社.
- 八木美佳子、内海健、康東天：ミトコンドリア病モデルマウスの組織別病態解析とメカニズム解析，ミトコンドリアダイナミクス 機能研究から疾患・老化まで，2021年10月，エヌ・ティー・エス.

3. 解説，書評など

- 外園 栄作：謎解き臨床化学検査 ～わかりにくい言葉・あやふやな事を明確に！ 1. 各論 (3)分析関連 (8)過酸化水素・ペルオキシダーゼ法、(9)NAD/NADH による紫外外部吸収法，日本医療検査科学会会誌，2022年03月.
- 外園栄作：臨床化学の基礎をなす方法と原理・2定量分析法における終点分析と初速度分析法の違い，検査と技術，2021年07月.
- 山本慶和、村本良三、石嶺南生、清宮正徳、外園栄作、藤村善行、藤本一満、神山清志、山本裕之、和田哲、菊地良介、関田綱基、山口純也、末次茂雄、汐谷陽子、山下計太、白井秀明、佐藤正一、谷本和仁、柏木泰敏：いまさら聞けない臨床検査の「常識」 2. 検体不備のデータの特徴②全血放置，Medical Technology，2021年06月.

受賞 なし

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究 なし
2. 受託研究 なし
3. 取得特許 なし
4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし

2. 外国人研究者の受入れ

○ 訪問教授・研究員 なし

○ 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

○ 渡邊, 入学者選抜研究委員会委員.

2. 部局委員

○ 勝田, 医学研究院等動物実験委員会・委員.

○ 勝田, 医系地区部局ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会・委員.

○ 勝田, 九州大学病院糖尿病専門部会・委員.

○ 水野, 細胞免疫治療委員会、委員長.

3. 部門・コース内委員

○ 勝田, 施設・環境委員会・委員.

○ 勝田, 財務委員会・委員.

○ 勝田, 広報委員会・委員長.

○ 勝田, 大学院委員会・委員.

○ 勝田, 九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野・副分野長.

○ 水野, 大学院委員会・委員.

○ 水野, 学生委員会・副委員長.

○ 水野, 卒業研究委員.

○ 外園, 教務委員会委員.

○ 栗崎, 卒業研究委員.

○ 栗崎, 施設・環境委員.

- 塩津, 地域国際連携・FD 委員会.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 水野, 久留米大学医学部血液・腫瘍内科 客員教授.
- 外園, 博多学園高等学校(看護科および看護学専攻科), 非常勤講師.
- 外園, 久留米歯科衛生専門学校, 非常勤講師.
- 栗崎, 福岡県私設病院協会看護学校, 非常勤講師.
- 八木, 純真学園大学, 非常勤講師.

2. 学協会

- 勝田, 国立大学臨床検査技師教育協議会, その他(将来問題検討ワーキンググループ・委員), 国内.
- 勝田, 国立大学臨床検査技師教育協議会, その他(役員校任期等見直しワーキンググループ・委員), 国内.
- 勝田, 日本臨床検査学教育協議会, 評議員, 国内.
- 勝田, 日本糖尿病学会, 評議員, 国内.
- 水野, 日本血液疾患免疫療法学会, 評議員, 国内.
- 水野, 日本血液学会, 評議員, 国内.
- 外園, 日本医療検査科学会 編集委員会, その他(編集委員会 委員), 国内.
- 外園, 生物試料分析科学会, 理事, 国内.
- 外園, 日本医療検査科学会 科学技術委員会, 幹事(科学技術委員会委員), 国内.
- 外園, 生物試料分析科学会, 生物試料分析, 査読委員, 国内.
- 渡邊, 公益社団法人 日本臨床細胞学会, その他(査読委員), 国内.
- 渡邊, 公益社団法人 日本臨床細胞学会, 評議員, 国内.
- 渡邊, 日本臨床細胞学会九州連合会, その他(編集委員), 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会 なし

6. 初等中等教育への貢献 なし

4. 教員組織および委員会一覧

◆教員組織・委員会一覧

教員人員及び教員配置表

保健学部門

令和3年度

| 分野・領域 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | その他 |
|----------------|---|--|---|--|-----|
| 看護学 | | | | | |
| 統合基礎看護学 | 後藤 健一 寺岡 佐和 <small>令和3年4月1日昇任</small> 橋口 暢子 藤田 君支 | | 青本 さとみ 能登 裕子 松尾 和枝 松永 由理子 丸山 マサ美 | 相星 香 木原 深雪 酒井 久美子 田中 さとみ <small>令和3年4月1日採用</small> 道面 千恵子 中島 紀江 <small>令和3年5月1日採用</small> 藤田 香奈恵 松本 美晴 薬師寺 佳菜子 山口 優 <small>令和4年3月31日退職</small> | |
| 広域生涯看護学 | 鳩野 洋子 諸隈 誠一 | 植木 慎悟 <small>令和3年4月1日採用</small> 前野 有佳里 | 岩木 三保 <small>令和3年8月1日採用</small> 菊地 君与 末次 美子 宮田 潤子 | 藤田 貴子 佐藤 洋子 松藤 尋幹 <small>令和3年4月1日採用</small> 藤田 紋佳 <small>令和4年3月31日退職</small> 森口 晴美 <small>令和3年8月31日退職</small> 藤井 紗也 <small>令和3年5月1日採用</small> 木村 一絵 | |
| 医用量子線科学 | | | | | |
| 基礎放射線科学 | 有村 秀孝 藤淵 俊王 | 高橋 昭彦 納富 昭弘 | 近藤 雅敏 <small>令和4年2月1日採用</small> | 河窪 正照 | |
| 医用放射線科学 | 佐々木 雅之 杜下 淳次 藪内 英剛 | 井手口 忠光 佐々木 智成 <small>令和4年3月31日退職</small> | | 田中 延和 | |
| 検査技術科学 | | | | | |
| 生体情報学 | 内海 健 重藤 寛史 | | 田代 洋行 小島 夫美子 森 大輔 <small>令和3年4月1日採用</small> | 安田 洋子 | |
| 病態情報学 | 水野 晋一 勝田 仁 | | 外園 栄作 渡邊 壽美子 栗崎 宏憲 | 塩津 弘倫 木村 朋子 八木 美佳子 | |

| No. | 委員会 合併委員会 | 委員長 | 副委員長 | 1 総務委員会 部門長 委員長指名 【看】藤田君 | 2 将来計画、点検・評価委員会 年報委員会 部門長 委員長指名 【看】藤田君 | 3 人事委員会 教員活動評価委員会 部門長 委員長指名 【看】藤田君 | 4 財務委員会 部門長 施設・環境委員会 委員長 【看】嶋野 | 5 入学試験実施委員会 総務委員会 【放】杜下 総務委員会 【検】重藤 | 6 学生委員会 総務委員会 【看】後藤 総務委員会 【検】水野 |
|---------|--------------|---------|---------|--------------------------------------|---|---|---|--|--|
| 看護学 | 看護学 | 分野長 藤田君 | 分野長 藤田君 | 教授 (1) | 教授 (1) | 教授 (1) | 教授 (1) | 教授 (1) | 教授 (1) |
| | | | | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) |
| | | | | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) |
| 医用量子線科学 | 医用量子線科学 | 分野長 有村 | 分野長 有村 | 教授 (1) | 教授 (1) | 教授 (1) | 教授 (1) | 教授 (1) | 教授 (1) |
| | | | | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) |
| 検査技術科学 | 検査技術科学 | 分野長 内海 | 分野長 内海 | 教授 (1) | 教授 (1) | 教授 (1) | 教授 (1) | 教授 (1) | 教授 (1) |
| | | | | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) | 助教以上 (1) |
| 職指定の委員 | | | | 部門長 副部門長 各分野長 | (各分野長) 部門長 副部門長 各分野長 | (各分野長) 部門長 副部門長 各分野長 | (各分野長) 部門長 副部門長 各分野長 | (各分野長) 部門長 副部門長 各分野長 | (各分野長) 部門長 副部門長 各分野長 |

分野から選出する委員

| No. | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|--------------|-----------------------------------|----------------------|--|---|-----------------------------------|--|
| 委員会 合併委員会 | 教務委員会 | 大学院委員会 | 施設・環境委員会 KITE連絡員・支線LAN管理者 | 地域・国際連携推進委員会 FD実行委員会 | 広報委員会 | 放射線安全委員会 |
| 委員長 | 総務委員会で検討、部門会議で【検】重藤 | 前年度副委員長【看】橋口 | 部門長指名【看】嶋野 | 前年度副委員長【放】藪内 | 総務委員会で検討、部門会議で【検】勝田 | 医学研究院長 北園 |
| 副委員長 | 総務委員会で検討、部門会議で【放】藤洲 | 総務委員会で検討、部門会議で【看】寺岡 | 委員長指名【放】藪内 | 総務委員会で検討、部門会議で選出 | 委員会を選出【看】諸隈 | X線取扱主任者 納富(H26.4~) |
| 看護学 | 教授 (1) R3.4~ R5.3 寺岡 | 教授 (2) R3.4~ R5.3 寺岡 | 教授 (1) R3.4~ R5.3 嶋野 | 教授または准教授 (1) R3.4~ R5.3 後藤 | 教授または准教授 (1) R3.4~ R5.3 諸隈 前野有 | / |
| | 講師以上 (1) R2.4~ R4.3 松尾 | 教授 (2) R2.4~ R5.3 橋口 | 助教以上 (1) R2.4~ R4.3 藤田貴 | 助教または講師 (5) R3.4~ R5.3 植木 相星 松本 新任講師 菊地 | 助教または講師 (2) R3.4~ R5.3 田中 | |
| 医用量子線科学 | 教授 (1) R2.4~ R4.3 藤洲 ※新任者の兼任期間 | 教授 (2) R3.4~ R5.3 藪内 | 教授 (1) R3.4~ R5.3 藪内 | 教授または准教授 (1) R2.4~ R4.3 藪内 ※新任者の兼任期間 | 教授 (1) R3.4~ R5.3 佐々木(智) | 助教 R3.4~ R5.3 納富 |
| 検査技術科学 | 講師以上 (1) R3.4~ R5.3 井手口 | 教授 (2) R3.4~ R5.3 有村 | 助教以上 (1) R3.4~ R5.3 納富 | 助教または講師 (2) R3.4~ R5.3 河窪 佐々木(智) | 助教または講師 (1) R3.4~ R5.3 高橋 | 助教 R2.4~ R4.3 杜下、藤端、田中 |
| | 教授 (1) R2.4~ R4.3 重藤 | 教授 (2) R3.4~ R5.3 勝田 | 教授 (1) R3.4~ R5.3 勝田 | 教授または准教授 (1) R3.4~ R5.3 内海 | 教授 (1) R3.4~ R5.3 勝田 | / |
| 職指定の委員 | 講師以上 (1) R2.4~ R4.3 外園 | 教授 (2) R3.4~ R5.3 水野 | 助教以上 (1) R2.4~ R4.3 栗崎 | 助教または講師 (2) R2.4~ R4.3 小島 堀津 ※前任者の兼任期間 | 助教または講師 (1) R3.4~ R5.3 森 | 部門長 X線取扱主任者【納富(H26.4~)】 X線取扱副主任者【河窪】 事務部長 |
| | | | 支線LAN管理者 【保健学科本館】 【看護】藤田紋助教、山口助教 【基礎研究B棟】 【主】(放射)高橋准教授 【副】(検査)田代講師 【総合研究棟1-4F】 (検査)田代講師 | ※KNEEP(教育の質向上支援プログラム)の実施責任者:橋口教授 | | |

分野から選出する委員

※(部内)教務委員会委員長・副委員長が附属図書館医学図書館運営委員を兼ねる。

※(全学)教育企画委員会委員は、(部内)教務委員会委員長が就任する。

【令和3年度病院地区委員会】

| 番号 | 委員会名 | 役職指定等 | 現(R3)委員 | 任期 | 始期 | 終期 | 委員資格・条件等 | 備考 |
|-----|--|-----------------------------|---|----|---------|---------|---|--|
| 1 | アイソトープ総合センター 病院地区実験室運営委員会 | | 【放射】佐々木教授 | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 講師以上1名 | 医学研究院から5名 (内、保健学から1名) |
| 2 | アイソトープ総合センター 病院地区実験室放射線安全委員会 | | 【放射】納富准教授 | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 講師以上1名 | |
| 3 | アイソトープ総合センター 病院地区実験及び病院地区学生実習室放射線取扱副主任者 | | 【放射】藤淵 教授 | | | | | R1センターから委 嘱依頼有 選出の必要なし |
| 4 | 附属図書館医学図書館運営委員会 | 部門内教務委員会 委員長、副委員長 | 【検査】重藤教授 | 2年 | R3.4.1 | R4.3.31 | 教授2名 | [部門内]図書委員 会は教務委員会と統合 →教務委員会委員 長・副委員長が 兼ねる |
| | | | 【放射】藤淵教授 | | R3.4.1 | R4.3.31 | | |
| 5 | 医療系統合教育研究センター委員会 | | 副センター長 【検査】重藤教授 | 2年 | R3.4.1 | R5.3.31 | 保健学部門 教員から1名 | ※センター長は各 部局選出の副セン ター長4名から1名 が輪番で選出(原 則、副センター長 経験者から) ★センター長 H27-H28 歯 H29-H30 保 R1-R2 薬 R3-R4 医 ・副センター長 [部門内]教務委 員長 →実質的な任期は 1年 |
| | | | 【放射】 井手口准教授 | | R3.4.1 | R5.3.31 | 保健学部門 教員から1名 | |
| | | | 【看護】丸山講師 | | R2.4.1 | R4.3.31 | 保健学部門の 教員から1名 (医療系統合 教育研究セン ター兼任教 員) | |
| 6 | 医療系統合教育研究センター ICT活用教育推進専門部会 | | 【放射】高橋 准教授 | - | - | - | | H26.6～ |
| 7 | 病院地区協議会 | 【職指定】部門長 | 佐々木教授 (部門長) | - | - | - | 部門長 | 医学・歯学・薬学 研究院長、生体防 御医学研究所長、 病院長、保健学部 門長、医系学部等 事務部長、病院事 務部長、医療系統 合教育研究セン ター長及び(オブ ザーバーとして)副 病院長(歯科部 門) |
| | | 【職指定】 医療系統合教育 研究センター長 | (薬) | - | - | - | 医療系統合 教育研究セン ター長 | |
| 7-1 | 九州大学病院地区学生感染対策委員会 | | 【検査】水野 教授 | 2年 | H31.4.1 | R3.3.31 | 九州大学病院 地区学生感染 対策委員会内 規第3条1項「学 部(学科)、学 府の学生の教 育または感染 対策に責任を 持つ組織に所 属する教員のう ちから選出され た者 1名」 | |
| 8 | 九州大学医の倫理に関する協議会 | 【職指定】部門長 | 佐々木教授 (部門長) | - | - | - | 部門長 | 部局長・保健学 部門長・各倫理 審査委員会委員 長・人文・社会科 学の有識者・そ の他協議会が必 要と認められた者 |
| 9 | 総合研究棟管理運営委員会 | 【職指定】部門長 | 佐々木教授 (部門長) | 2年 | - | - | 部門長 | ※4号委員を兼ね る |
| 10 | 馬出地区職員等用駐車区域委員会 | | 【放射】 井手口准教授 (准教授以下) 【看護】鳩野教授 (教授) | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 教授1名、准 教授以下1名 | |

【令和3年度病院地区委員会】

| 番号 | 委員会名 | 役職指定等 | 現(R3)委員 | 任期 | 始 期 | 終 期 | 委員資格・条件等 | 備 考 |
|----|-------------------------------------|--|--|----|-----------------------------|----------|--|--|
| 11 | 病院サイクロロン運用・薬剤審査委員会 | | 【放射】 佐々木 教授 | 2年 | H29.10.1 | R1.9.30 | 病院地区所属保健学部門の教員1名 | 委嘱依頼あり 選出不要 |
| 12 | 病院放射性医薬品委員会 | | 【放射】 佐々木教授 | 2年 | H30.4.1 | R2.3.31 | 教員1名 | 委嘱依頼あり 選出不要 |
| 13 | 病院先進医療適応評価委員会 ※確認中 | | 【看護】青本講師 | 2年 | H31.4.1 | R3.3.31 | 保健学部門助教以上、女性教員 | |
| 14 | 医系地区部局臨床研究倫理審査委員会 | | ※講師以上 【検査】田代講師 | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 保健学部門講師以上2名 (1名は教授とする) | 委員会の構成上、 H29では女性委員の選出依頼あり。 |
| | | | ※教授 【放射】藪内教授 | | R3.4.1 | R5.3.31 | | |
| 15 | 医系地区部局ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会 | | 【検査】勝田教授 | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 保健学部門教授1名 (医学に関する専門家) | |
| 16 | 医学研究院情報公開委員会 | 【職指定】 教育研究評議員 | 佐々木教授 (部門長) | - | - | - | 教育研究評議員 | 年5回程度 |
| | | | (必要に応じて選出) | - | - | - | | |
| 17 | 医学研究院教員業績評価専門部会 | 部門長 各分野長 | 部門長 各分野長 | - | - | - | 部門長 各分野長 | 申し合わせでは部門長から指名された分野長1名となっているが、実質的に各分野長が行っている |
| 18 | 基礎研究B棟管理運営委員会 | 【職指定】 ①部門長 ②当該年度施設・環境委員長 ③前年度施設・環境委員長 | | - | - | - | ※部門長、当該年度及び前年度の〔部門内〕施設・環境委員長が兼ねる→実質的な任期は2年 | 基礎B棟の改修及び改修後の利用計画等について |
| 19 | 病院運営会議 オブザーバー委員 | | 【看護】樗木教授 | 2年 | | H31.3.31 | 保健学部門臨床系教授1名 | 毎月1回開催 |
| 20 | 安全・衛生委員会 | | 【検査】内海教授 | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | | 申し出がないかぎり再任 毎月1回開催 |
| | | | 【看護】木原助教 | | R2.4.1 | R4.3.31 | | |
| 21 | 海外交流センター運営委員会委員 | | 【看護】橋口 教授 | 2年 | H29.4.1 | H31.3.31 | | 再任可 |
| 22 | 九州大学病院特定認定再生医療等委員会 | 委員会より指名 | 【看護】樗木教授 (副委員長) | 2年 | | | 委員会から指名(保から選出手続き不) | 再任可 |
| 23 | KITE連絡員 ※令和3年4月以降、施設・環境委員会で決定する。 | | 【看護】藤田紋助教 山口助教 【放射】納富准教授 【検査】田代講師 | - | R2.4 H22.4.1 H27.10.1 | | | 施設・環境委員会の構成員が兼ねる。(H30年7月6日施設・環境委員会にて決定) |
| 24 | 九州大学院医研究等動物実験委員 | | 【検査】勝田 教授 | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 九州大学院医研究等動物実験委員会内規第3条9号「その他委員会が必要と認める者若干人」 | 委嘱依頼あり 選出不要 |
| 25 | アイソトープ総合センター 病院地区学生実習室運営委員会 | | 【放射】 佐々木 教授 | 2年 | H30.4.1 | R2.3.31 | 講師以上1名 | |
| 参考 | 福岡医学雑誌編集委員会 | | ①【放射】佐々木教授 ②【看護】鳩野 教授 ③【検査】 | - | - | - | 各分野から1名 | ①編集幹事 ②編集委員 ③編集委員 |

【令和3年度全学委員会】

| 番号 | 委員会 | 職指定等 | 現(R3)委員 | 任期 | 始期 | 終期 | 委員資格・条件等 | 備考 |
|-----|-------------------------|--|----------------------|------|------------------|--------------------|---|---|
| 1 | 教育研究評議会 (オブザーバー) | 【職指定】医学部門長または保健学部門長で、医学研究院長で無い方 | 佐々木教授 (学科長) | - | - | - | 九州大学教育研究評議会規則第6条第1項(学部長の推薦に基づき総長が必要と認める者) | 医学研究院における九州大学教育研究評議会委員に関する申合せ(H22.11.10教授会決定) |
| 2 | キャンパス計画及び施設管理委員会 | 【職指定】 病院地区協議会議長 | (医) | | | | | <地区協議会議事長> > 医・歯・薬・病・生・保の輪番 |
| 3 | 研究用微生物安全管理委員会 | | 【検査】森講師 | 2年 | R3.4.1 | R5.3.31 | 研究用微生物を取扱う施設を置く部局の教授、准教授及び講師各1名 | ※医学とは別枠 |
| 4-1 | 放射線障害防止委員会 | | 【放射】藤淵 准教授 | 2年 | R2.9.1 | R4.8.31 | | |
| 4-2 | 放射線障害防止委員会 オブザーバー | | 【放射】 納富 准教授 | - | H26.4.1～ | - | | 放射線取扱主任者がオブザーバーとして参加 |
| 5 | 環境保全管理委員会 | | 【検査】外園講師 | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 環境保全管理委員会が必要と認めた者 ※医学とは別枠 (化学物質や健康問題に詳しい教員) | 環境安全センター委員会委員を兼ねる ★〔部門内〕施設・環境委員会構成員となる |
| 6 | 環境安全センター委員会 | | 【検査】外園講師 (同上) | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 環境安全センター委員会が必要と認めた者 ※医学とは別枠 | 環境保全管理委員会委員が兼ねる(H18年度から) |
| 7 | 入学試験審議会 | 【職指定】学科長 | 佐々木教授(学科長) | - | - | - | | 保健学科長がオブザーバーとして参加 |
| 8 | 入学試験実施委員会 | 【職指定】 部内入試実施委員会委員長 | 【放射】杜下教授 | 1年 | R3.4.1 | R4.3.31 | 九州大学入学試験実施委員会等規程第3条第1項第11号(総長が必要と認めた者若干人)(任期1年) | 〔部門内〕入学試験実施委員会委員長 |
| 9 | 入学者選抜研究委員会 | | 【検査】渡辺講師 | 2年 | R2.5.1 | R4.4.30 | 入学者選抜研究委員会規程第3条第1項第10号(総長が必要と認めた者若干人) | 統計のできる准教授クラス |
| 10 | 学生支援委員会 | 【職指定】 部内学生委員会委員長 【職指定】 部内学生委員会副委員長 | 【看護】後藤教授 【検査】水野教授 | (2年) | R3.4.1 R3.4.1 | R4.3.31 R4.3.31 | 学生支援委員会が必要と認めた者 若干人 | 〔部門内〕学生委員会委員長・副委員長 →実質的な任期は1年 |
| 11 | 教育企画委員会 | 【職指定】 部内教務委員会委員長 | 【検査】重藤教授 | (2年) | R3.4.1 | R4.3.31 | 医学系学府保健学専攻又は医学部保健学科から選ばれた教授1名 | ※医学とは別枠 〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年 |
| 12 | 基幹教育委員会 (H25.11 新設) | 【職指定】 部内教務委員会委員長 | 【検査】重藤教授 | (2年) | R3.4.1 | R4.3.31 | 医学系学府保健学専攻の教授のうちから選ばれた者 1人 | 〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年 |
| 13 | 21世紀プログラム専門委員会 | H24 看護学から選出 H26 検査から選出 H28 放射から選出 H30 放射から選出 R1年度看護分野長 R2年度検査分野長 R3年度放射分野長 | 【放射】有村教授 | | R3.4.1 | R4.3.31 | 各学部から選ばれた教授1名 ※医学として | 看護・検査・放射分野の輪番 |
| 14 | 21世紀プログラム主導教員 (修学指導) | R1年度看護分野長 R2年度検査分野長 R3年度放射分野長 | 【放射】有村教授 | | R3.4.1 | R4.3.31 | | 看護・検査・放射分野の輪番 |

【令和3年度全学委員会】

| 番号 | 委員会 | 職指定等 | 現(R3)委員 | 任期 | 始期 | 終期 | 委員資格・条件等 | 備考 |
|----|---|----------------------|--|------|----------|---------|--|---|
| 15 | 基幹教育実施会議 | 【職指定】 部内教務委員会委員長 | 【検査】重藤教授 | (なし) | R3.4.1 | R4.3.31 | その他運営会議が必要と認められた者 | 〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年 |
| 16 | 大学院基幹教育実施会議 (H26.1 新設) | 【職指定】 部内大学院委員会委員長 | 【看護】橋口教授 | (2年) | R3.4.1 | R4.3.31 | その他運営会議が必要と認められた者 | 〔部門内〕大学院委員会委員長 →実質的な任期は1年 |
| 17 | 全学情報環境利用委員会 | | 【放射】高橋准教授 | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 各研究院の教授及び准教授のうちから選ばれた者各1人 ※医学として | *H26.3まで有村准教授 |
| 18 | ハラスメント等対策委員会 | | (歯) (病) (生) | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 医歯薬生病の教授、准教授及び講師から2名(少なくとも1名は女性) | 医・歯・薬・病・生の輪番 |
| 19 | ハラスメント等相談員 | | (歯) (病) | 2年 | R2.4.1 | R4.3.31 | 医歯薬生病の教授、准教授及び講師から若干名(実際には2名選出)(少なくとも1名は女性) ※医学として ※H30.4.1保から選出依頼(住本研究院長より) | 医・歯・薬・病・生の輪番 |
| 20 | 加速器・ビーム応用科学センター複担教員 | | 【放射】納富 准教授 | なし | H26.4.1～ | - | | |
| 21 | 加速器・ビーム応用科学センターガンマ線施設運営委員会 | | 【放射】佐々木教授 | 2年 | R3.4.1 | R5.3.31 | 医学研究院、薬学研究院、総合理工学研究院及び比較社会文化研究院の専任の教授、准教授、講師のうちから選ばれた者 各1名 ※医学として ※R1.4.1保から選出依頼(北園研究院長より) | |
| 22 | 学生相談室相談員 | 【職指定】 部内学生委員会委員長 | 【看護】後藤教授 | (2年) | R3.4.1 | R4.3.31 | 学府・学部の教員(教授、准教授、講師) | 〔部門内〕学生委員会委員長・副委員長 →実質的な任期は1年 |
| | | 【職指定】 部内学生委員会副委員長 | 【検査】水野教授 | | R3.4.1 | R4.3.31 | | |
| 23 | 基幹教育科目実施班員 ※理系ディシプリン科目班 生物専門チーム | | 【検査】水野教授 | 1年 | R2.7.1 | R3.6.30 | 各学部の教員のうちから実施会議が必要と認められた者 会議から指名あり(選出必要なし) | H26新設 |
| 24 | アイントープ統合安全管理センター委員会 | | 【放射】納富 准教授 | 2年 | R3.4.1 | R5.3.31 | 別表2(2)センターの教授及び准教授 | RIセンター複担教員(放射線科学部) |
| | | | 【放射】藤淵 教授 | 2年 | | | | |
| 25 | 支線LAN管理者 ※令和3年4月以降、施設・環境委員会において決定する。 | | 保健学科本館 ⇒【看護】藤田紋助教 山口助教 基礎研究B棟 ⇒主【放射】高橋准教授 副【検査】田代講師 | - | | | 施設・環境委員会の構成員が兼ねる。(H30年7月6日施設・環境委員会にて決定) | 133.5.216.0.24(保健学科本館)ならびに133.5.213.0.24(基礎研究B棟)の管理 |

令和3年度
年 報

作成日 : 令和4年10月

発行者 : 保健学部門 令和4年度 年報委員会
内海 健
藪内英剛・諸隈誠一・能登裕子・有村秀孝
田中延和・水野晋一・八木美佳子

発 行 : 九州大学大学院医学研究院保健学部門
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1